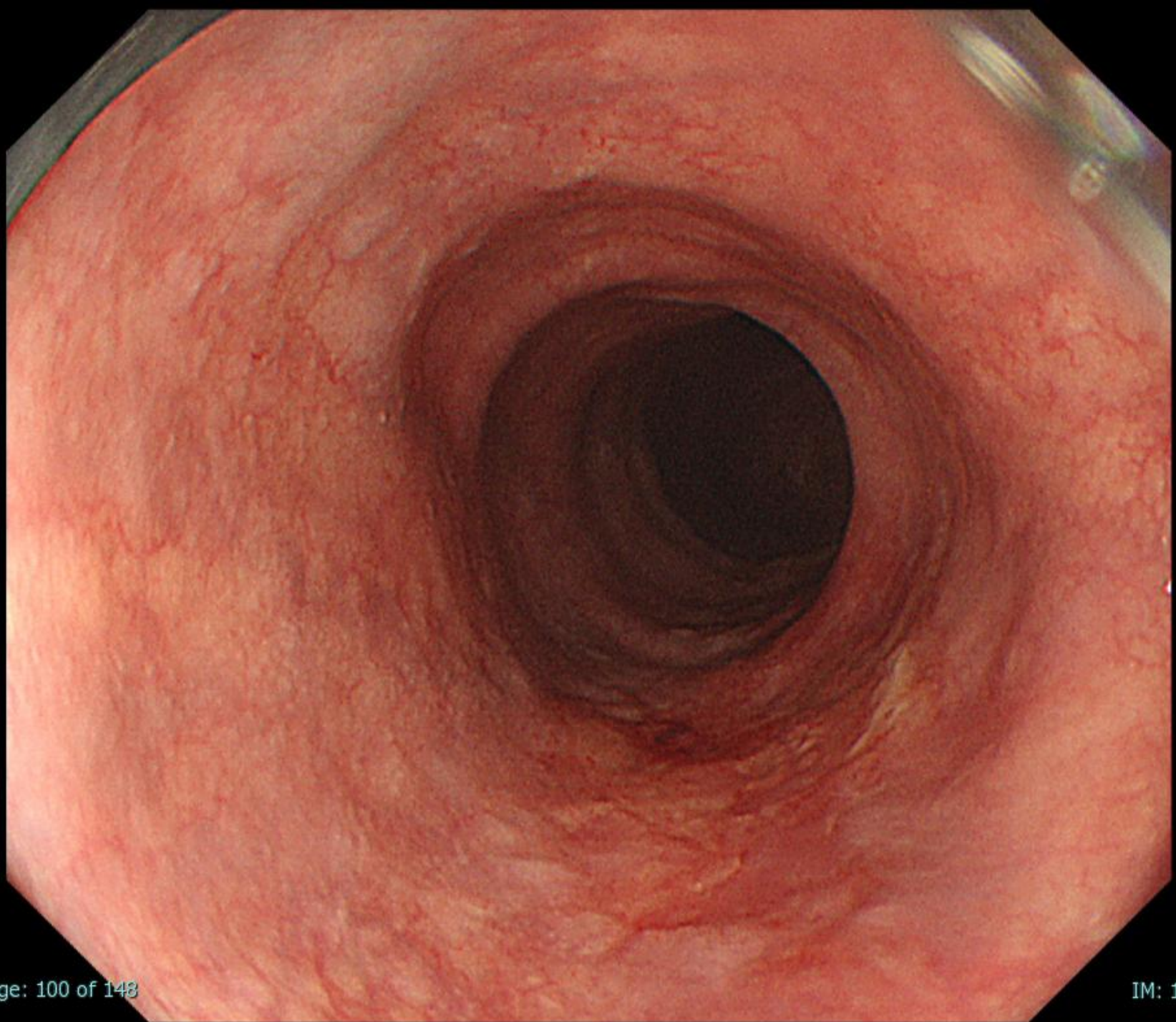


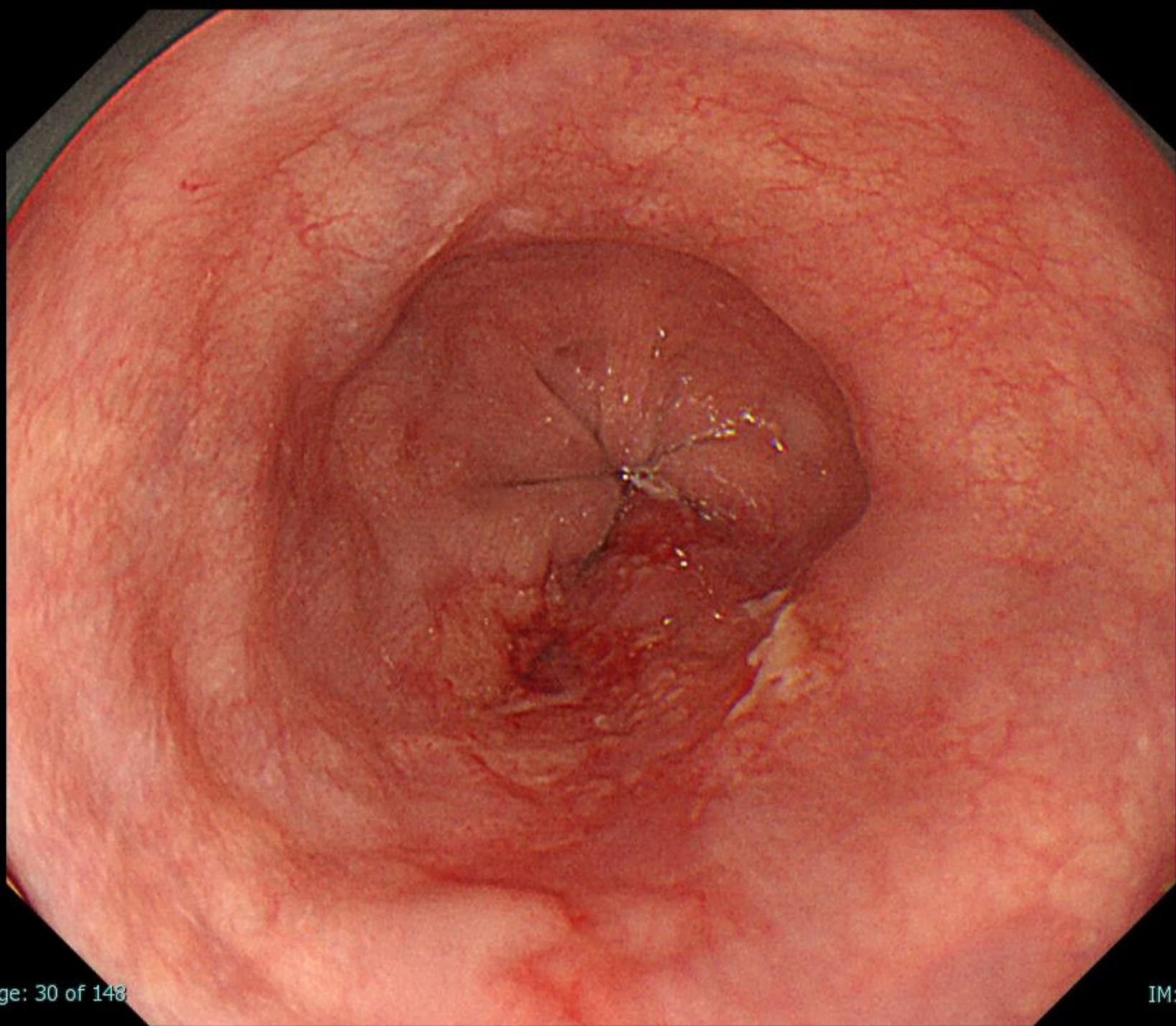
消化管mapping

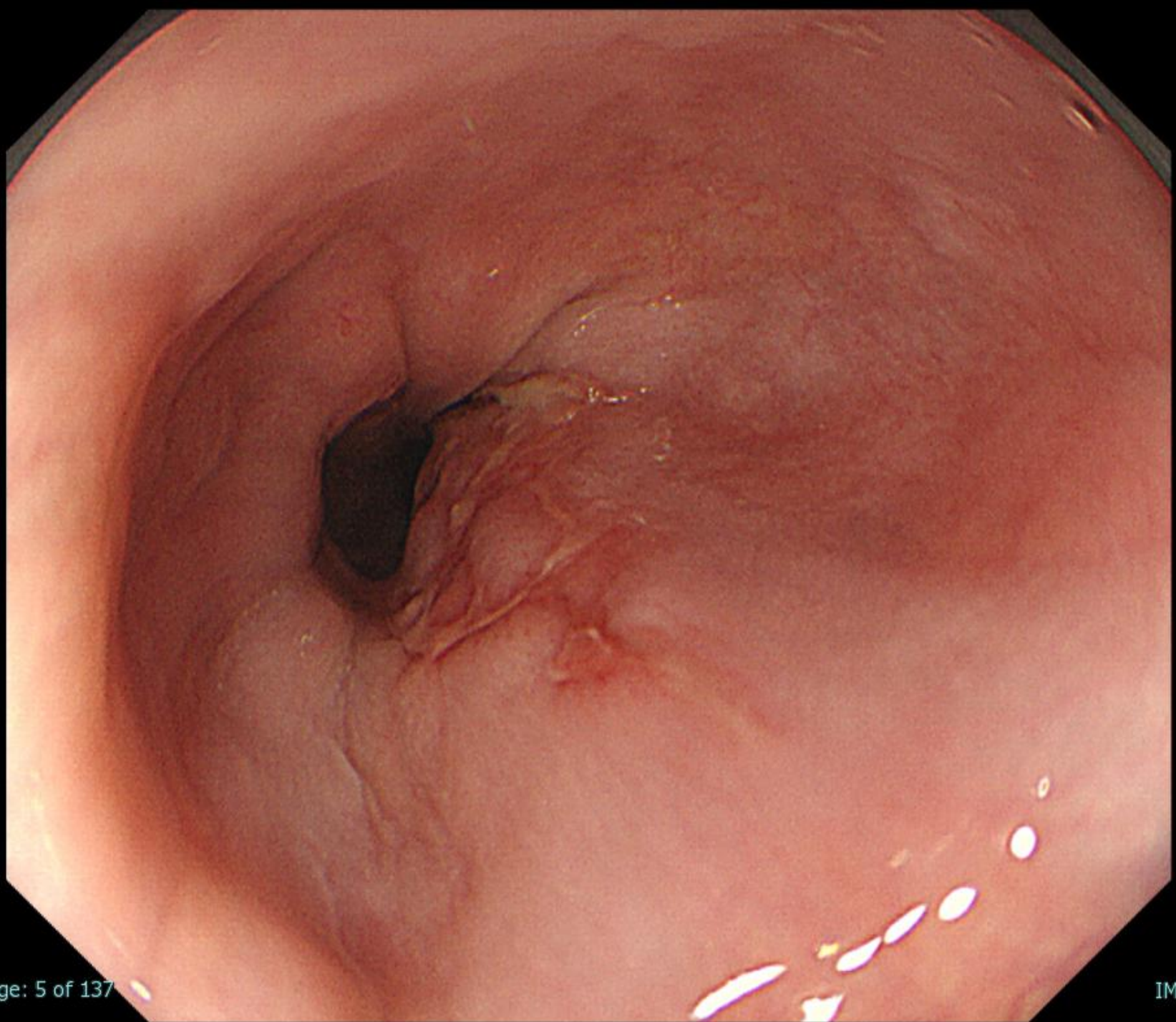
食道

担当： 森 雄貴

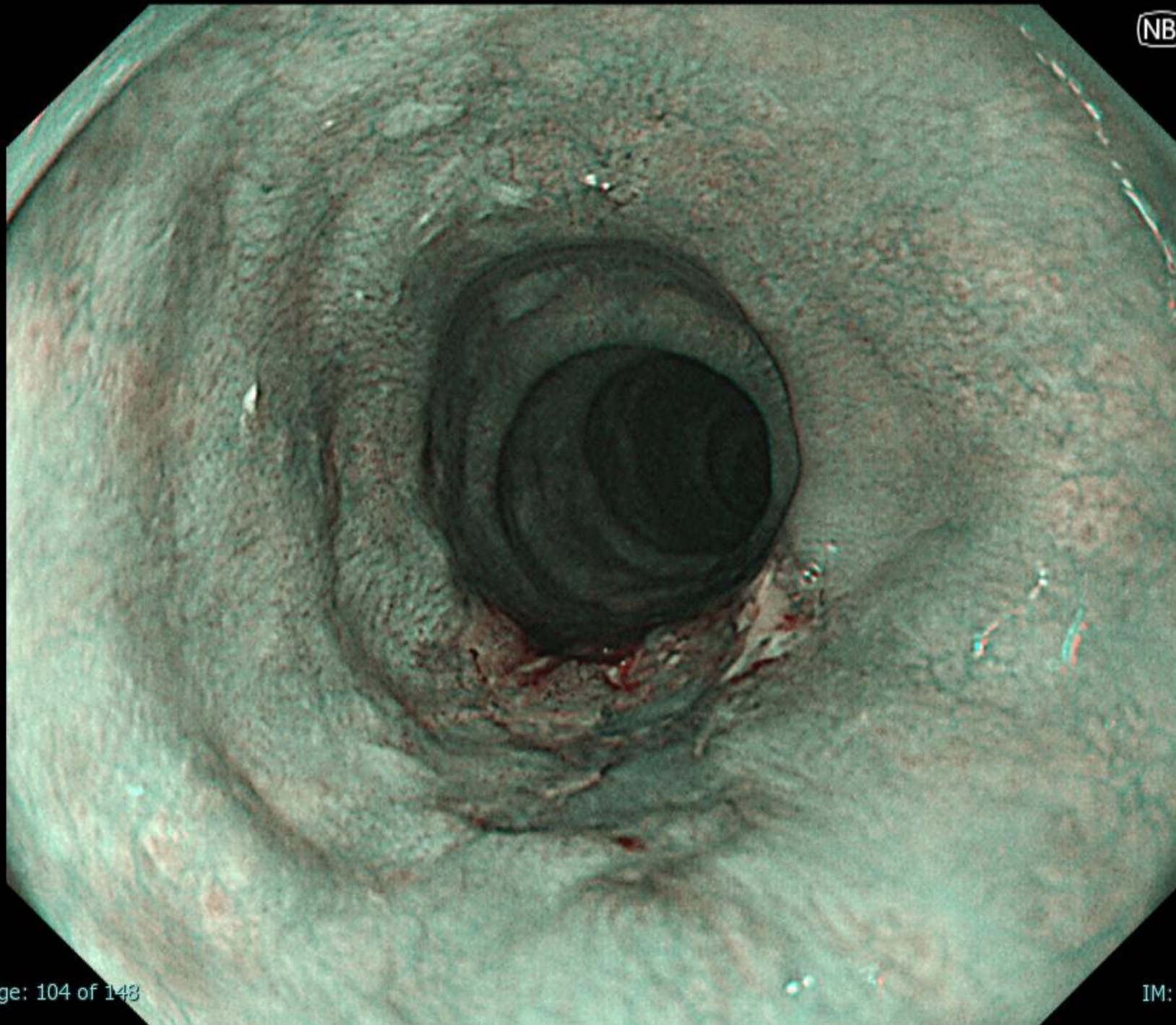
白色光 3枚

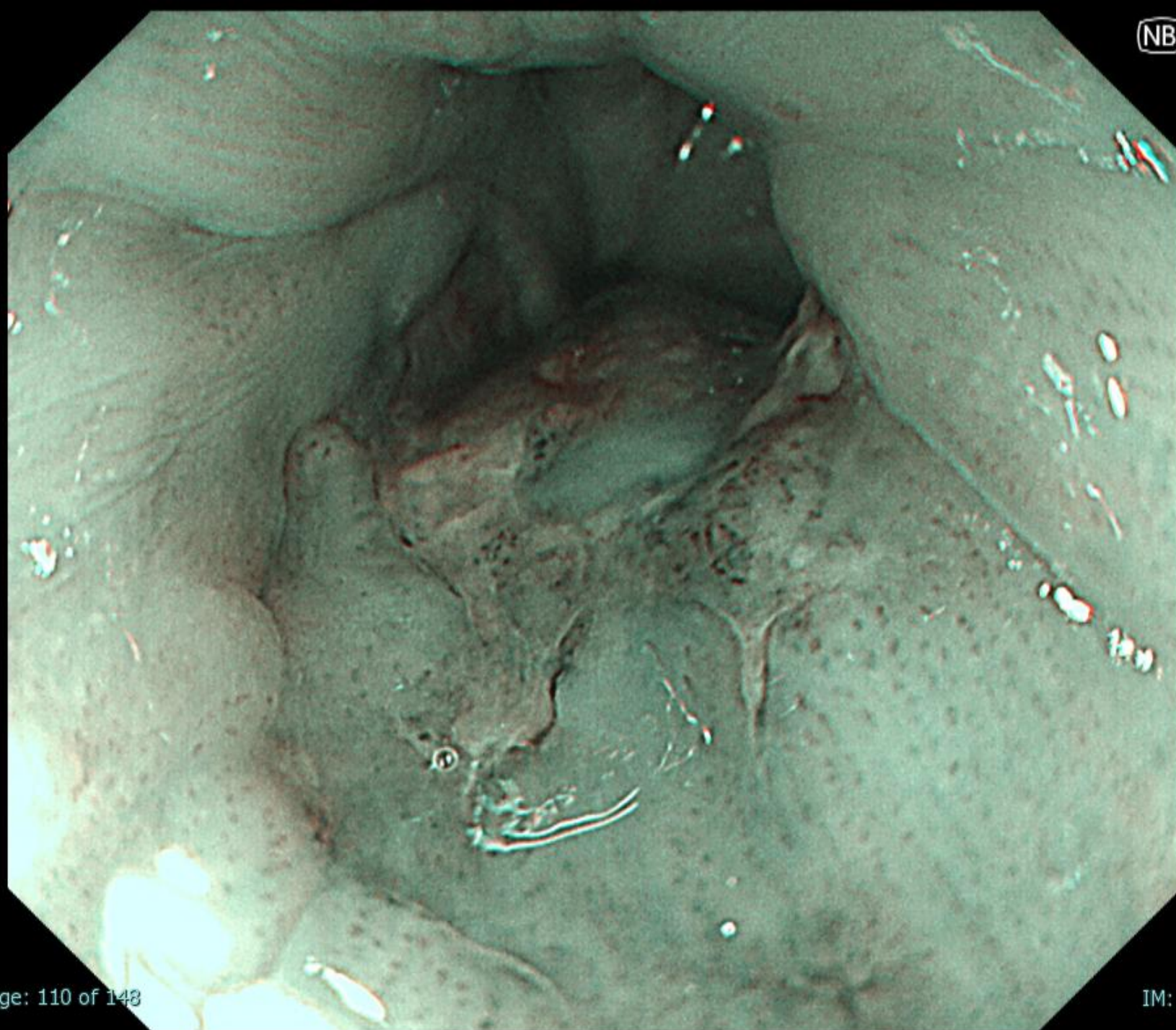


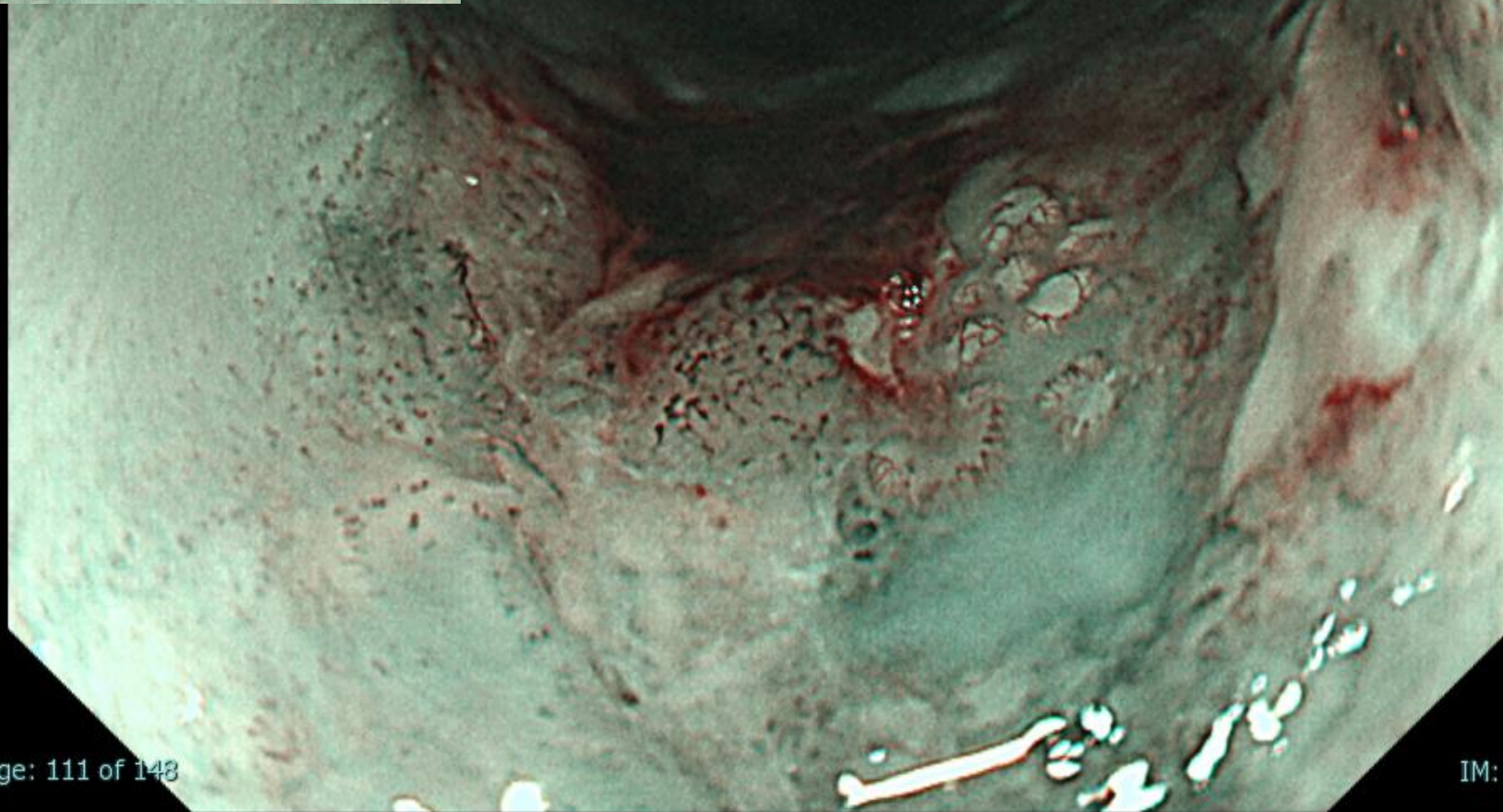
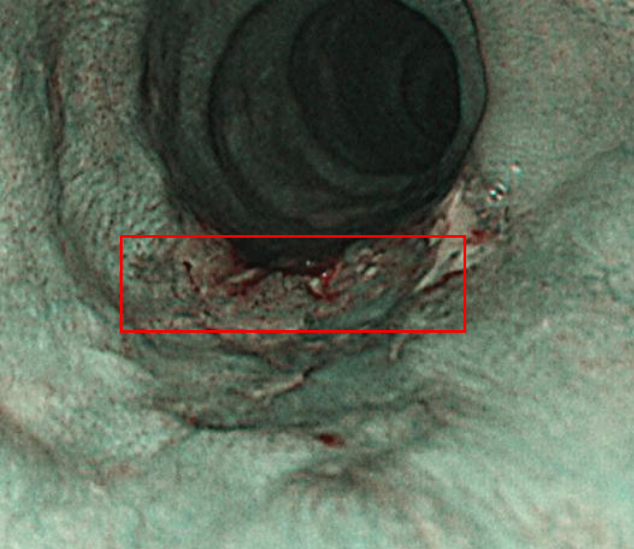




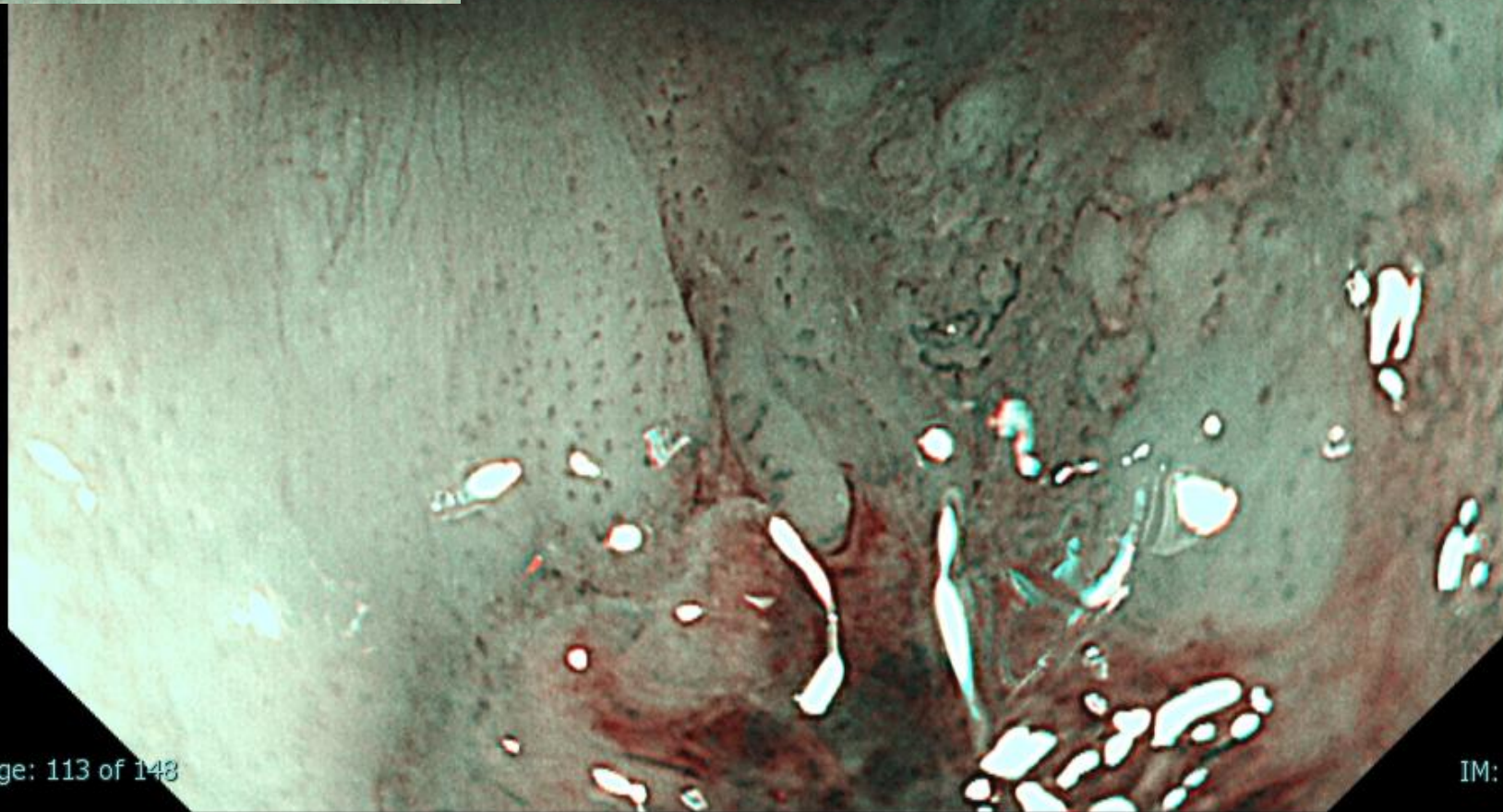
NBI 10枚

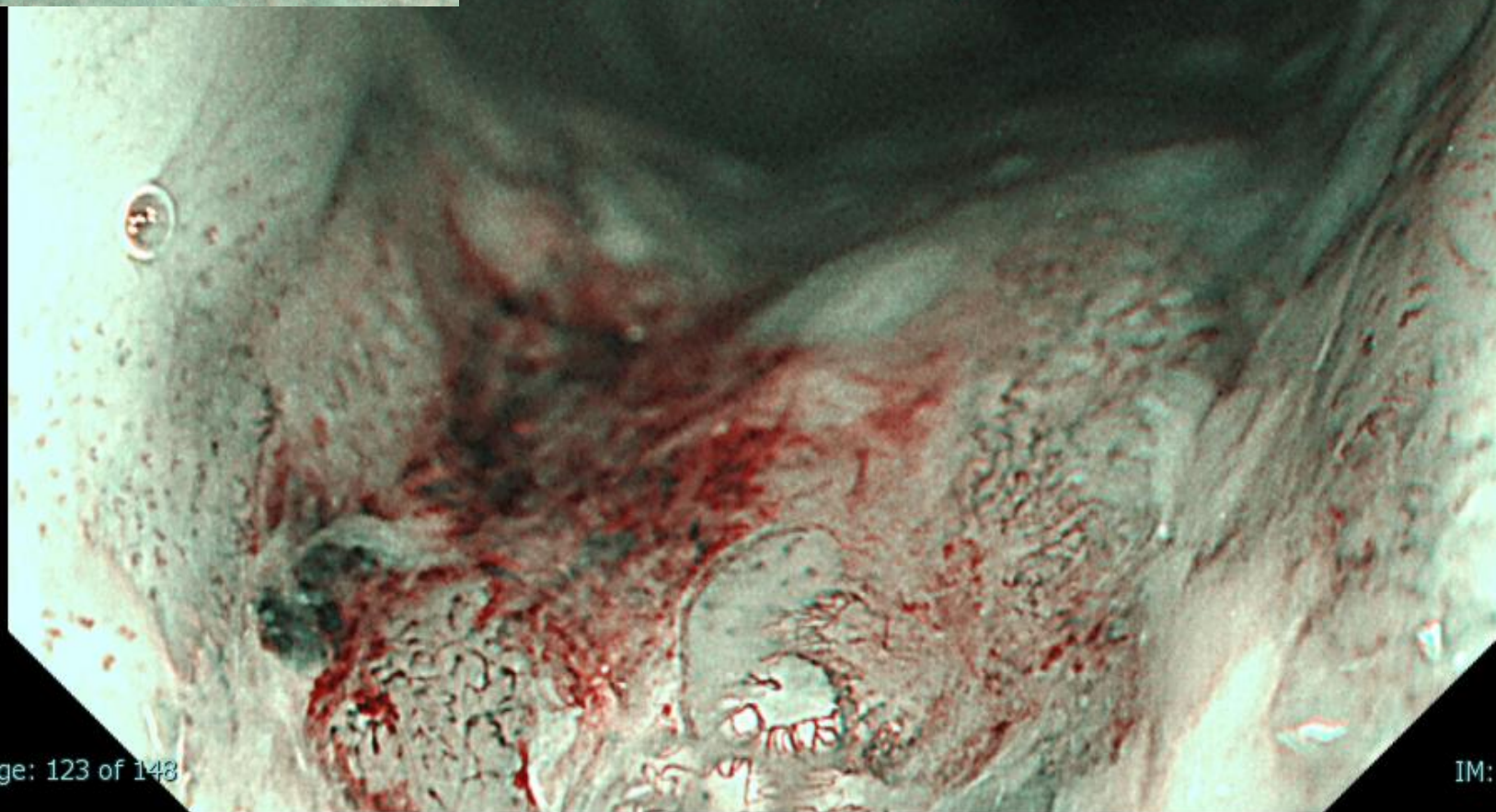
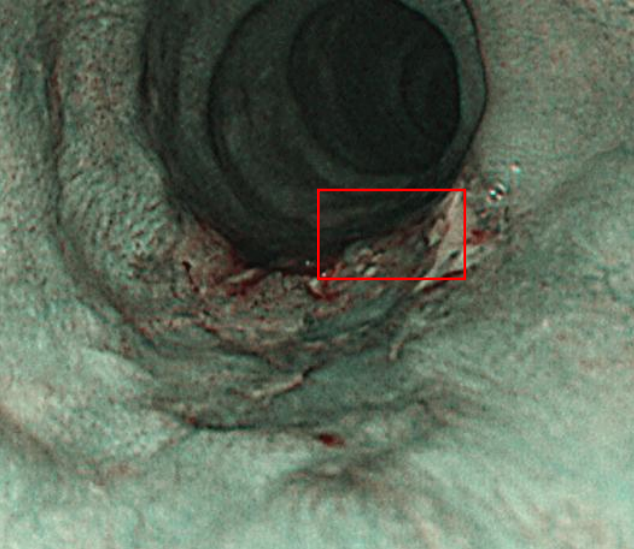


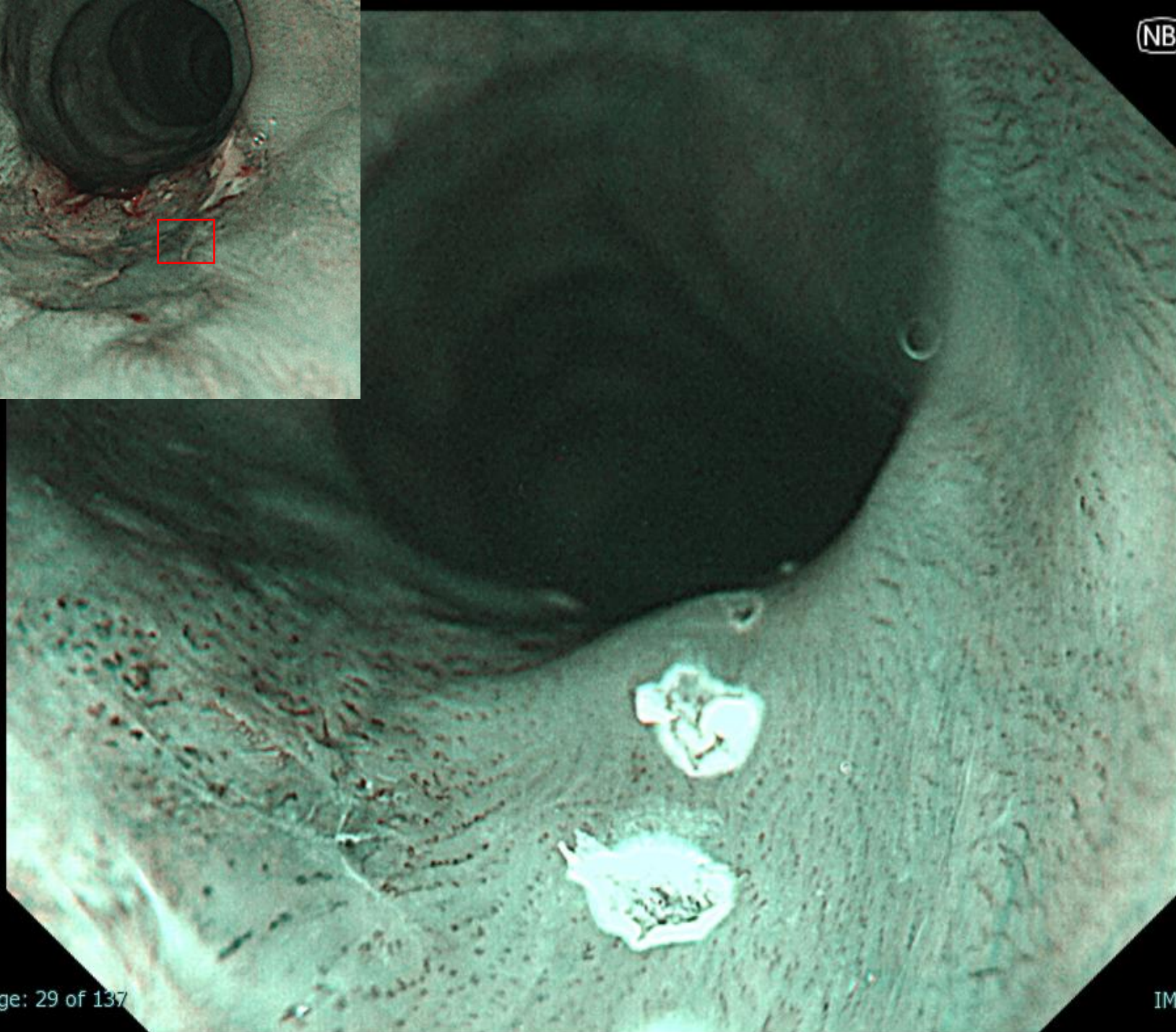
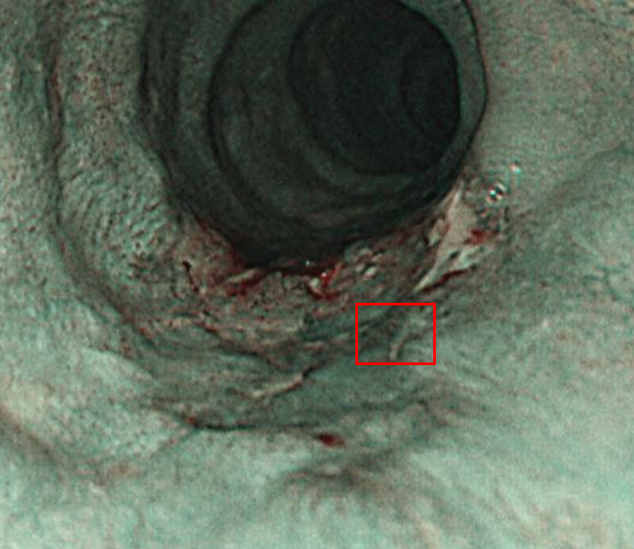


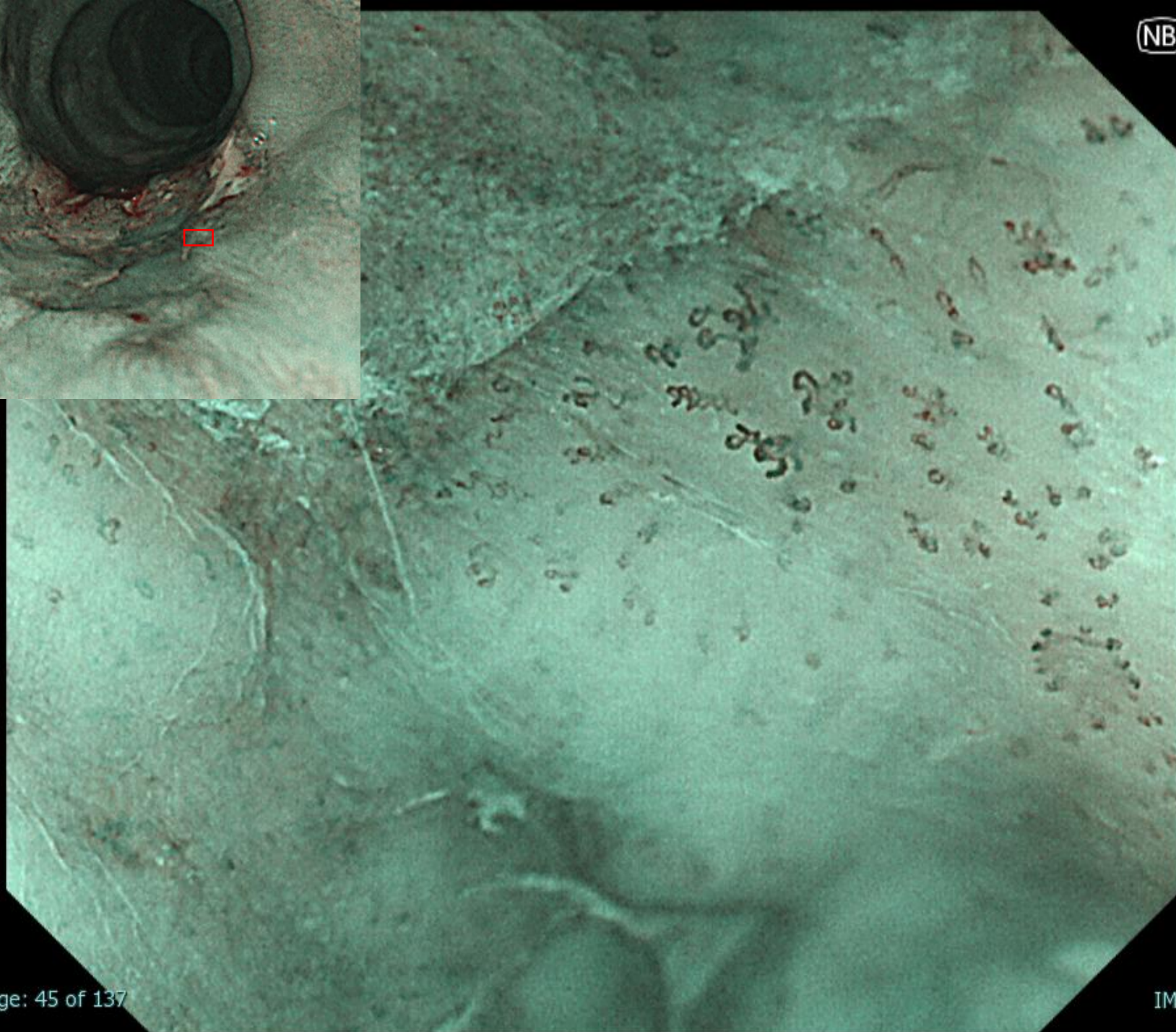


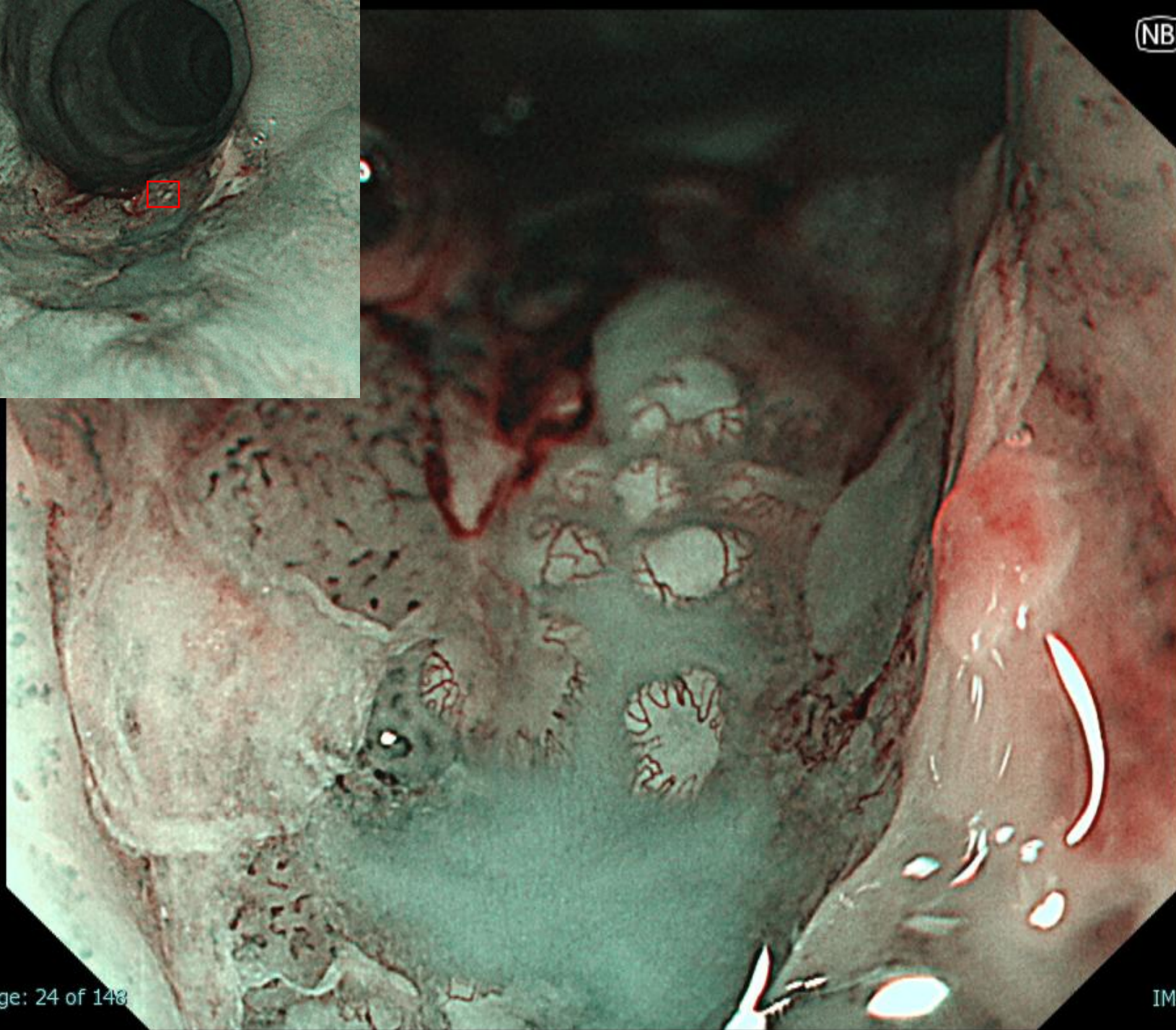
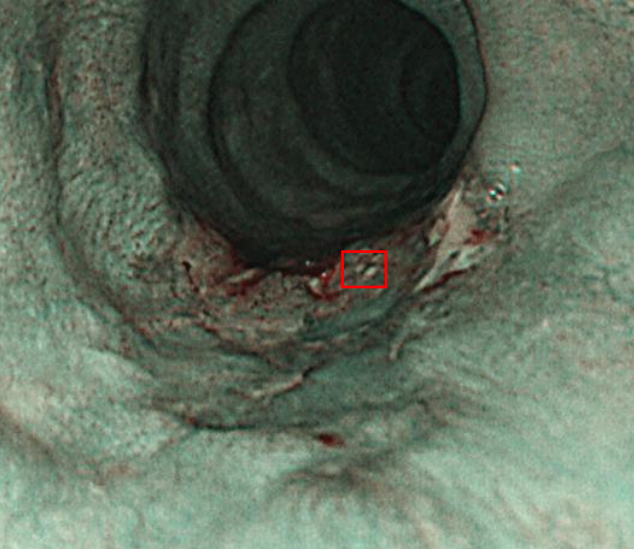






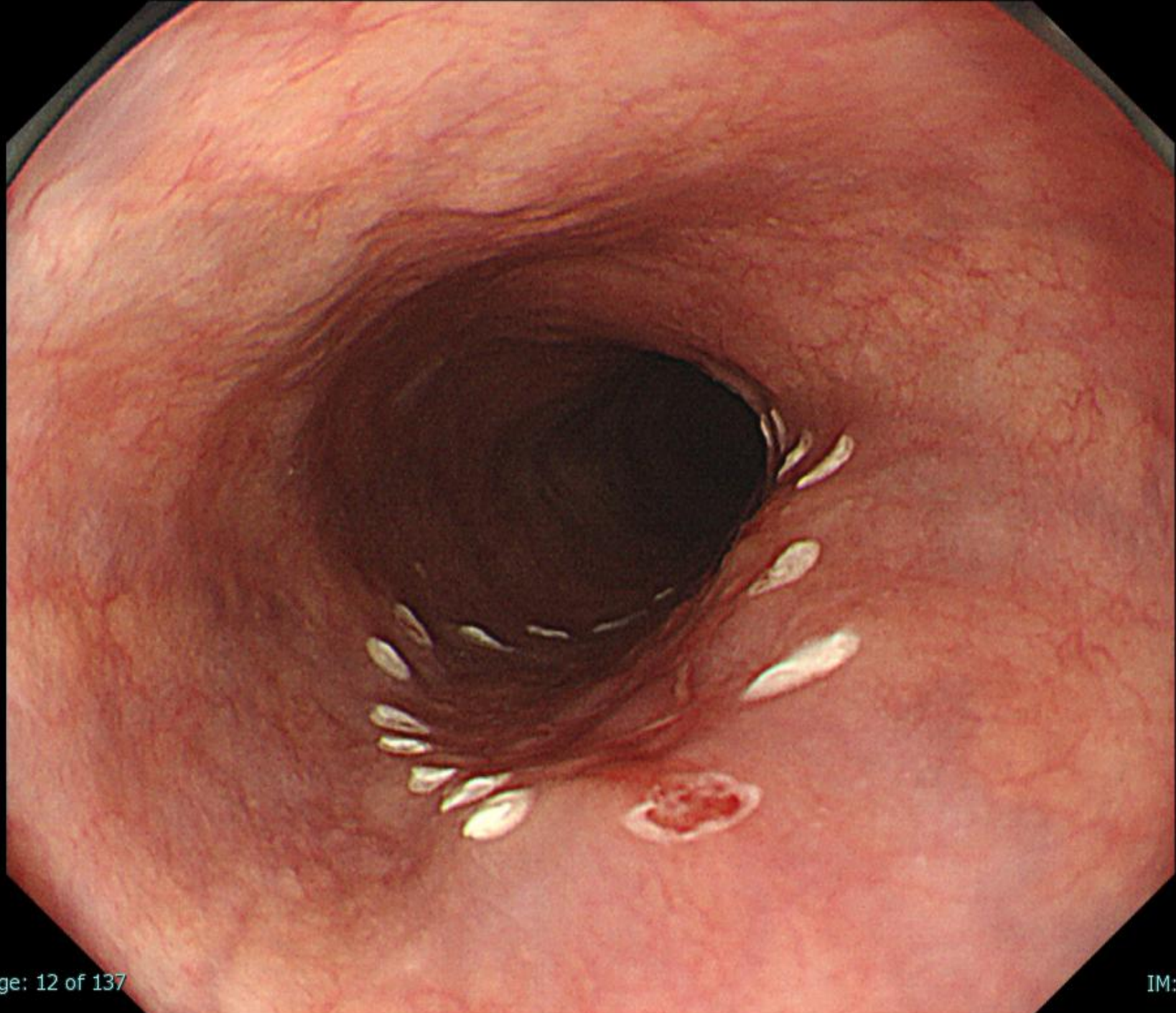




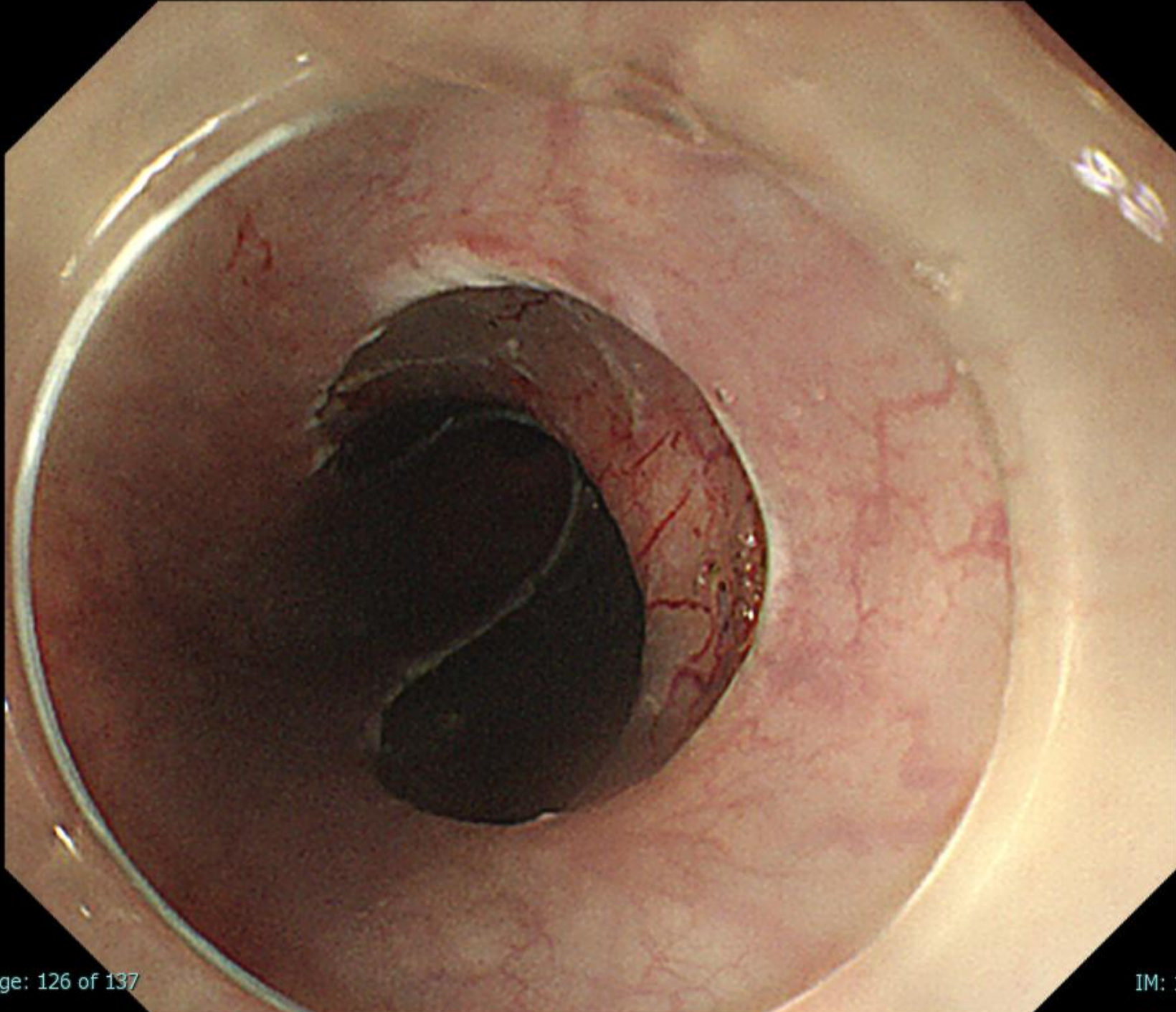




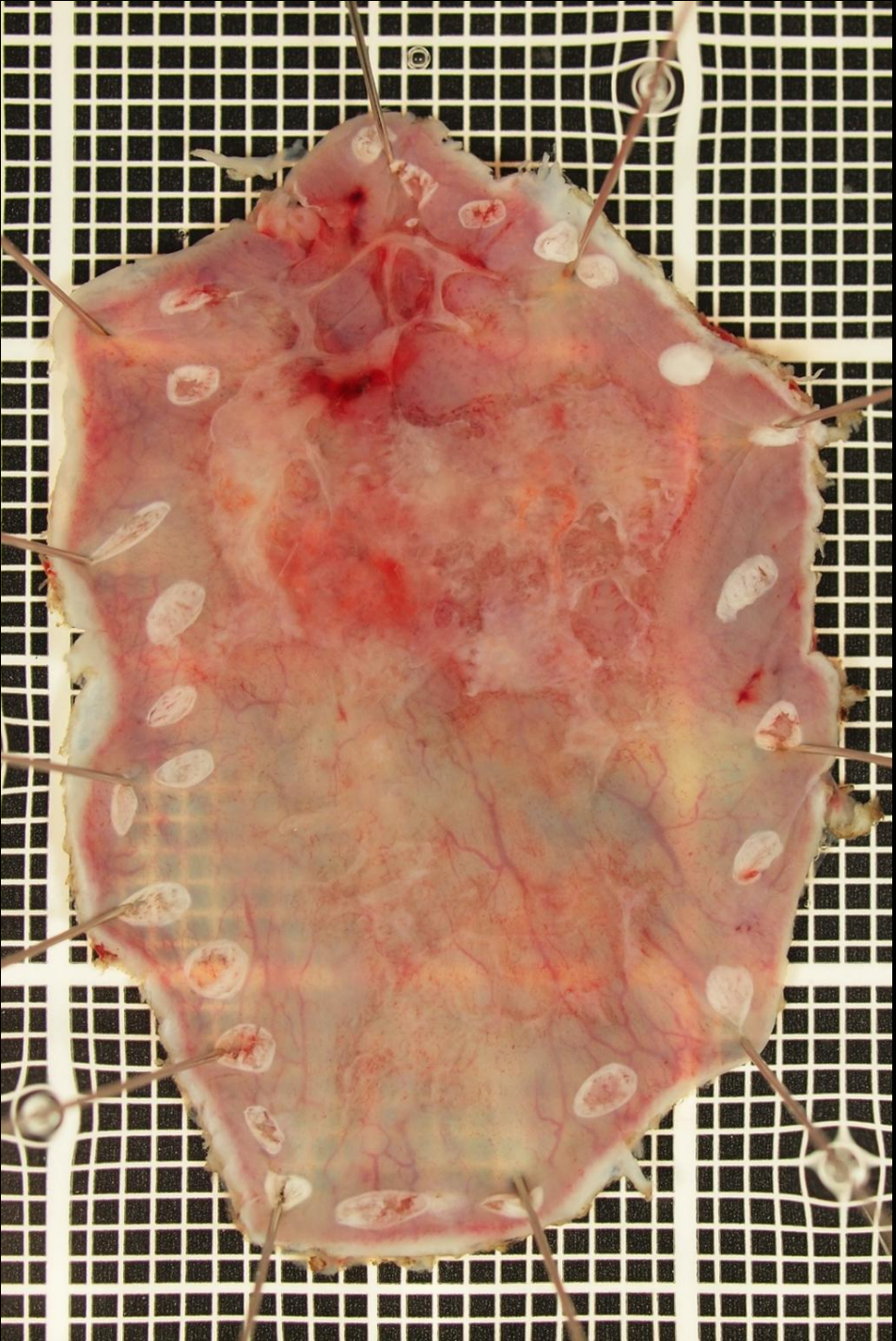
ESD当日



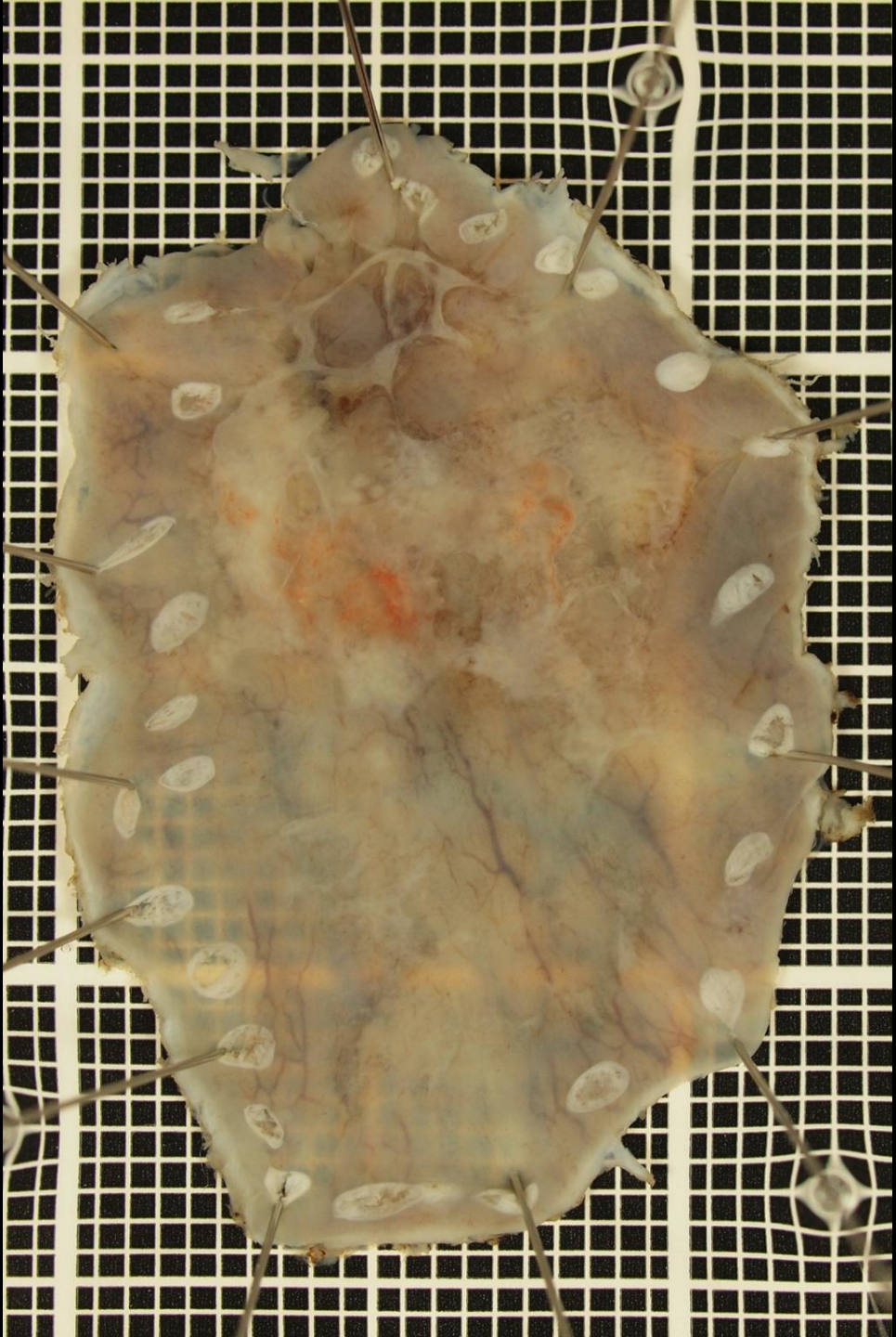




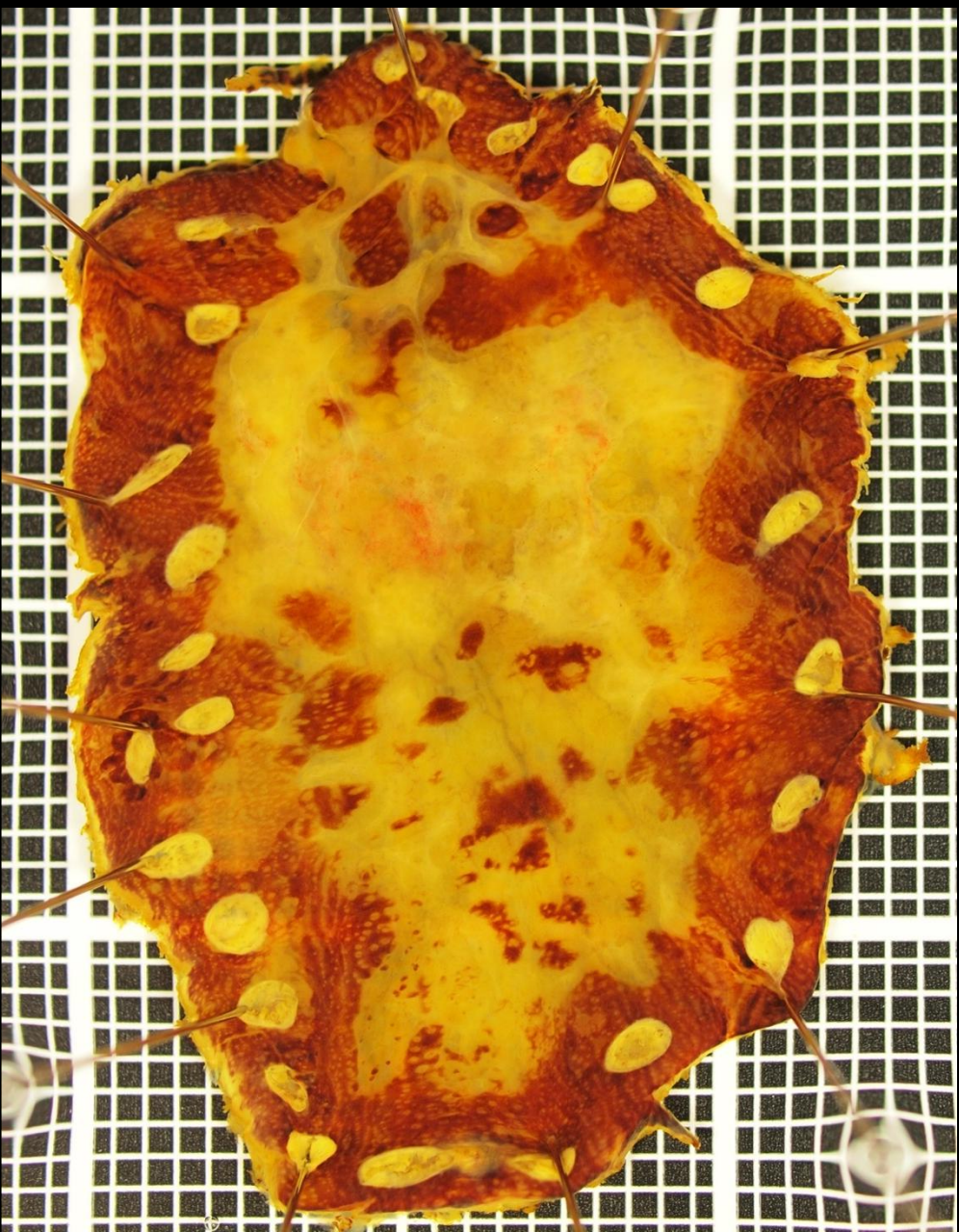
oral ↑



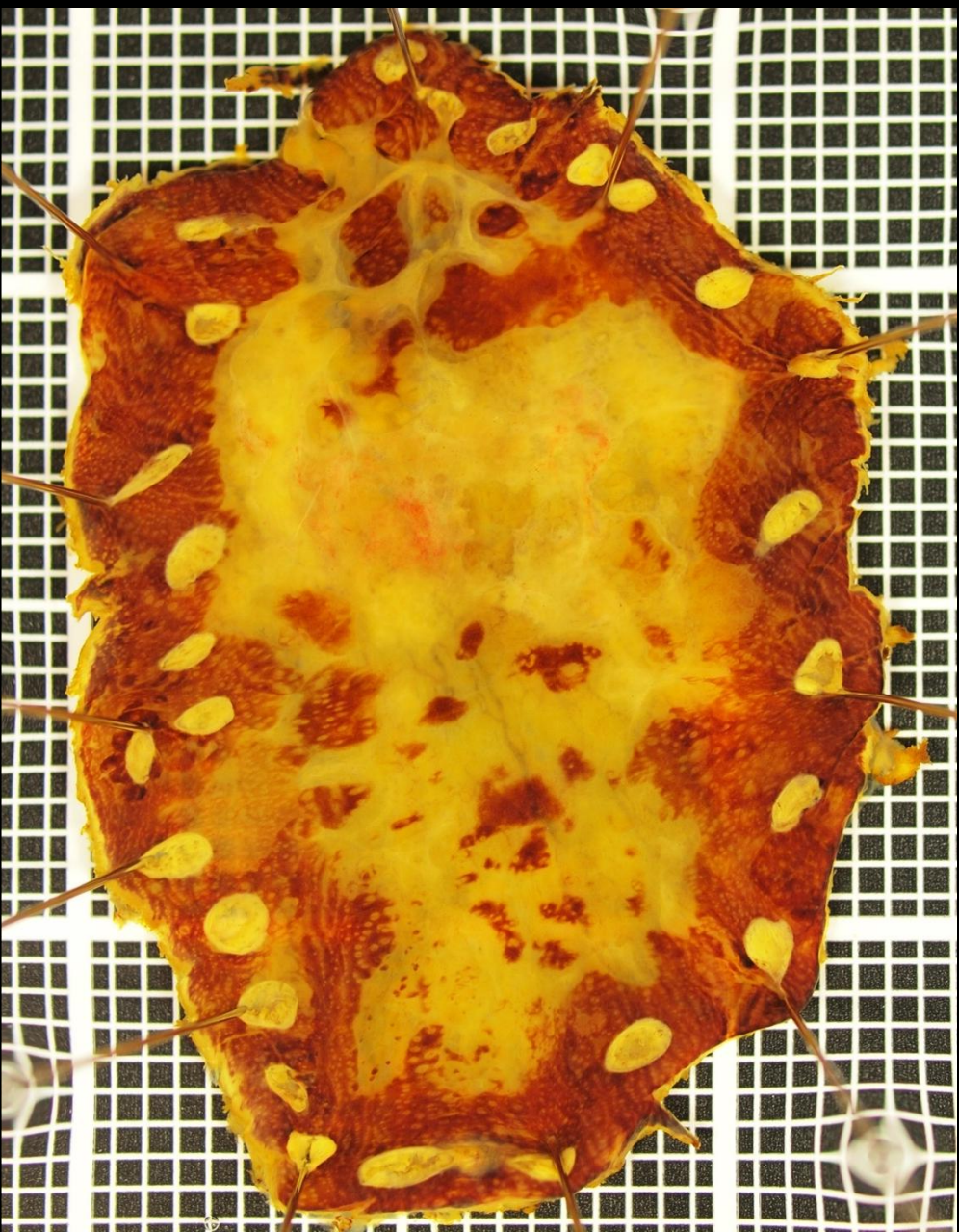
oral ↑



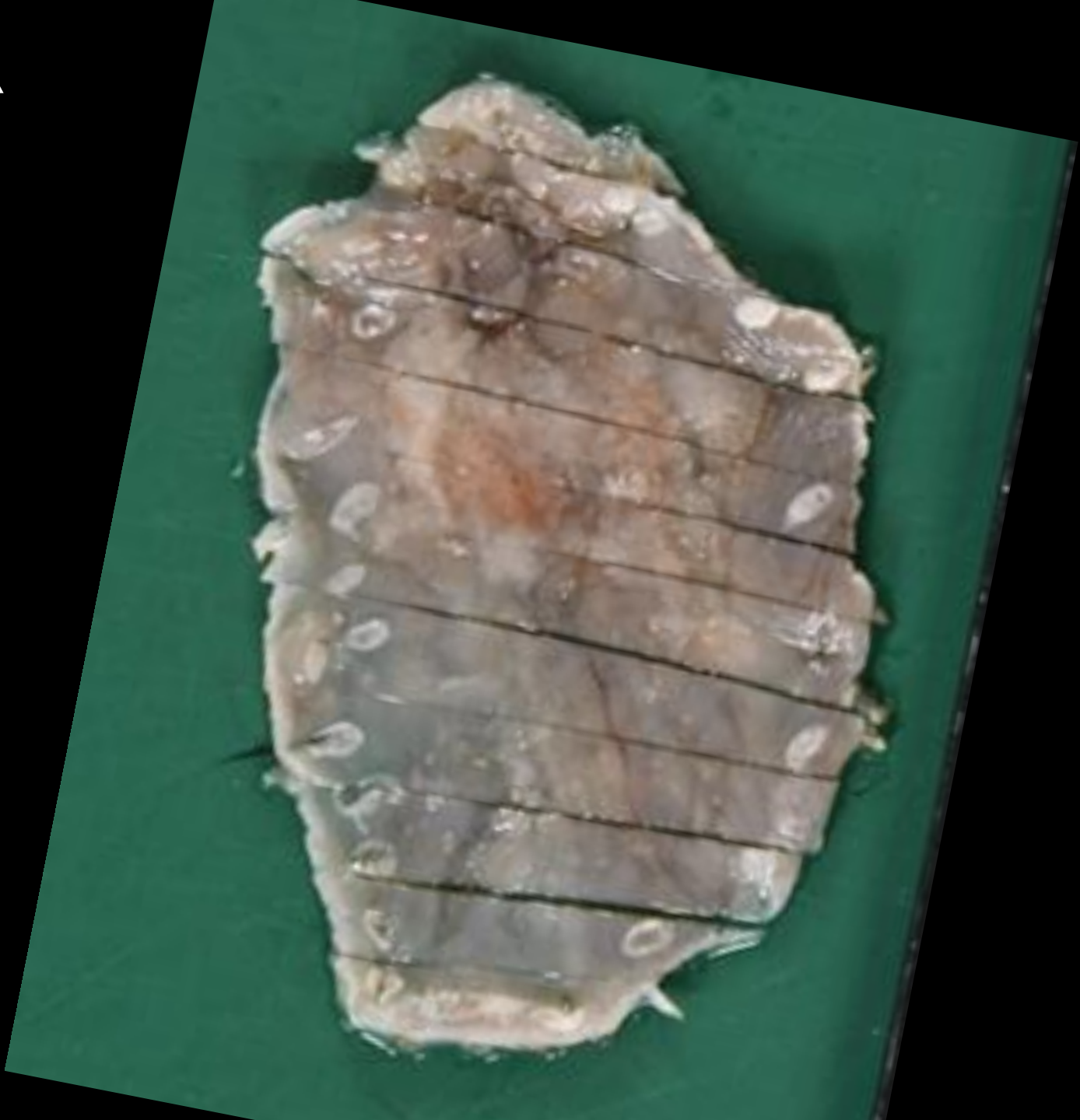
oral ↑



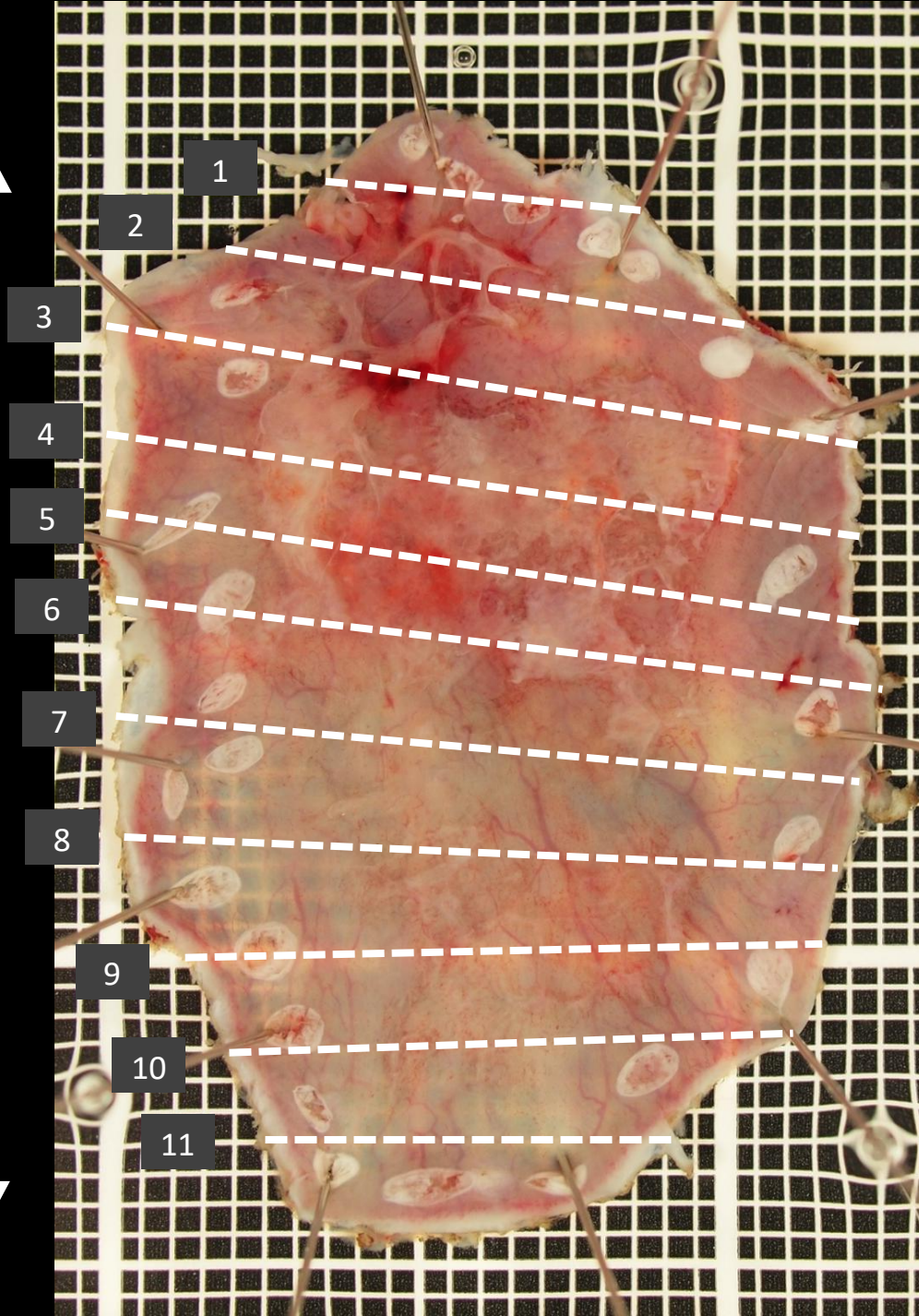
oral ↑



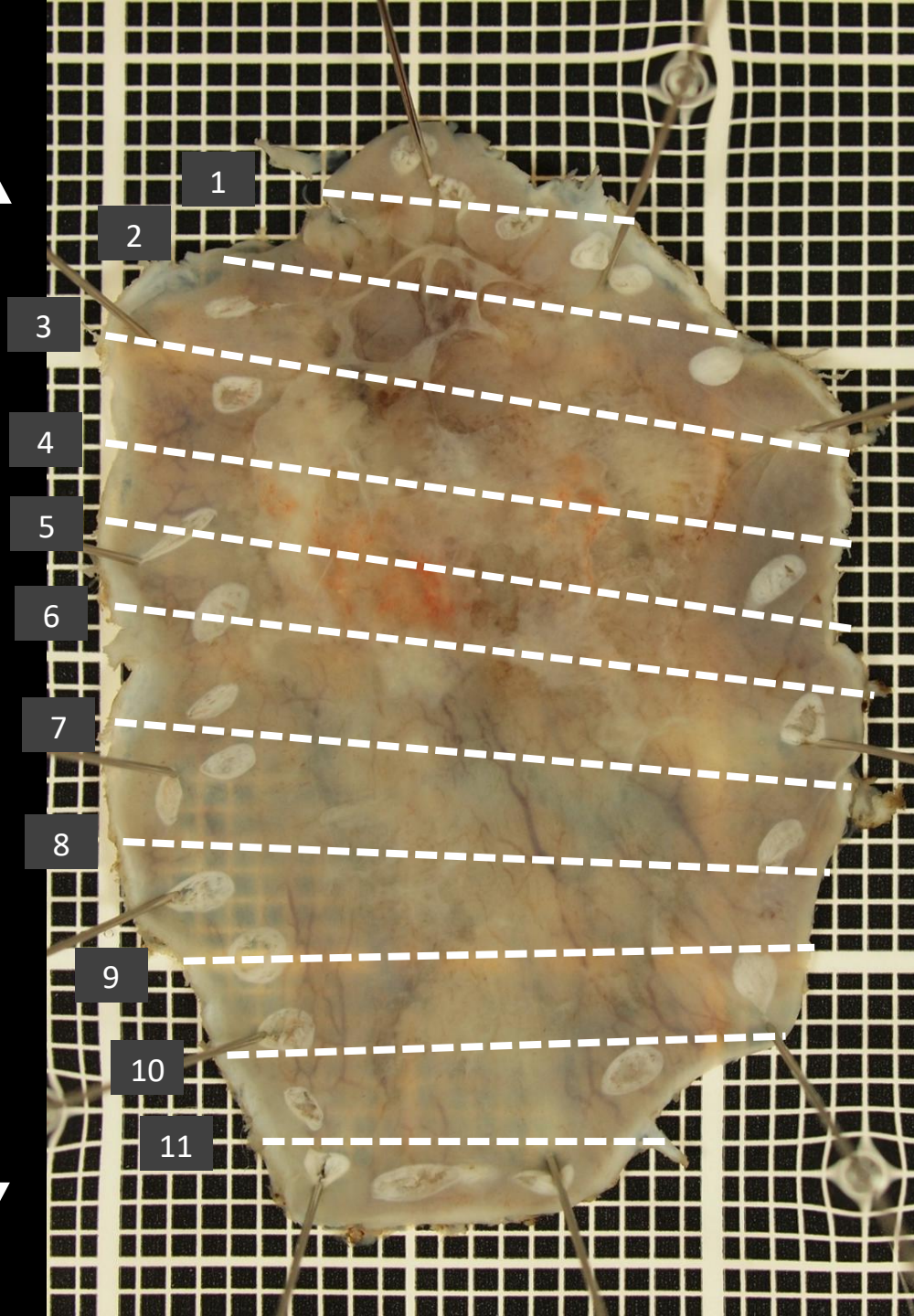
↑
oral



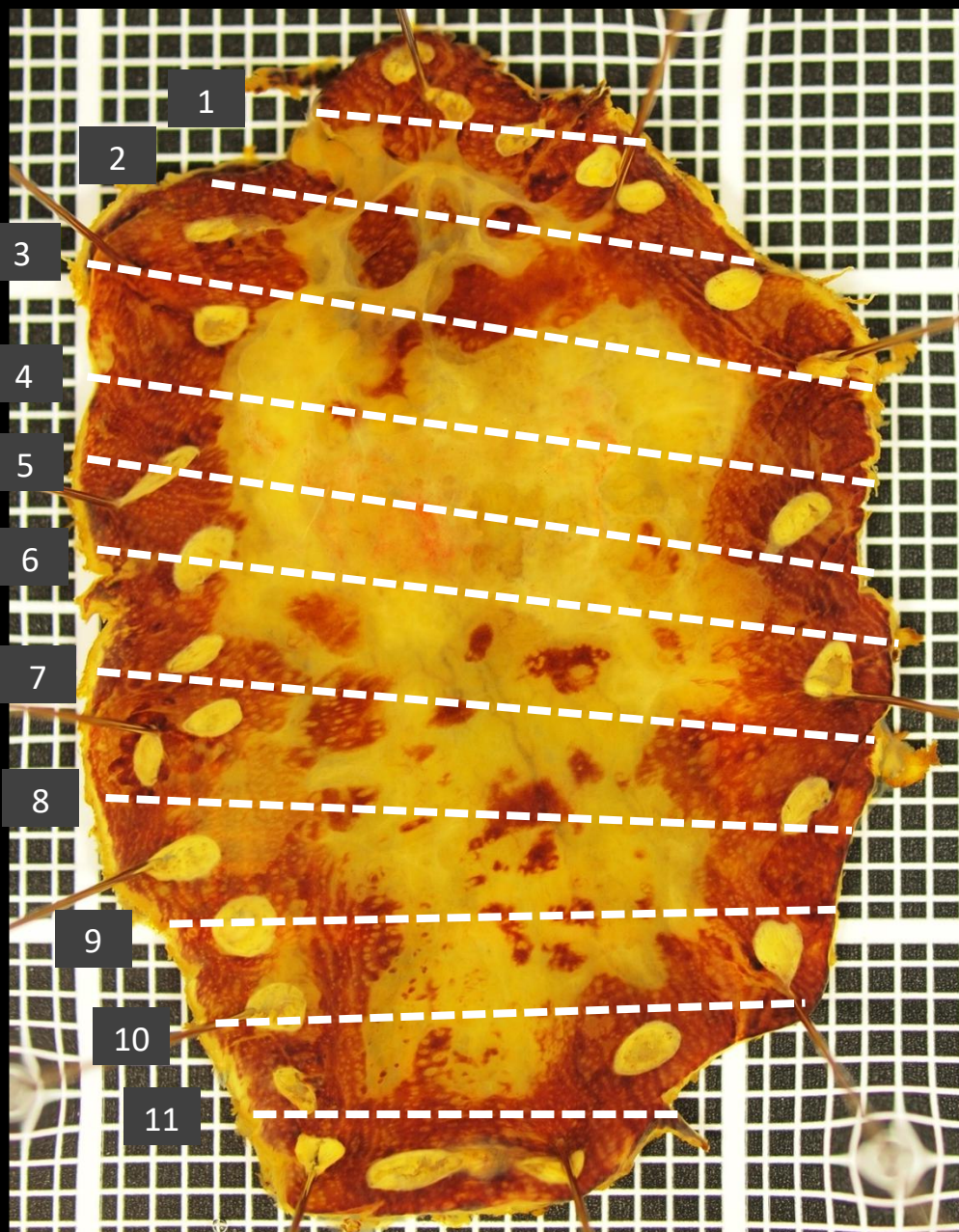
oral ↑



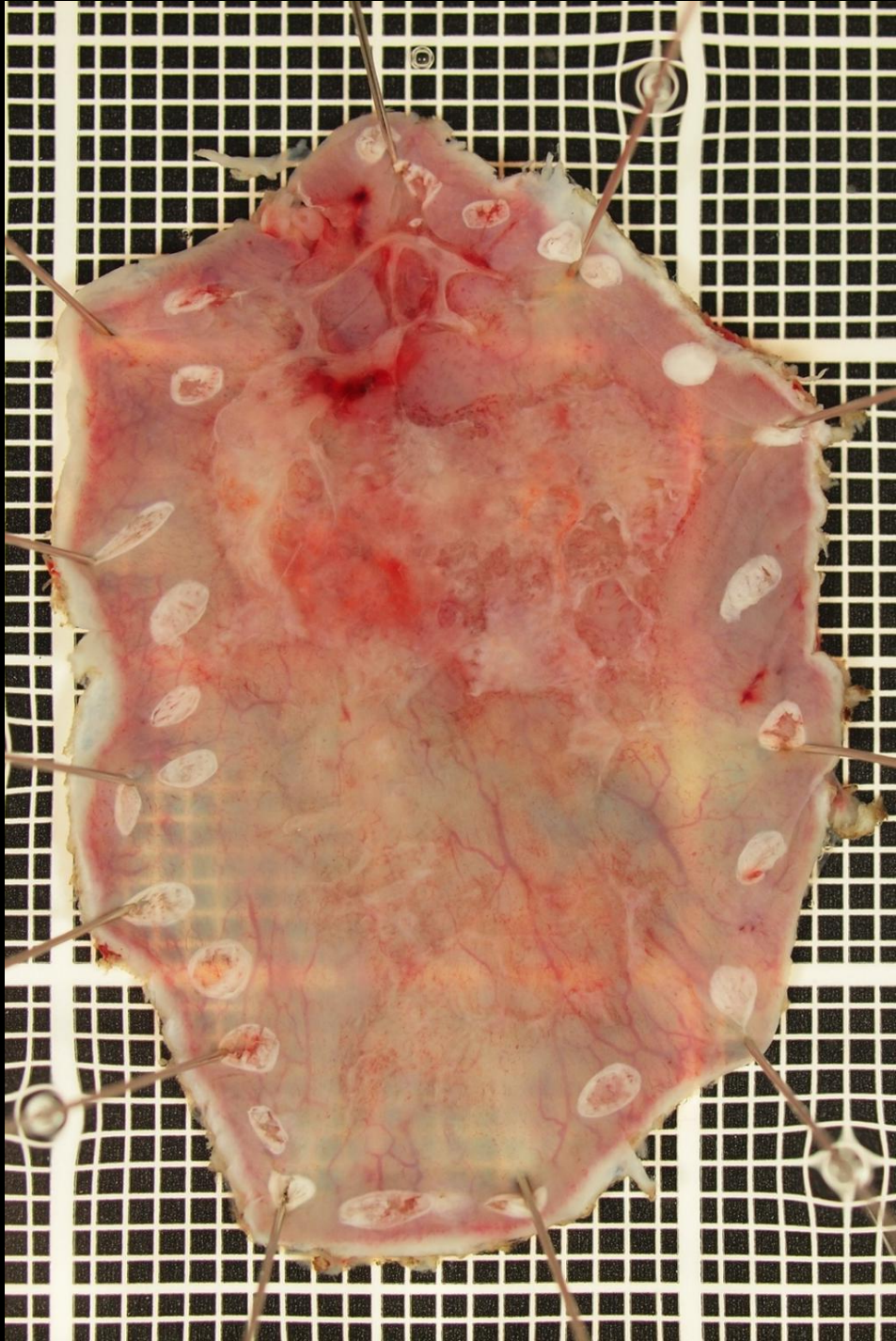
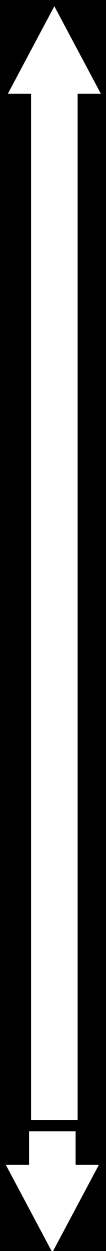
oral ↑



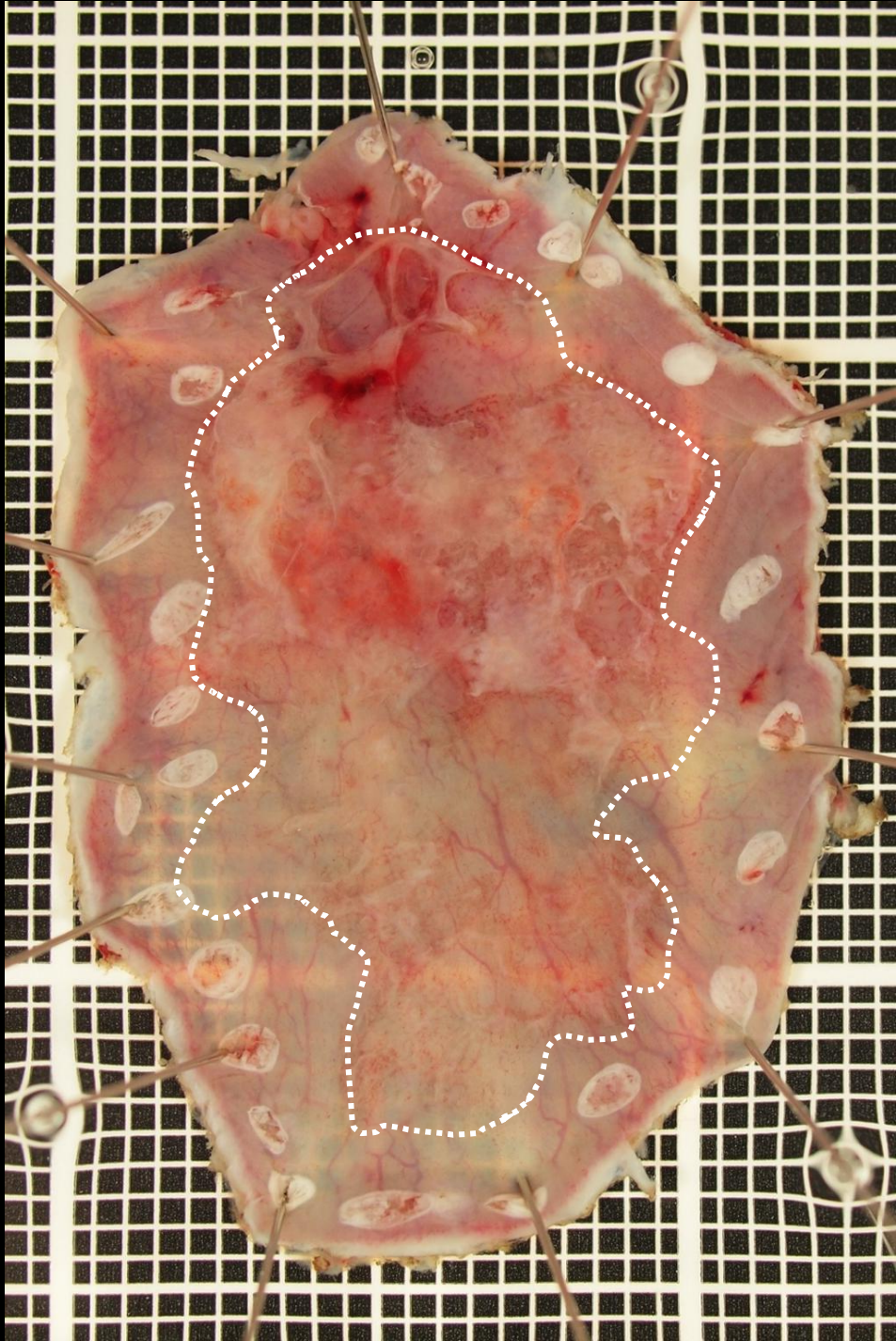
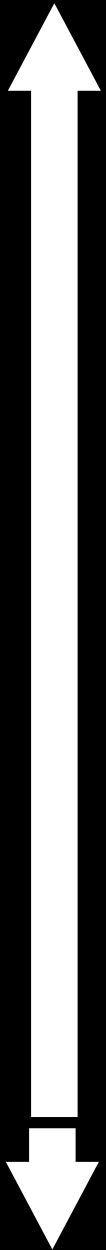
oral ↑



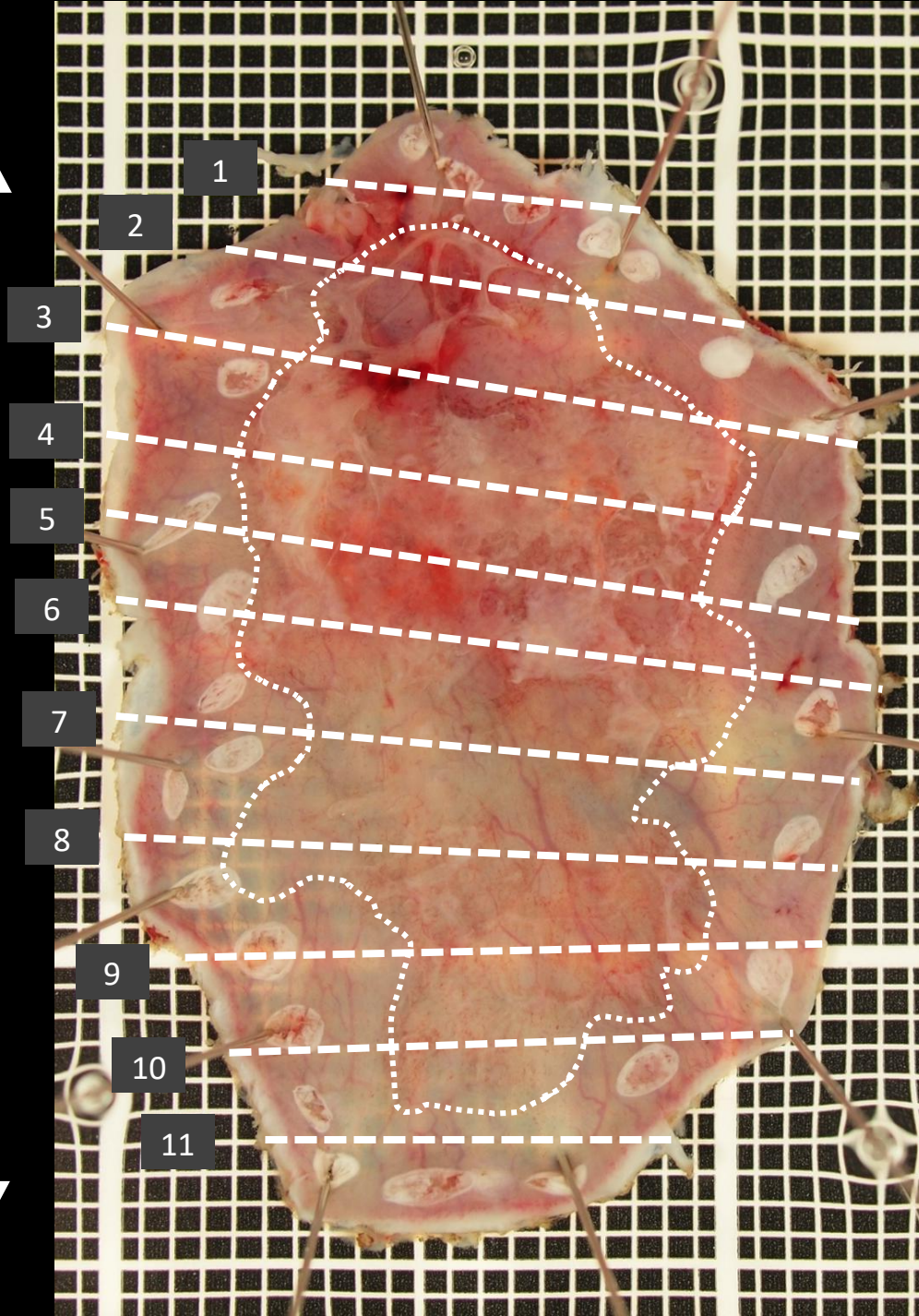
oral ↑



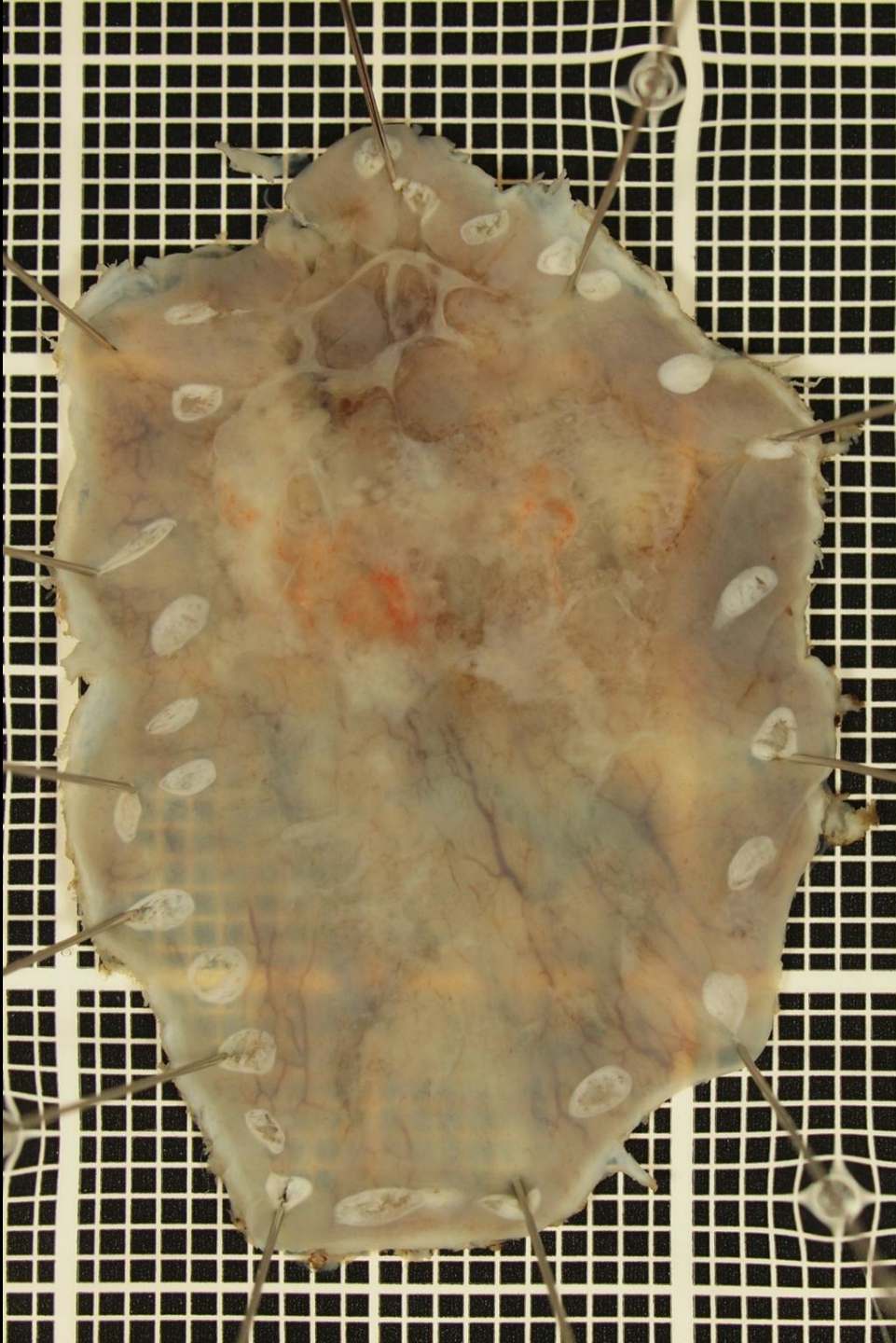
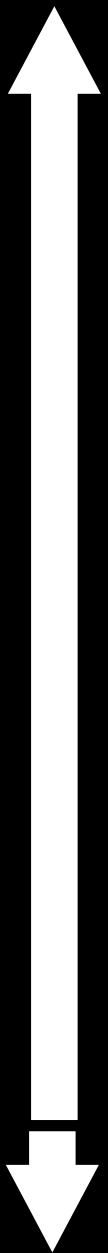
oral



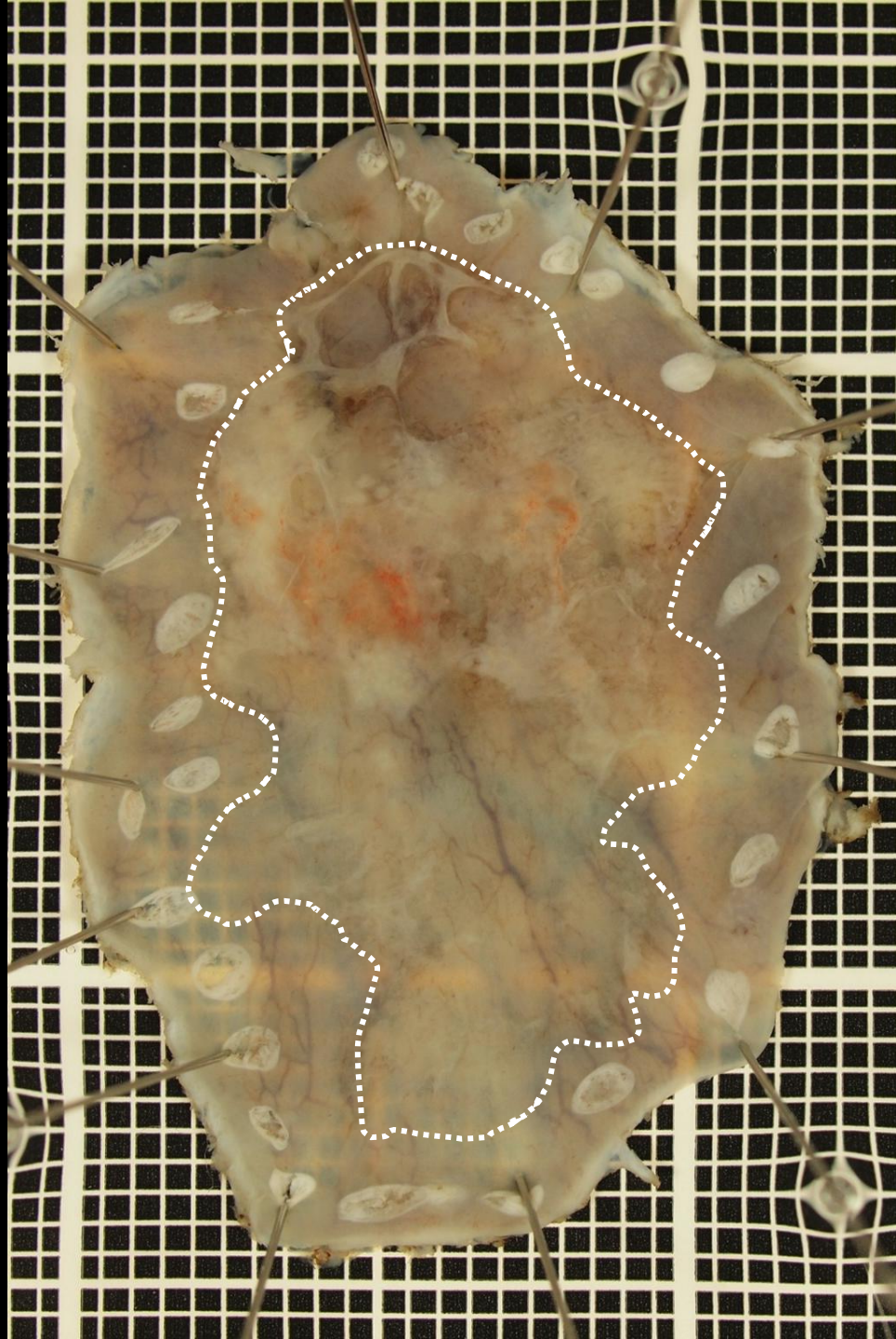
oral ↑



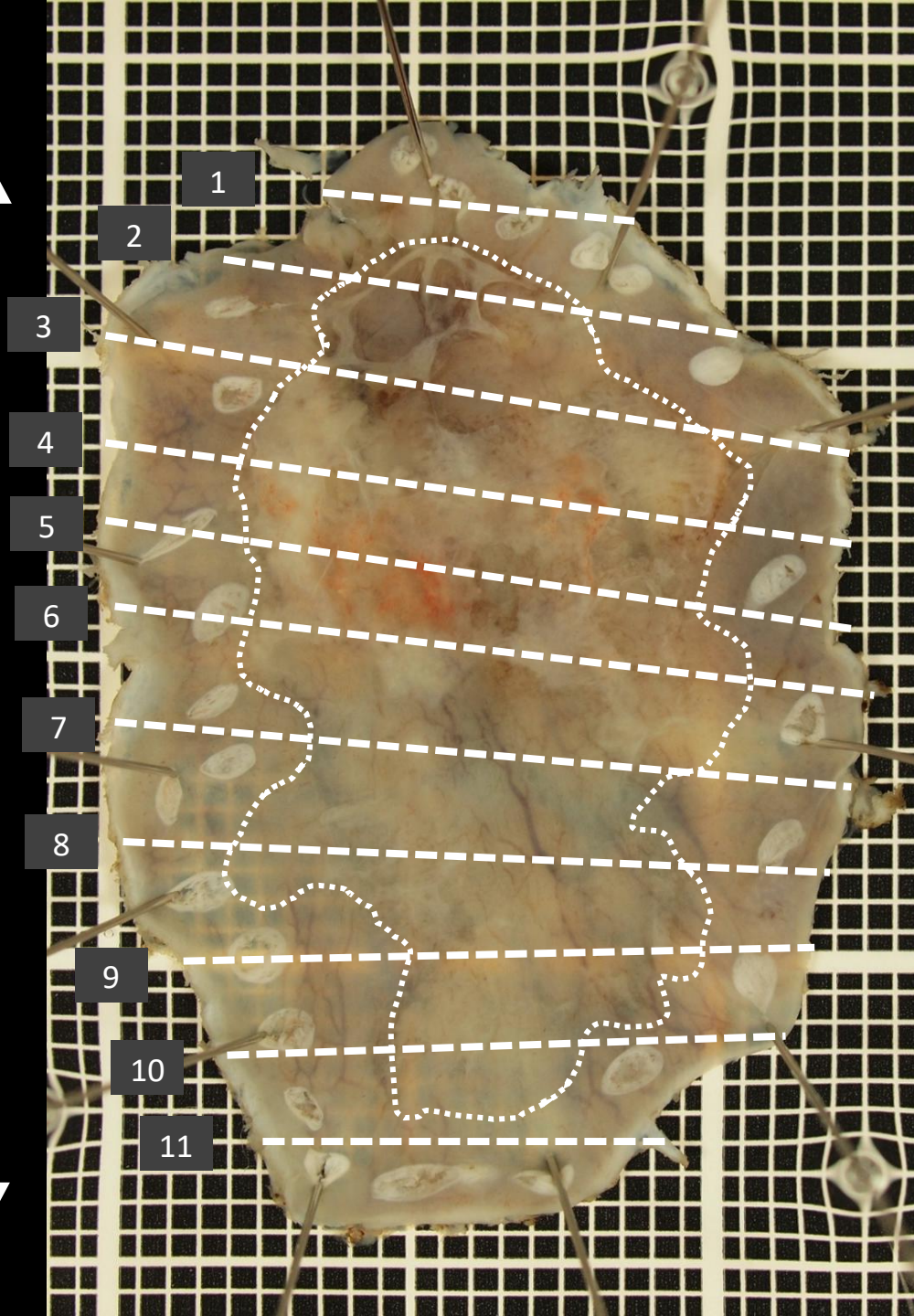
oral ↑



oral



oral ↑



1

2

3

4

5

6

7

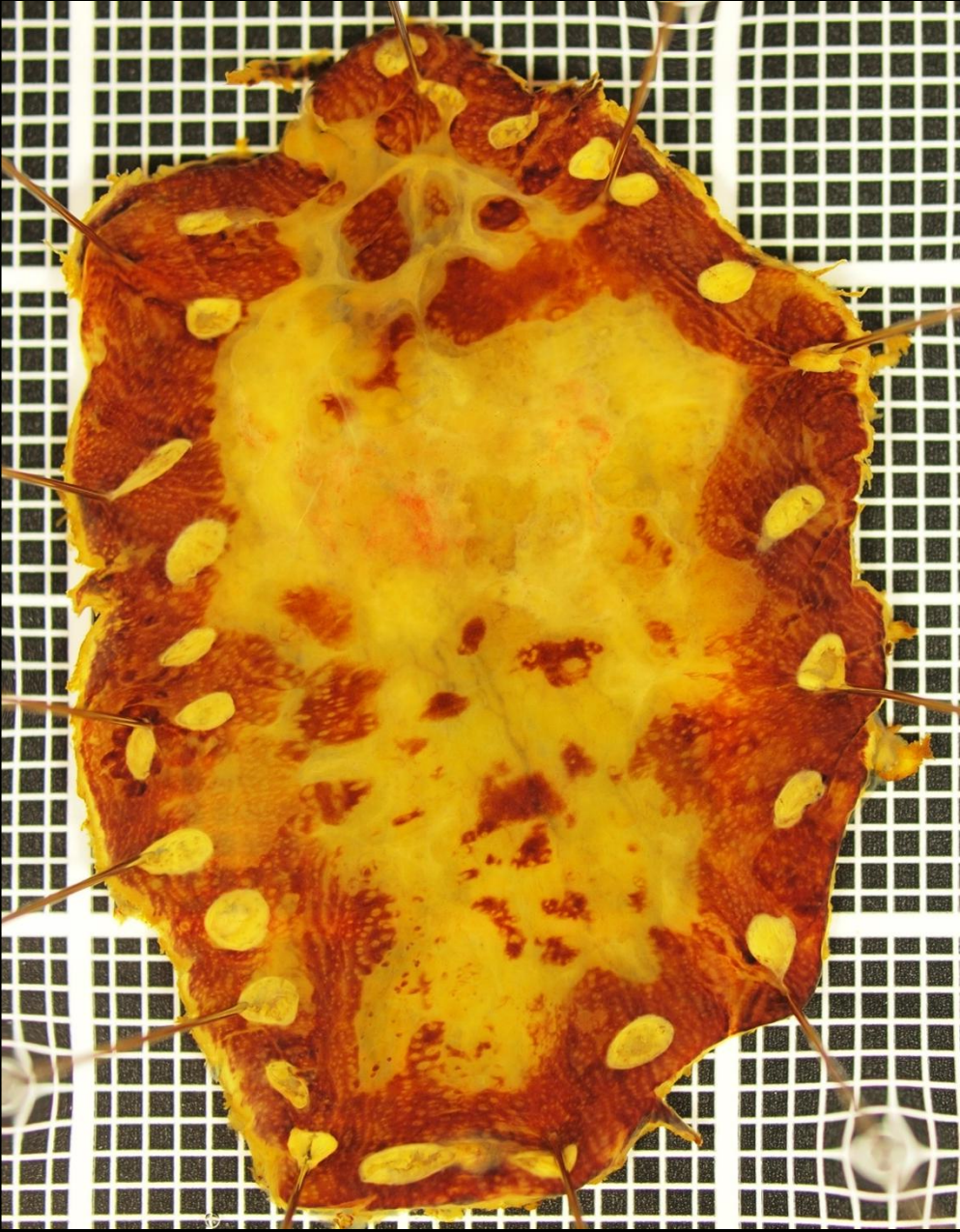
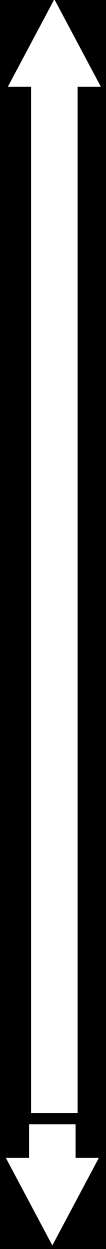
8

9

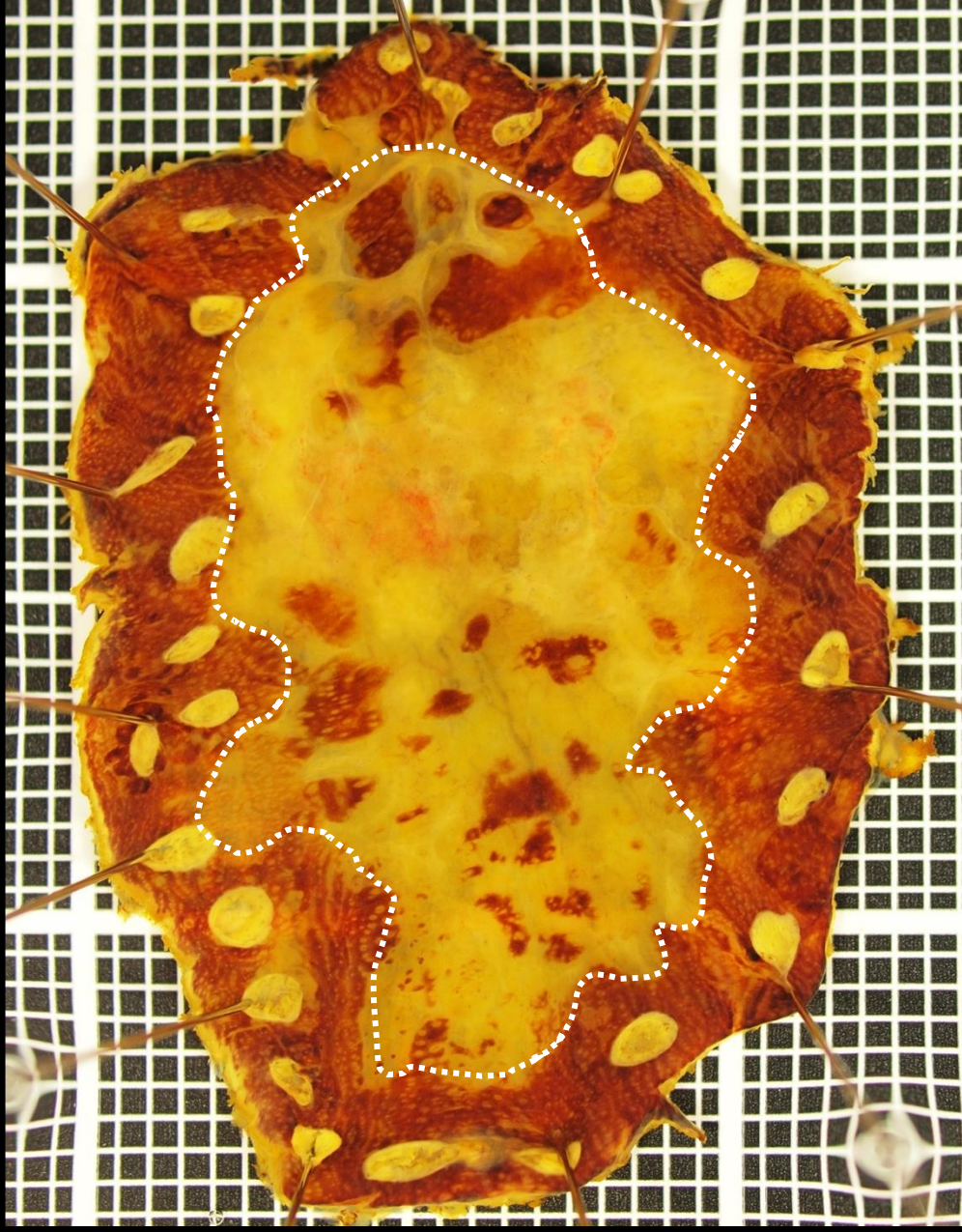
10

11

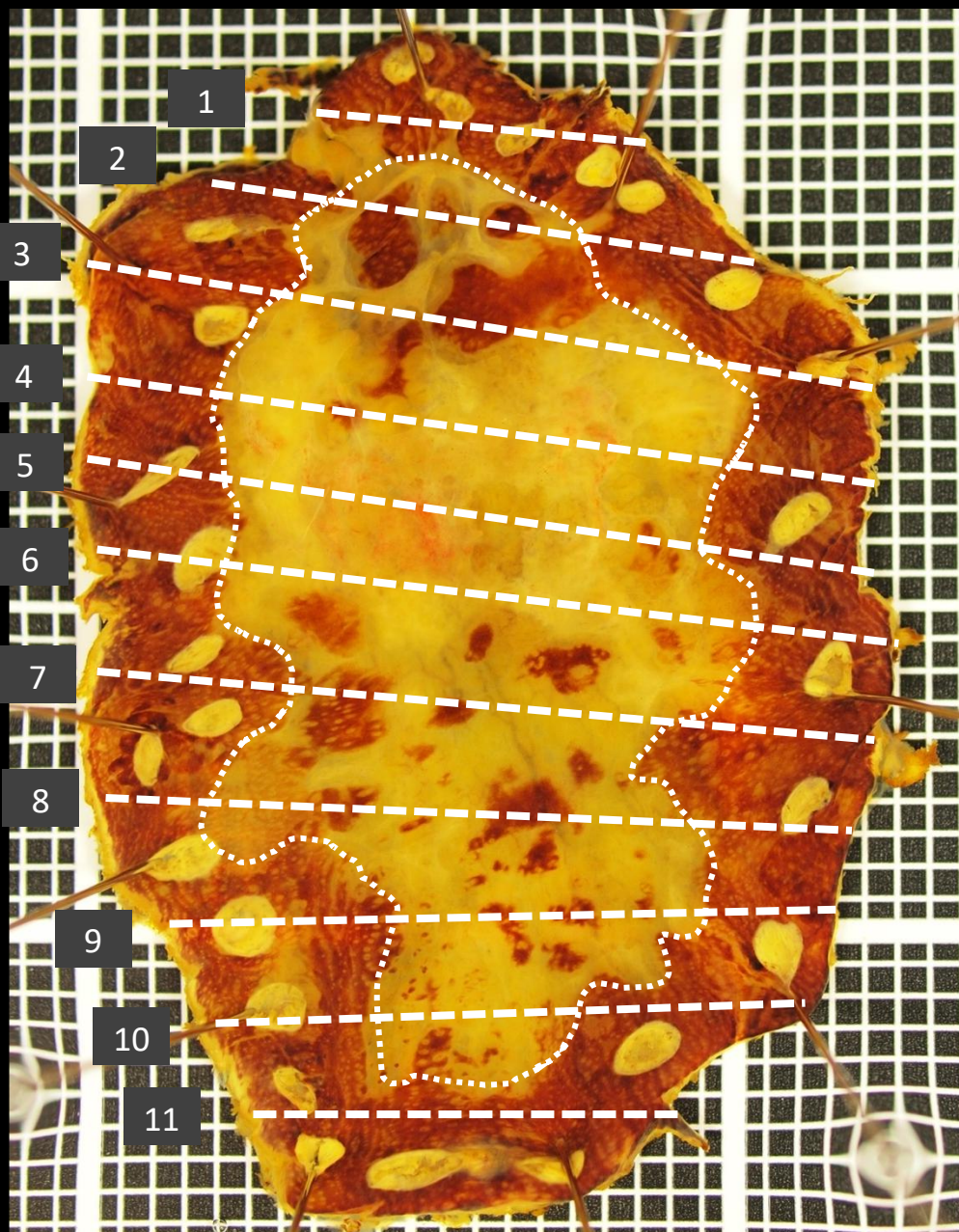
oral ↑



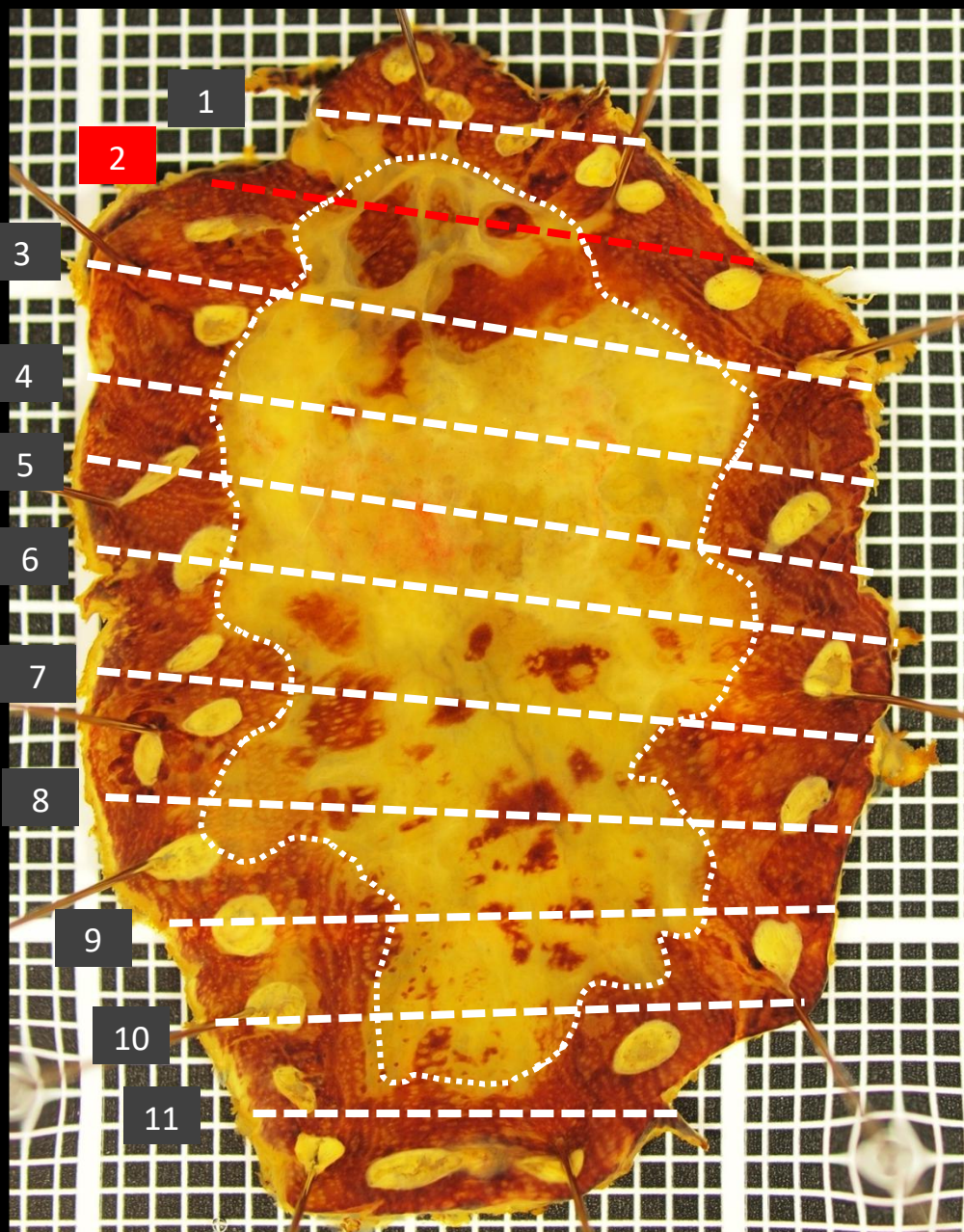
oral



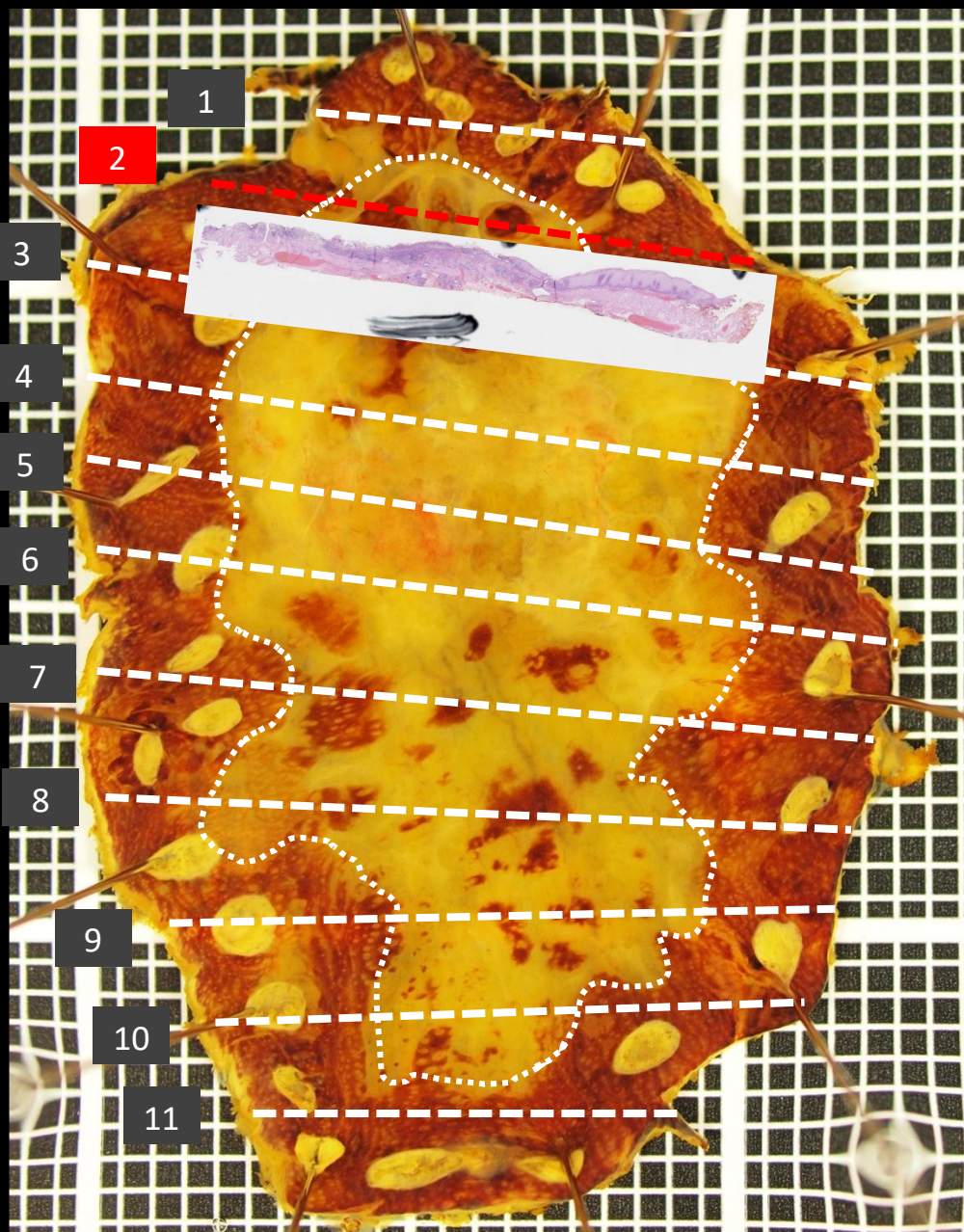
oral ↑

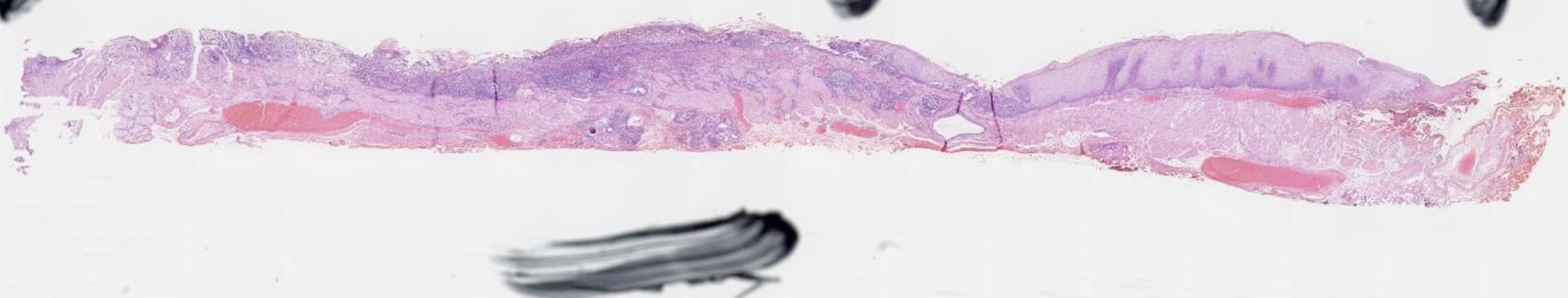


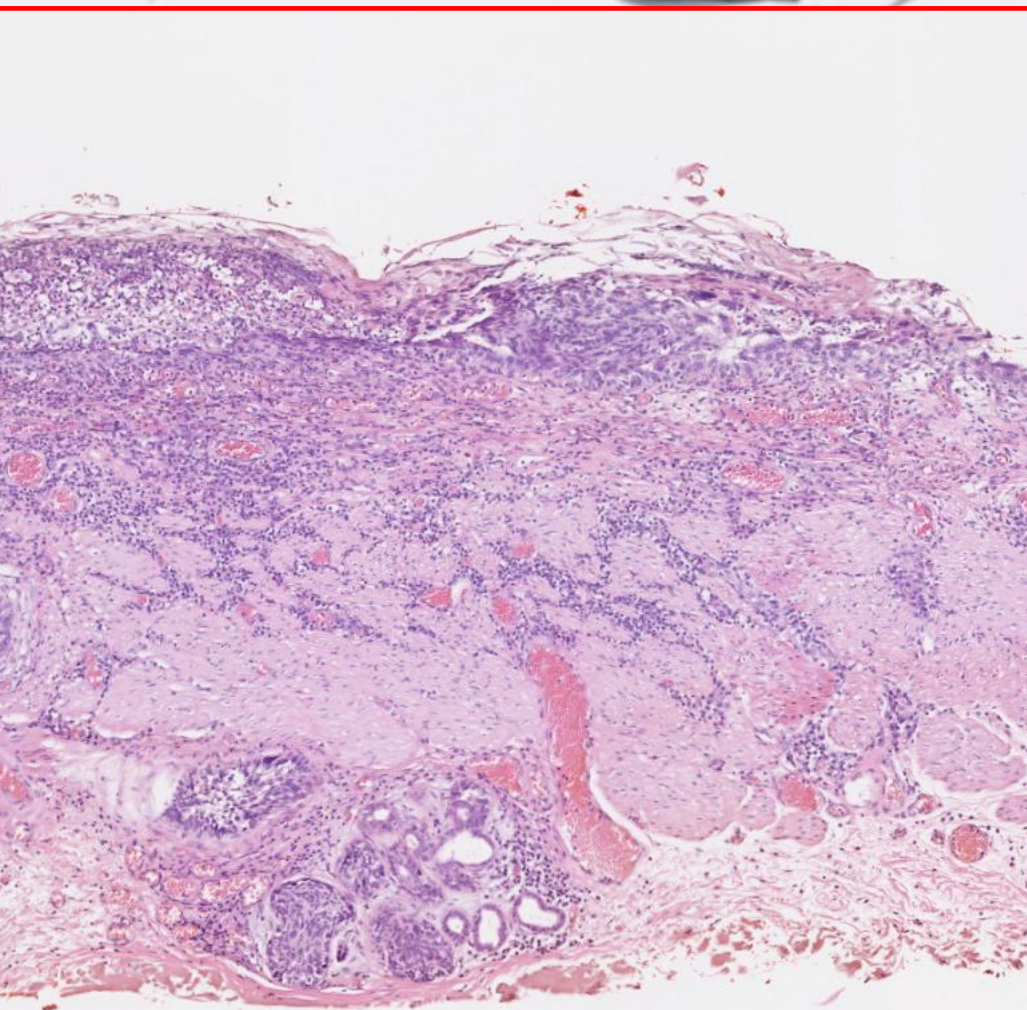
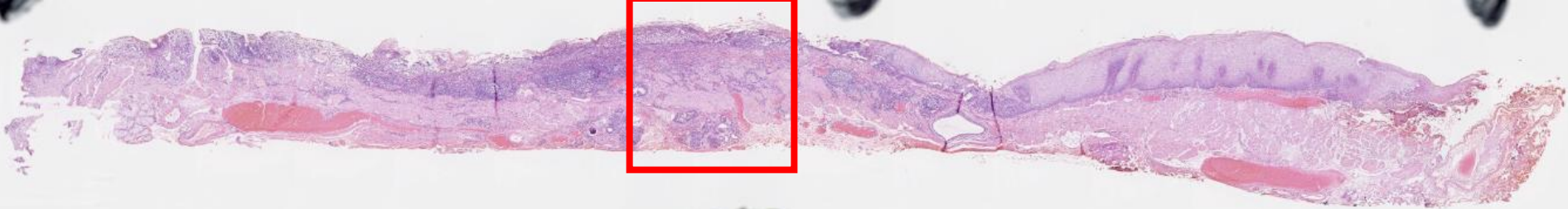
oral ↑

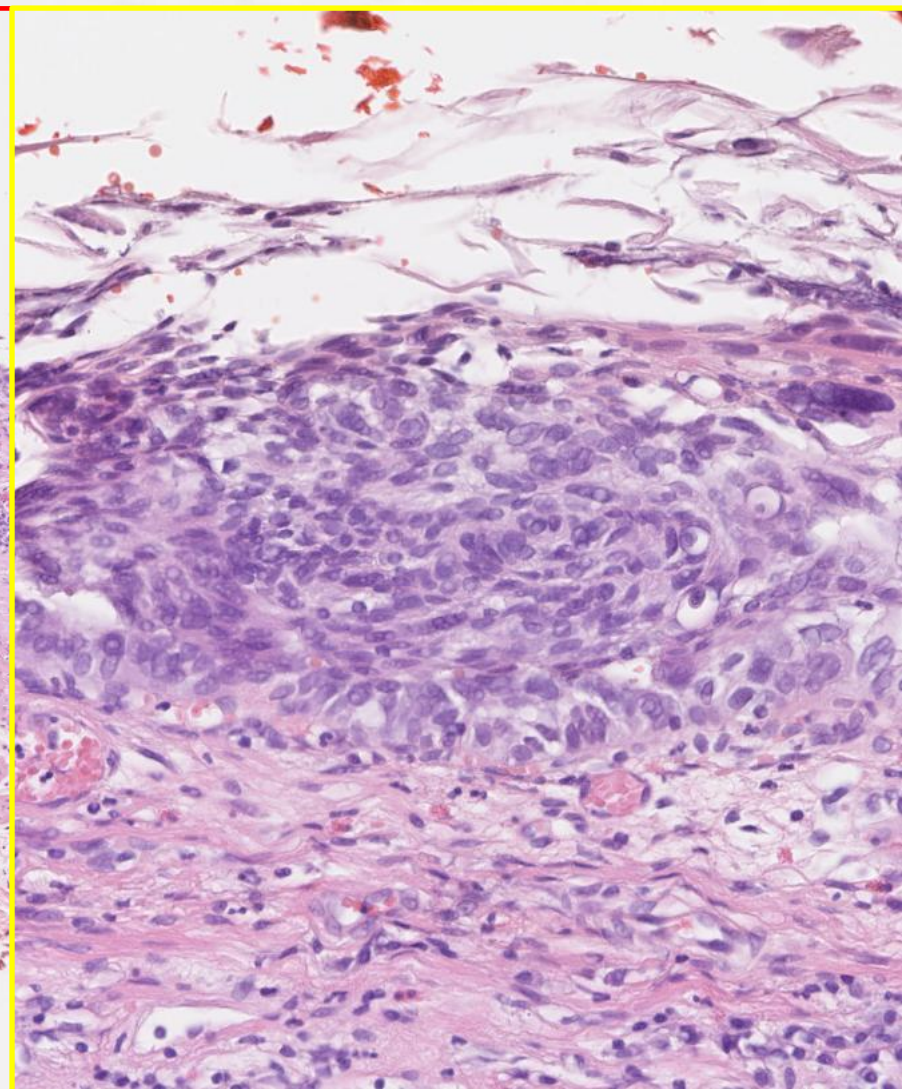
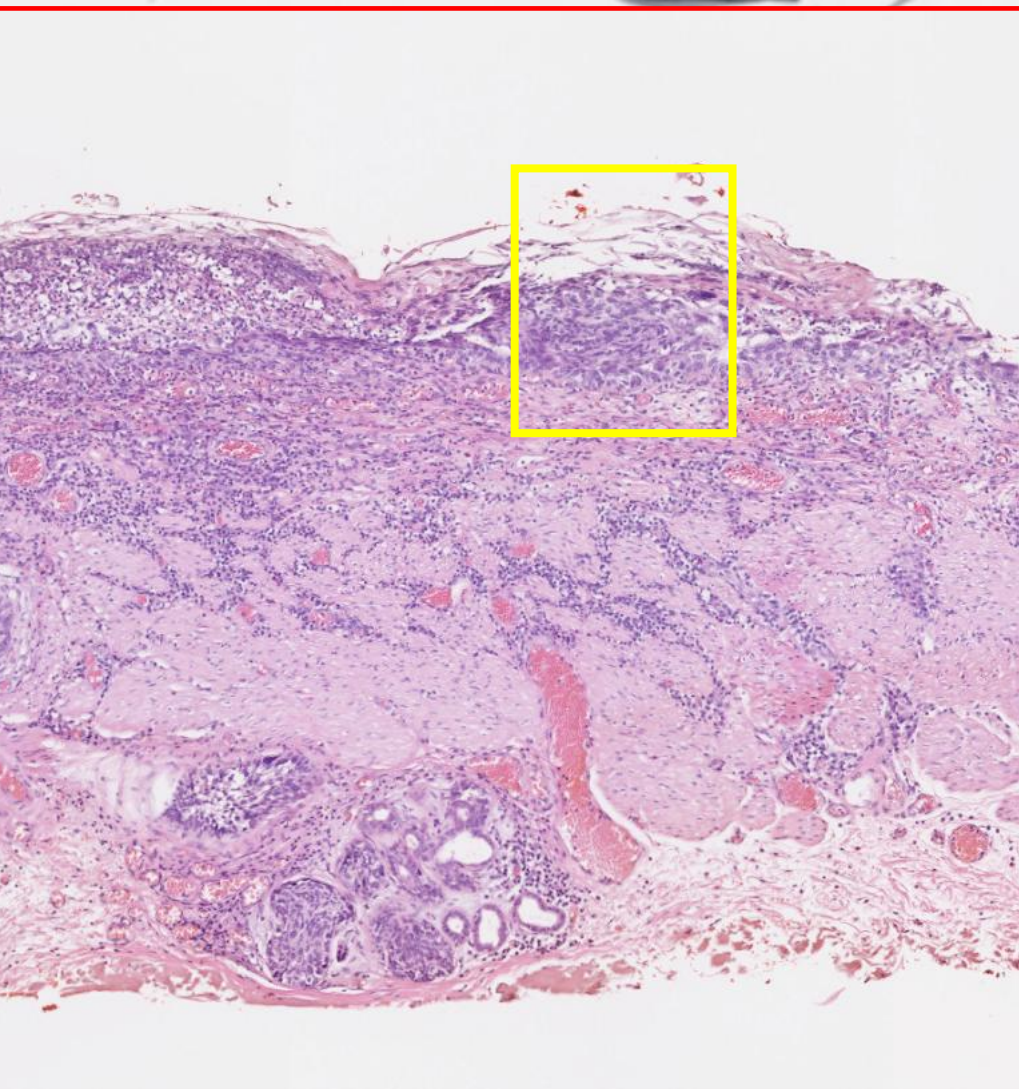
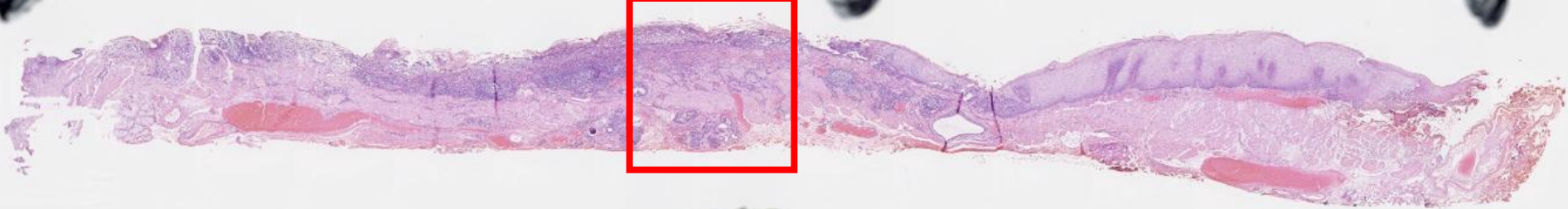


oral ↑

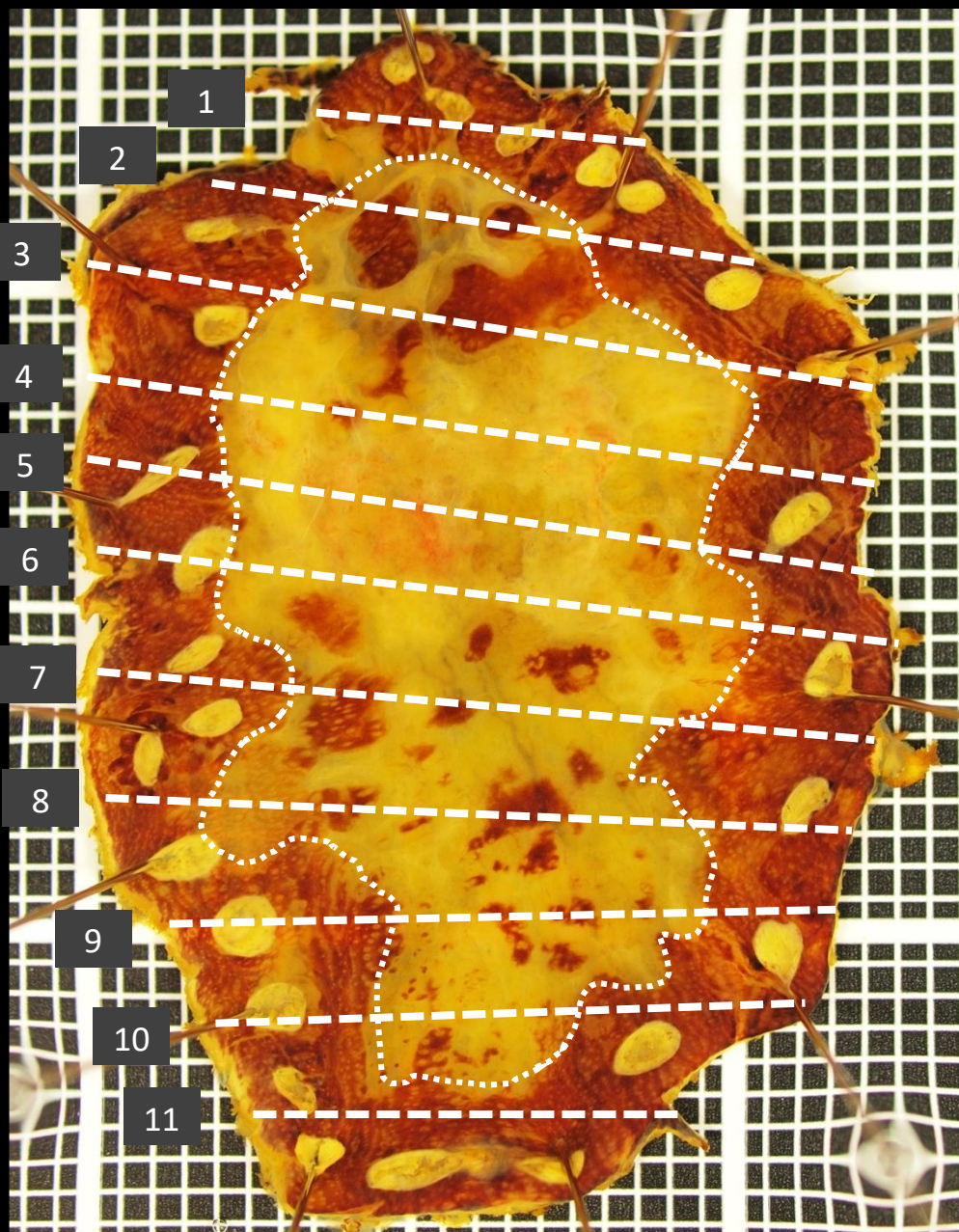




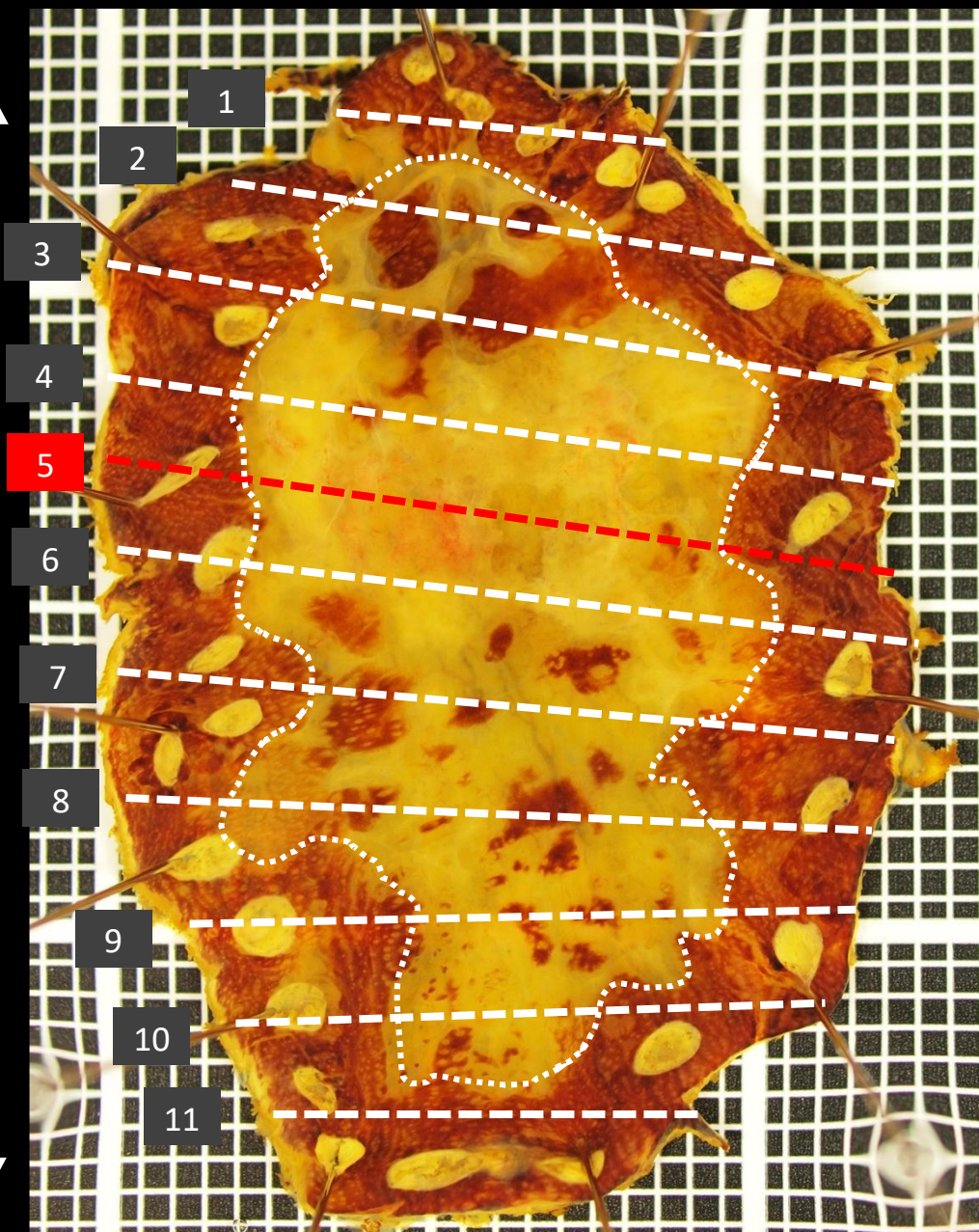


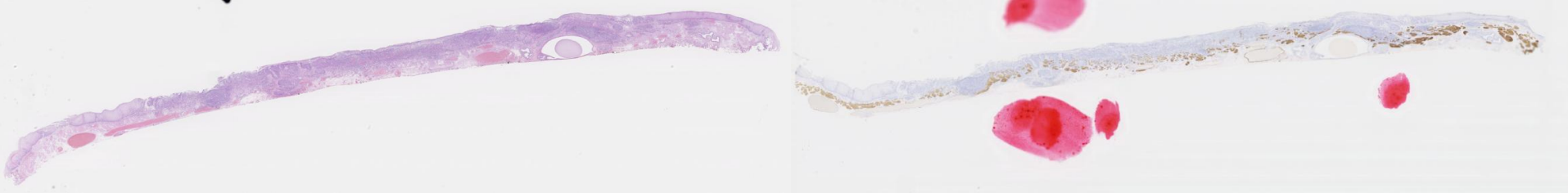


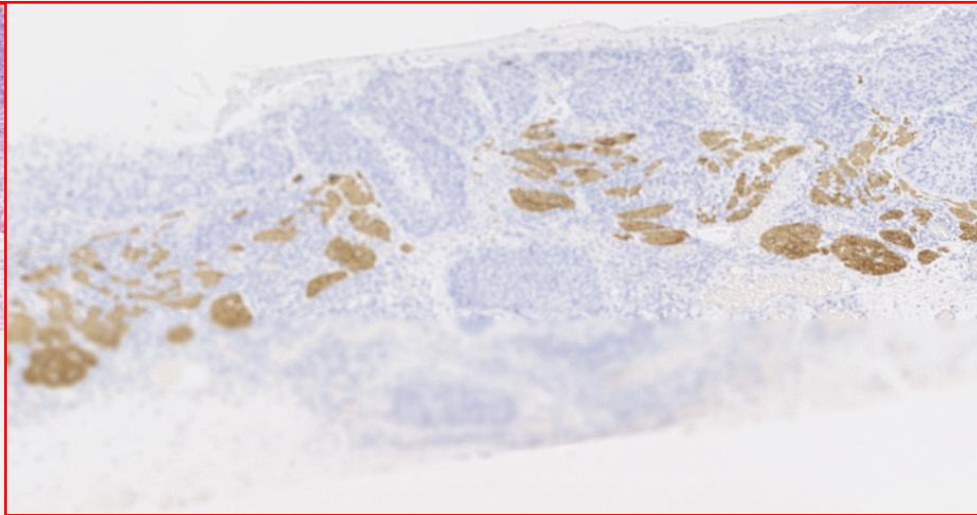
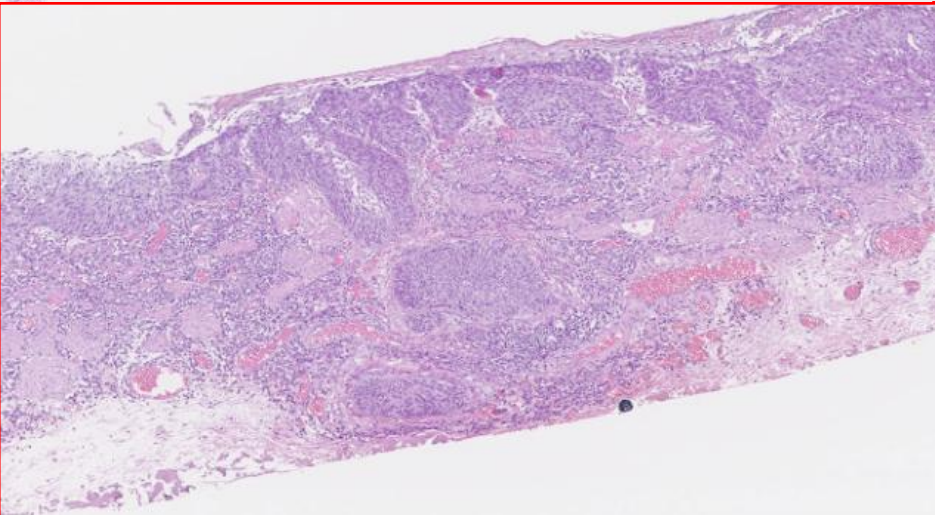
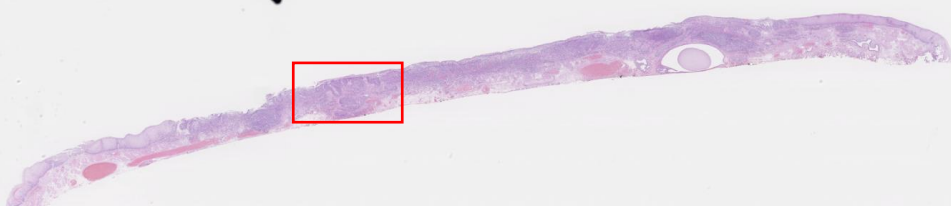
oral ↑

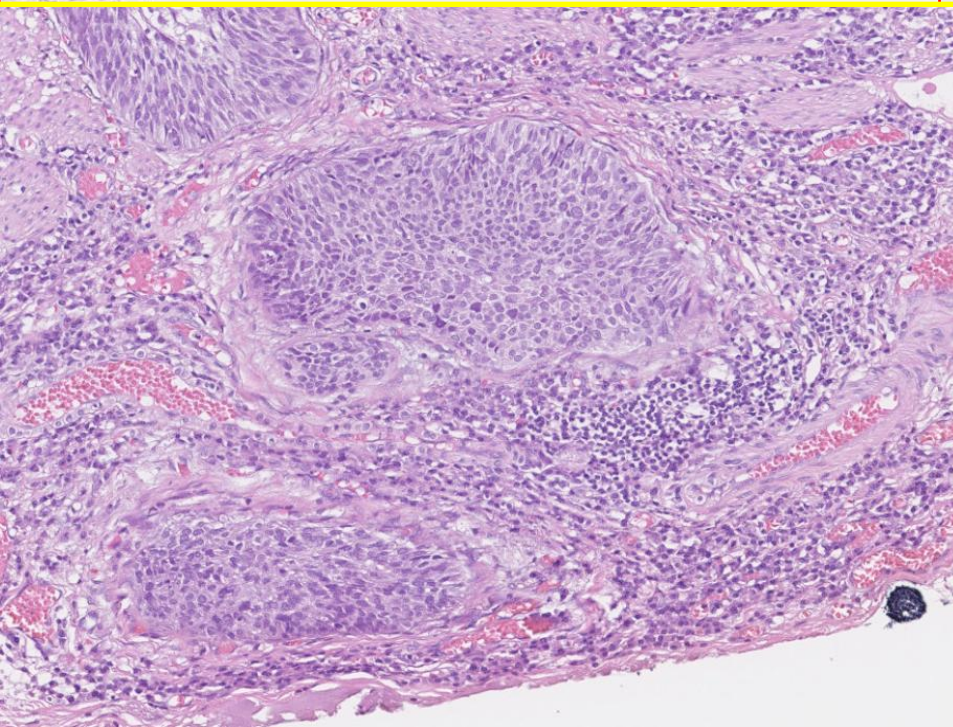
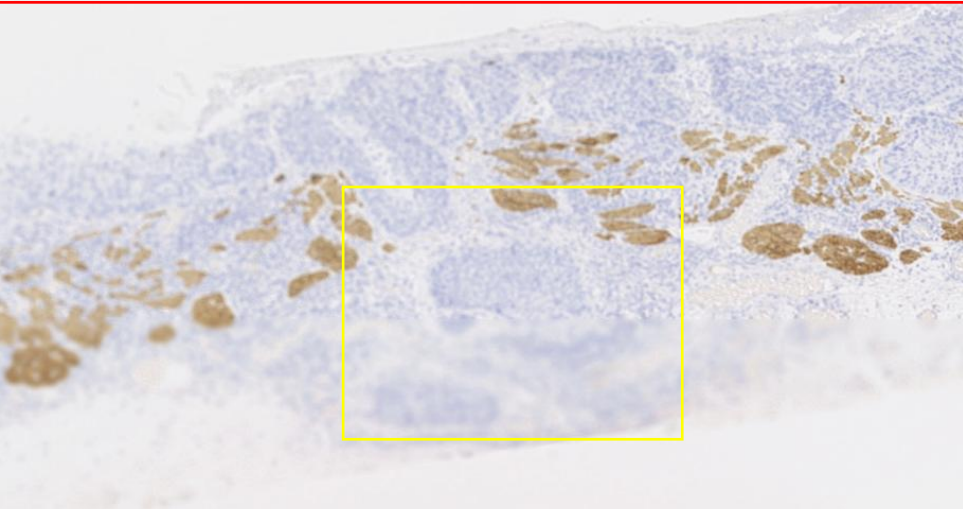
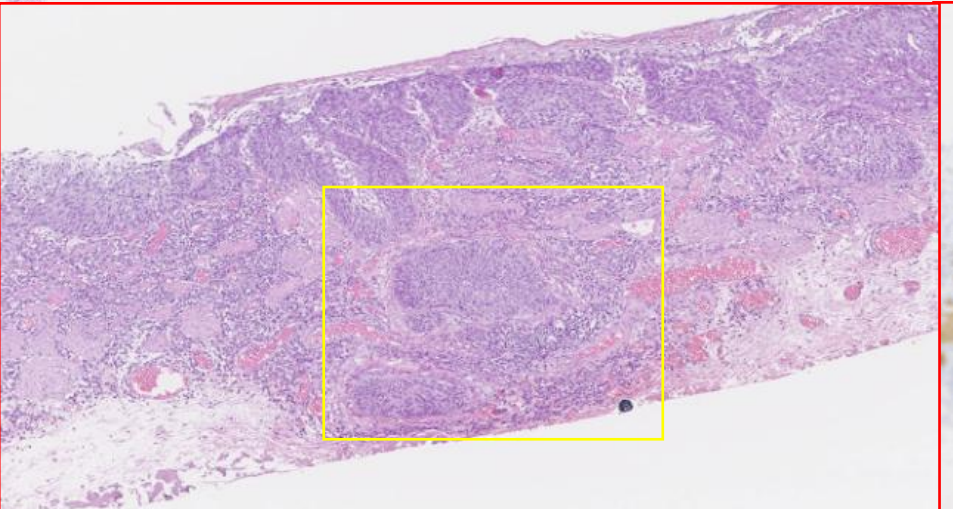
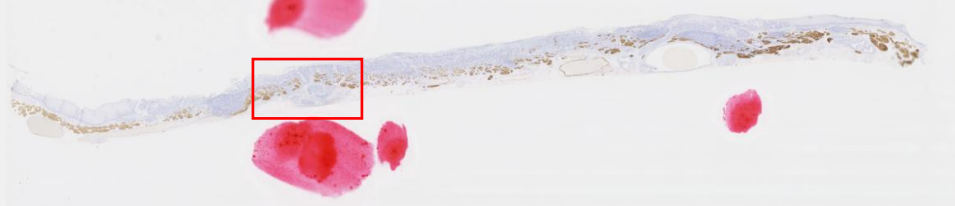


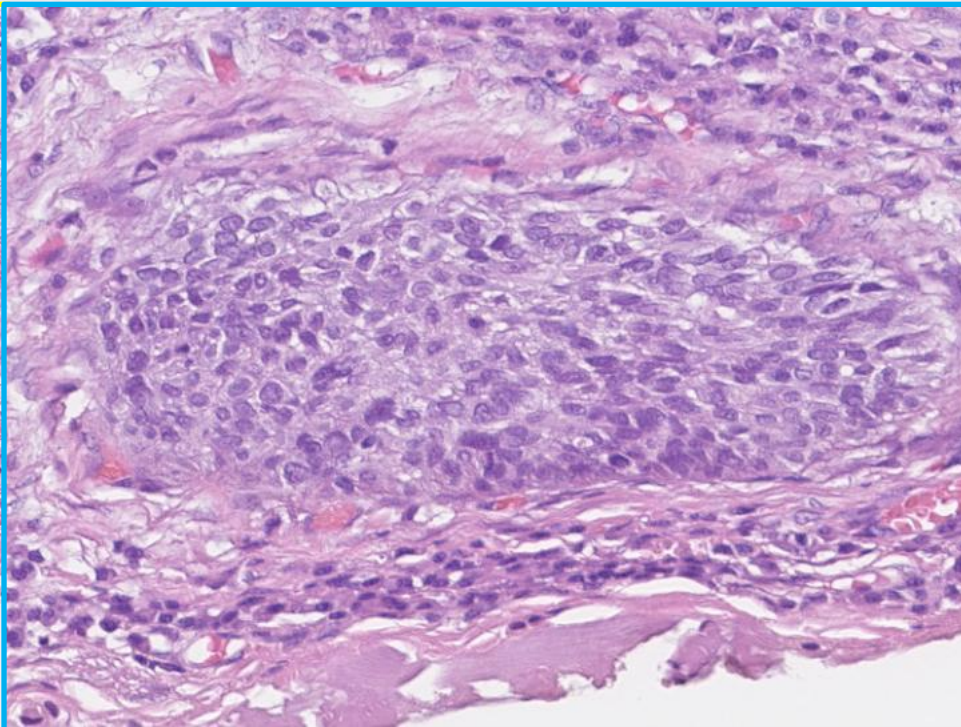
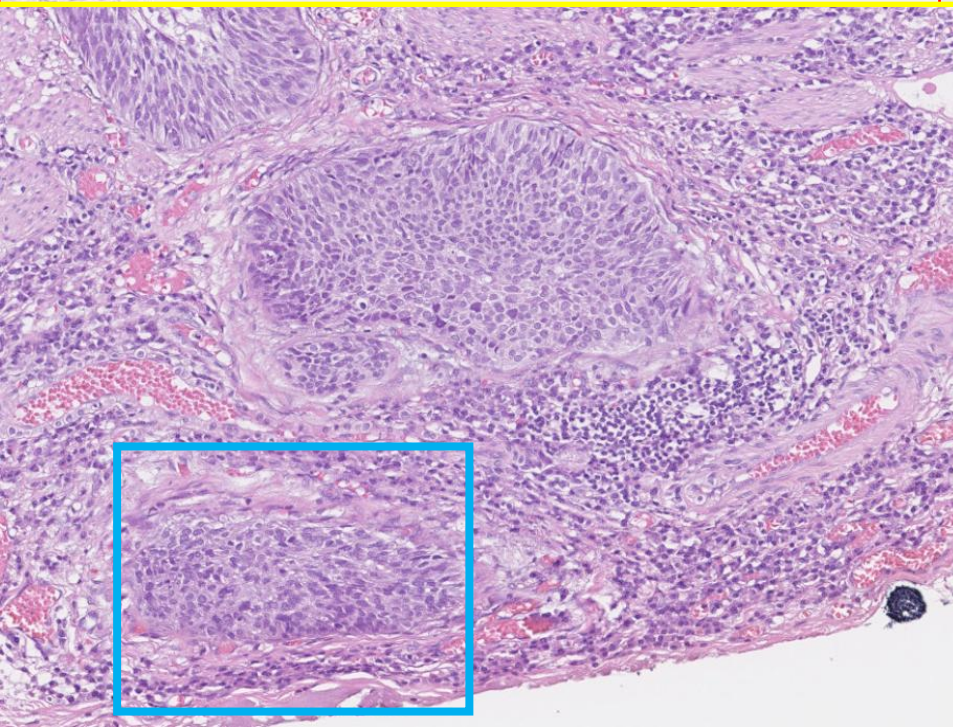
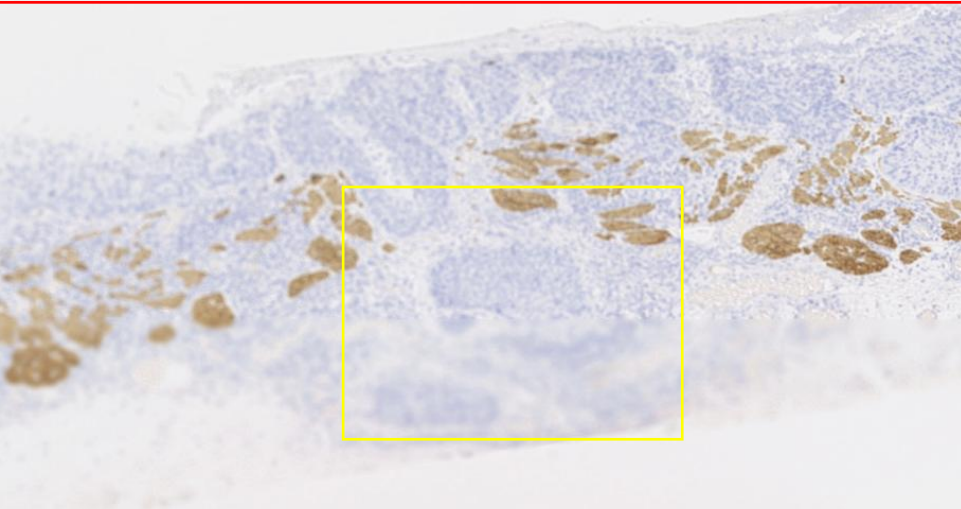
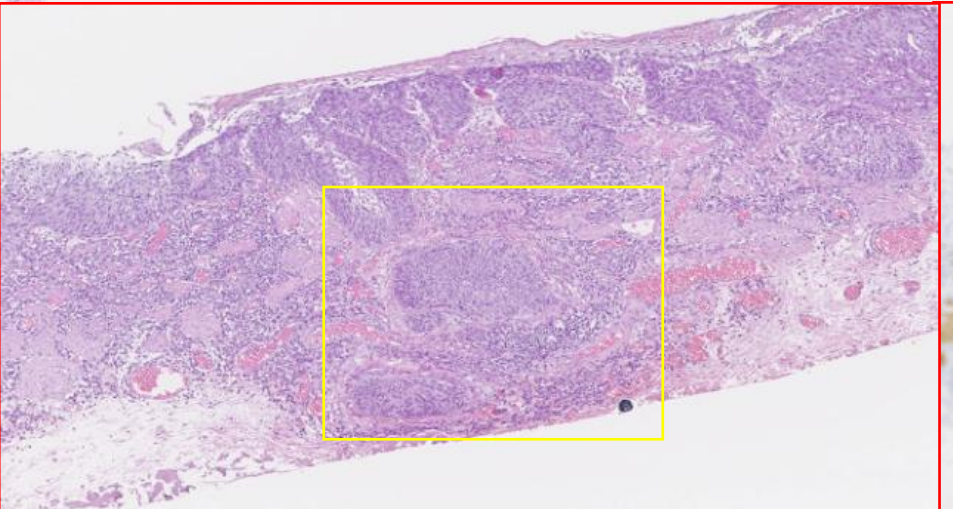
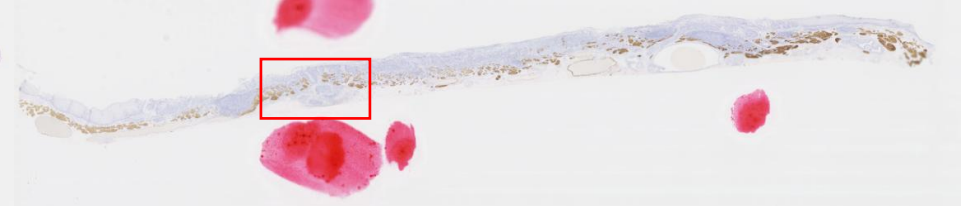
oral ↑

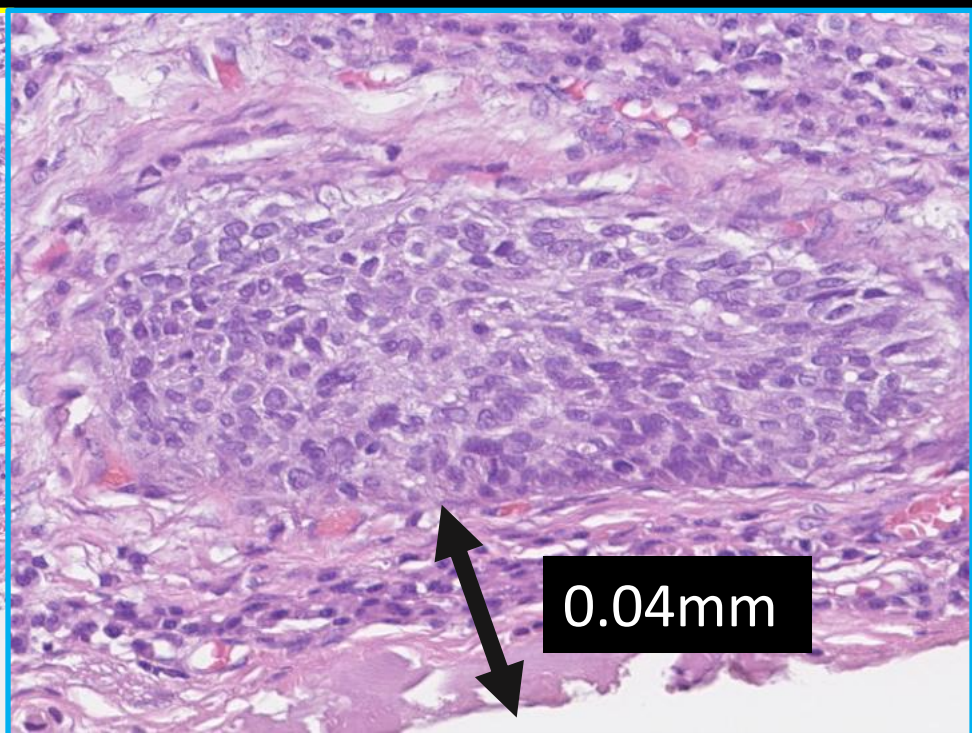
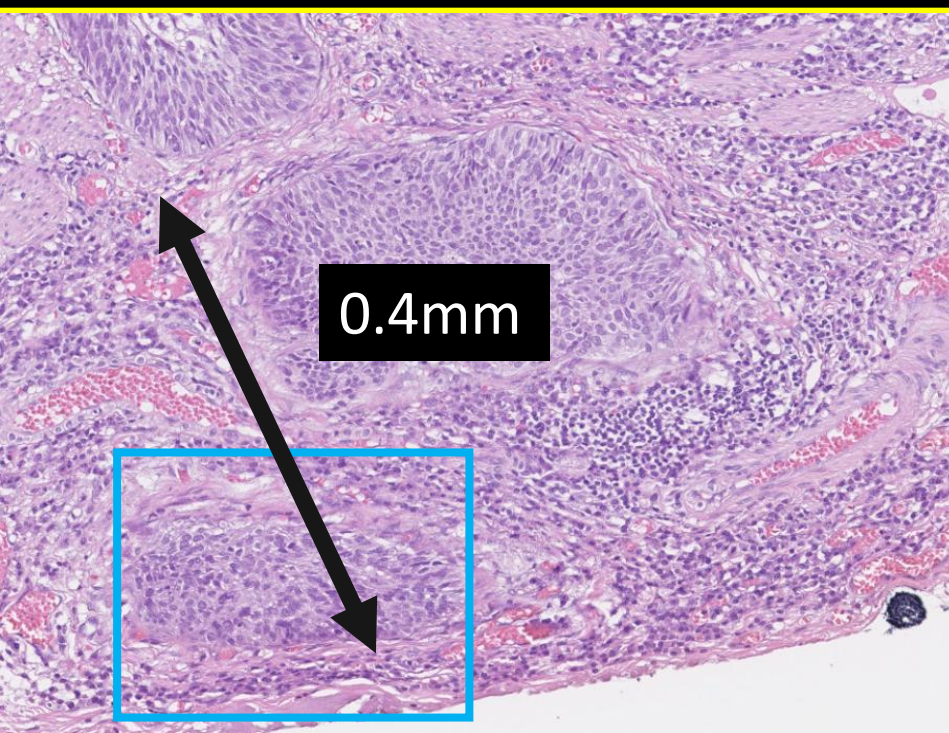




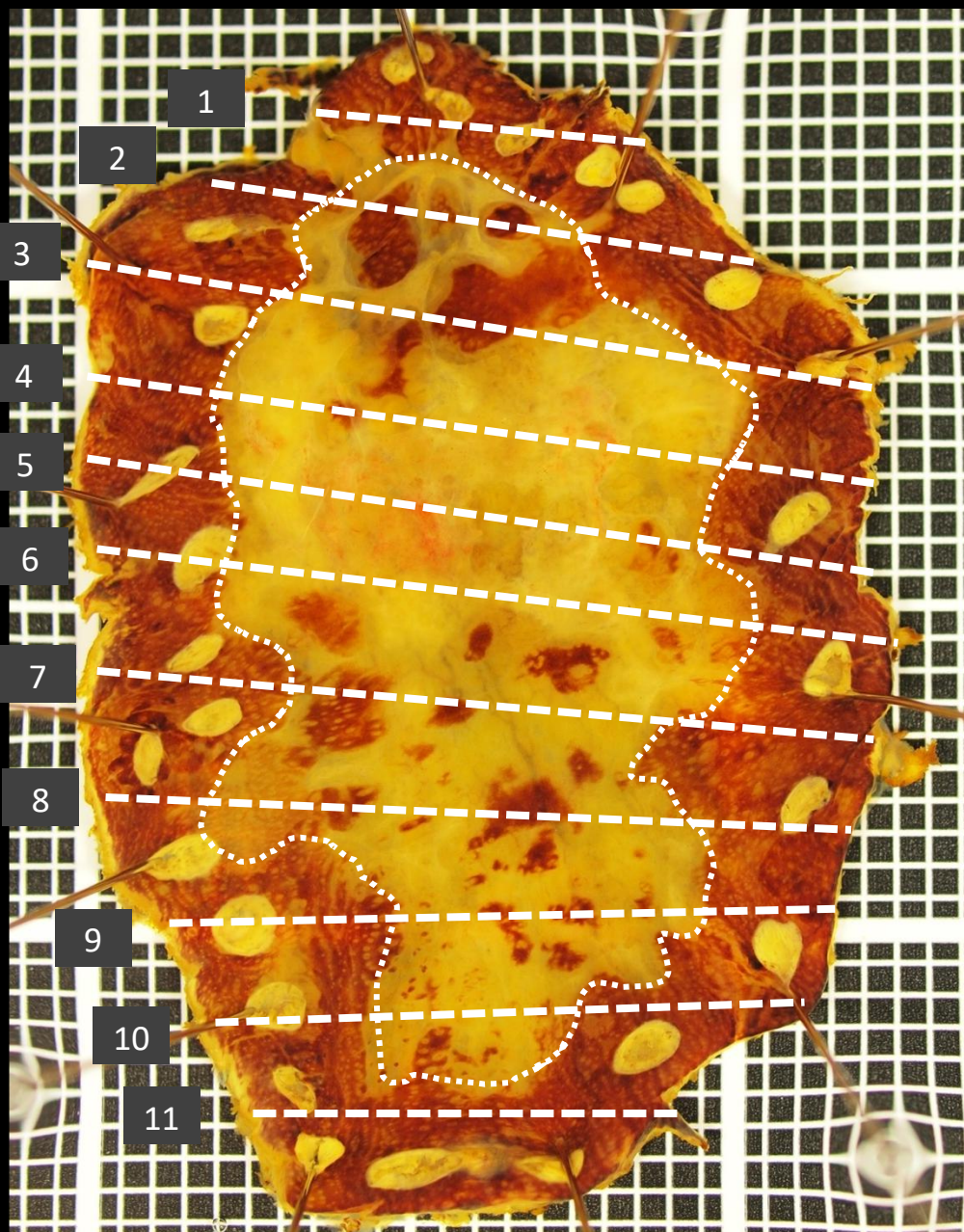




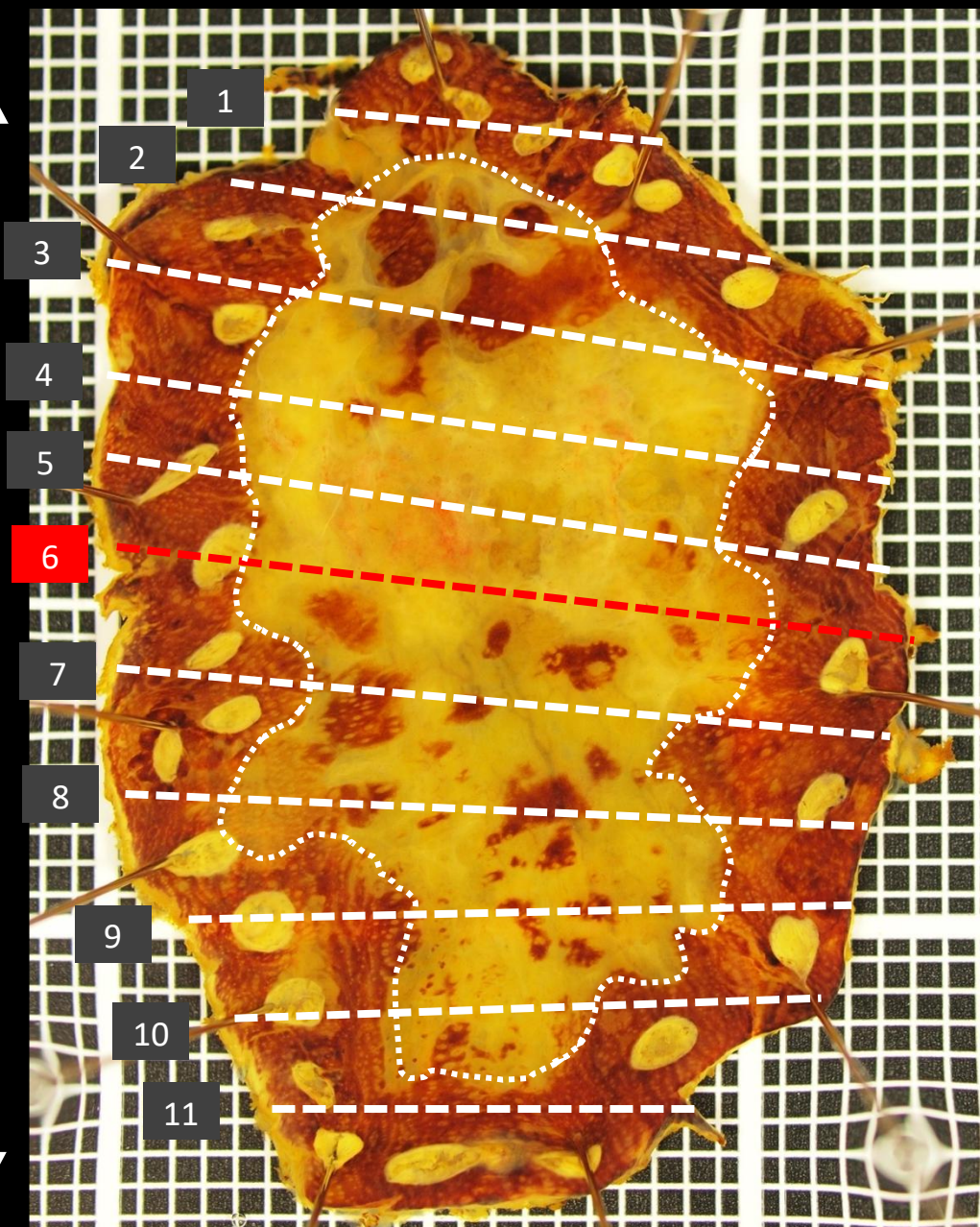




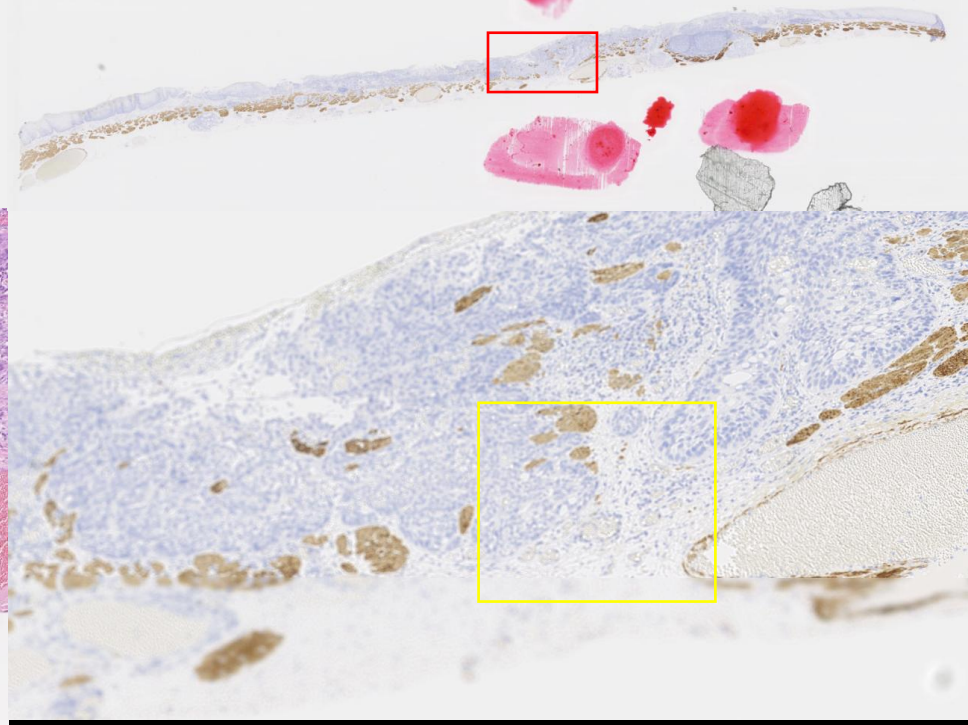
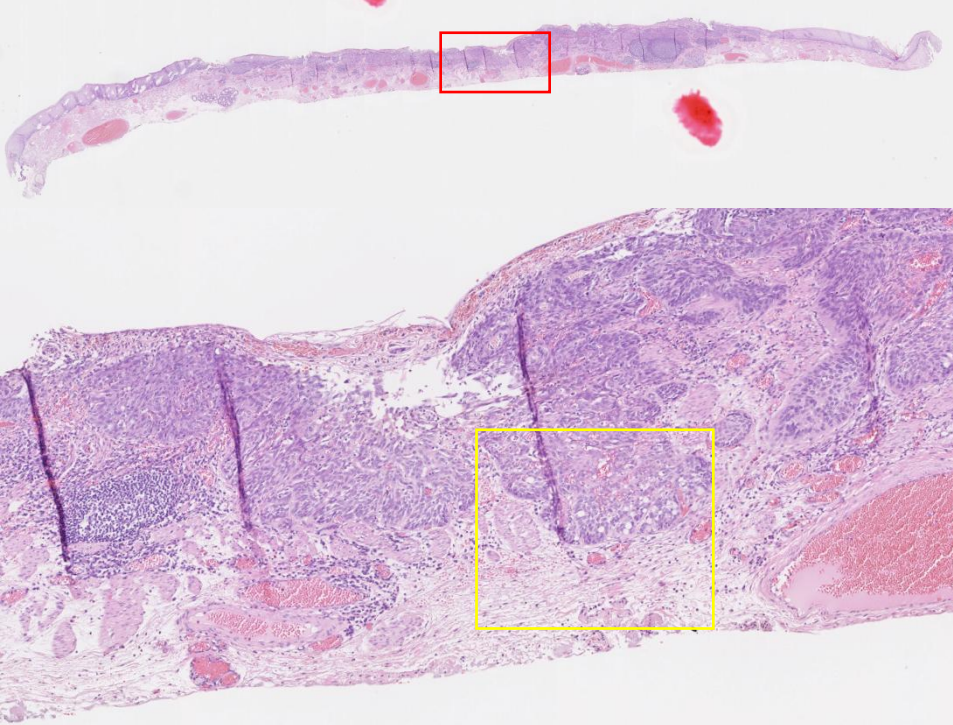
oral ↑

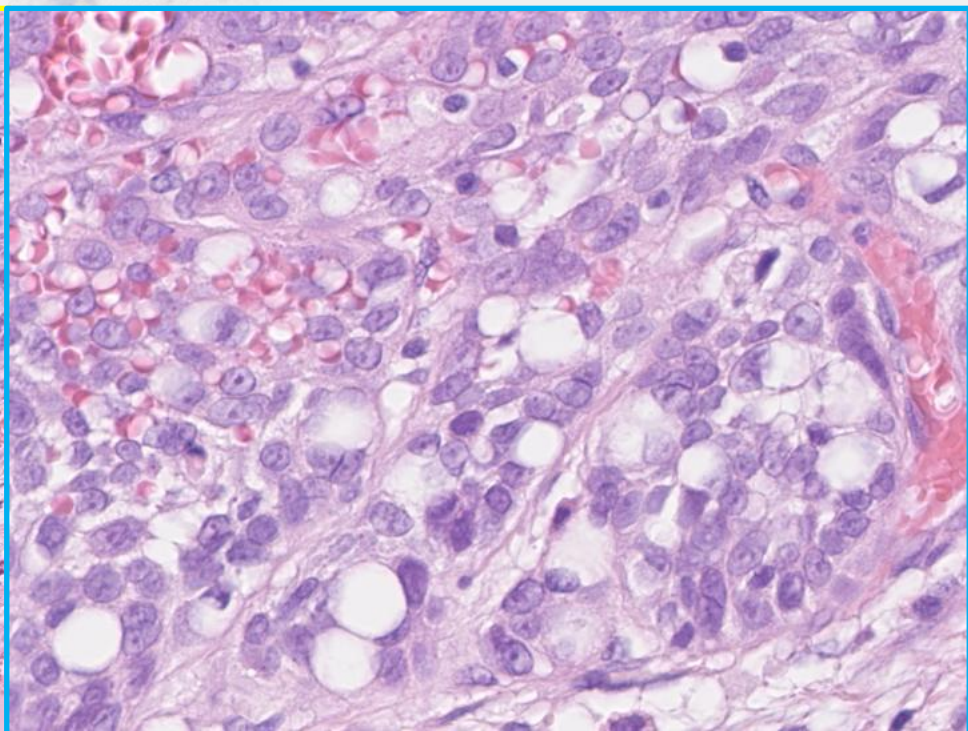
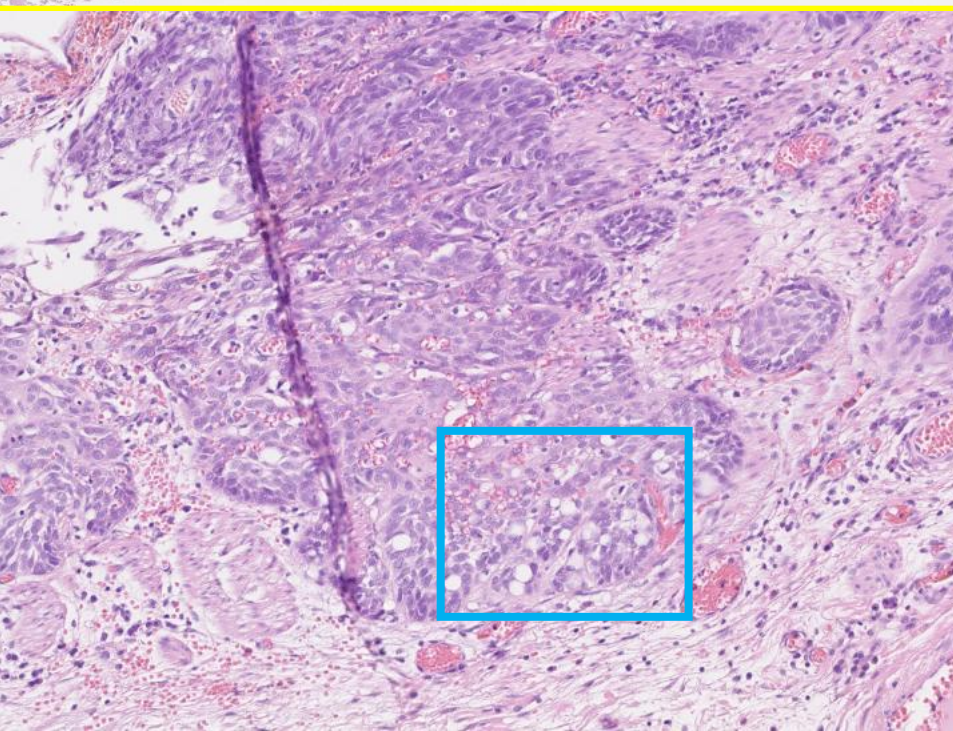
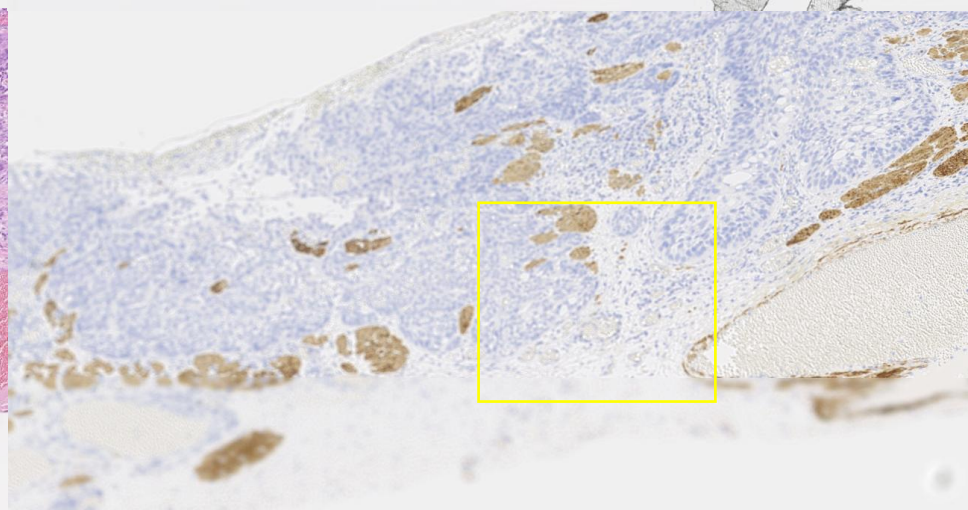
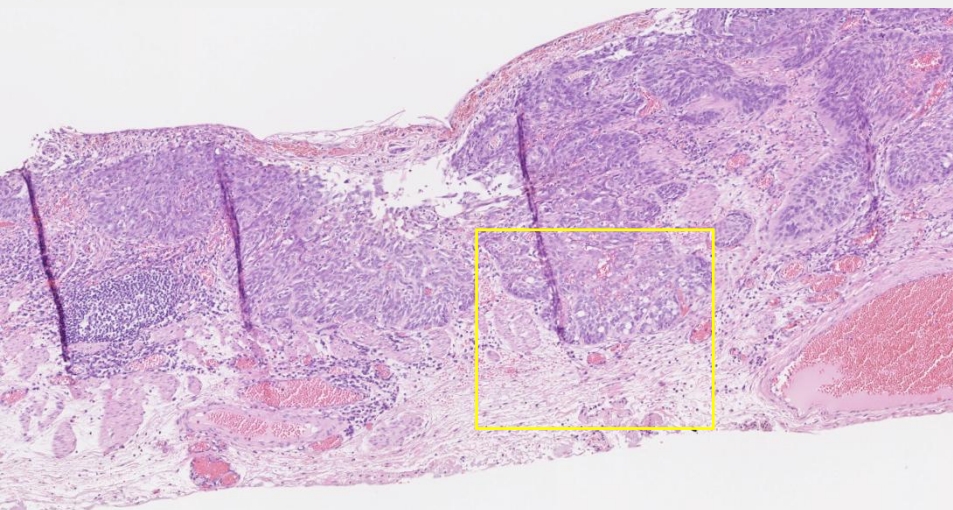


oral ↑

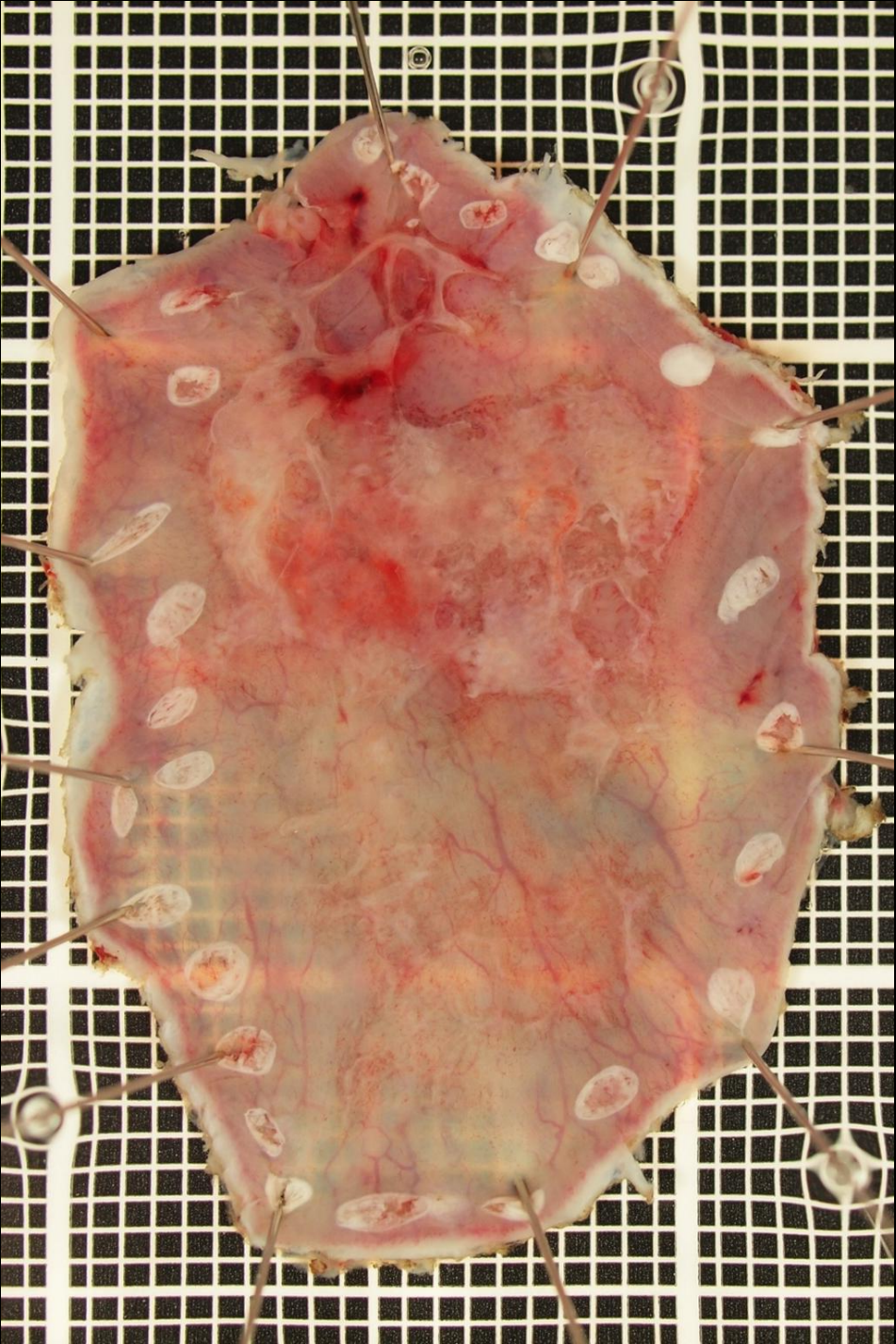
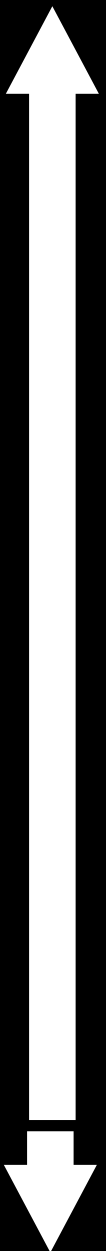




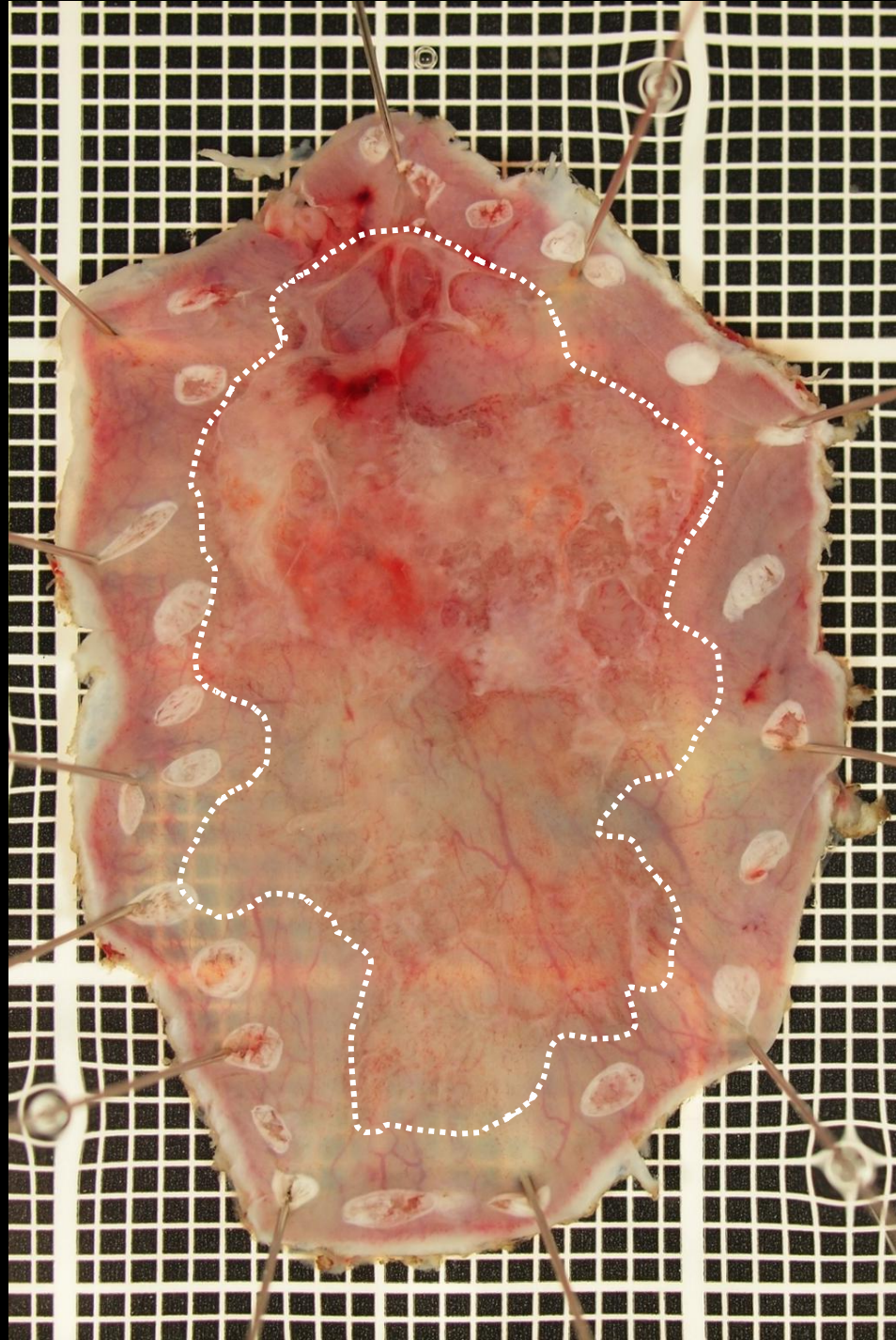




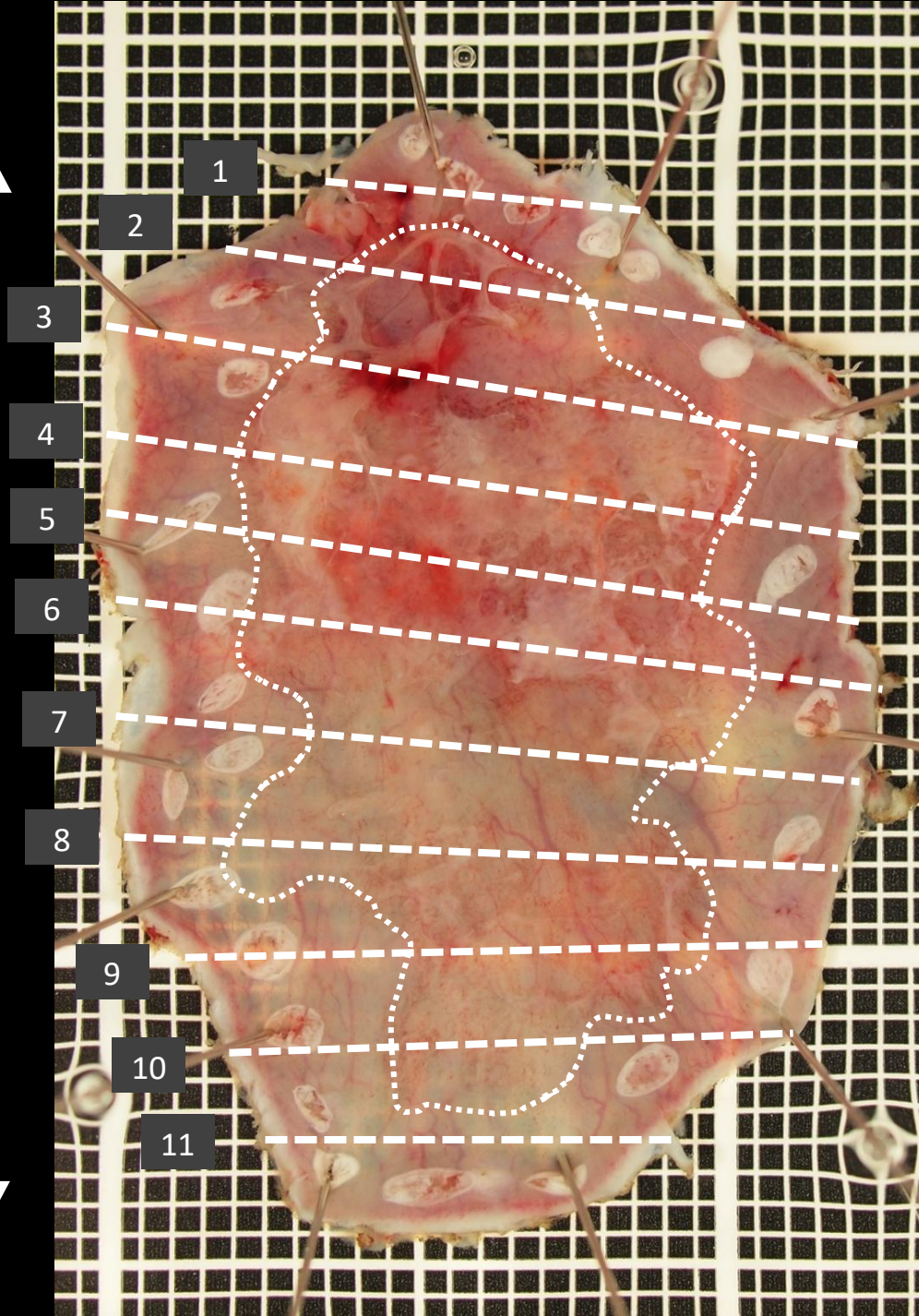
oral ↑



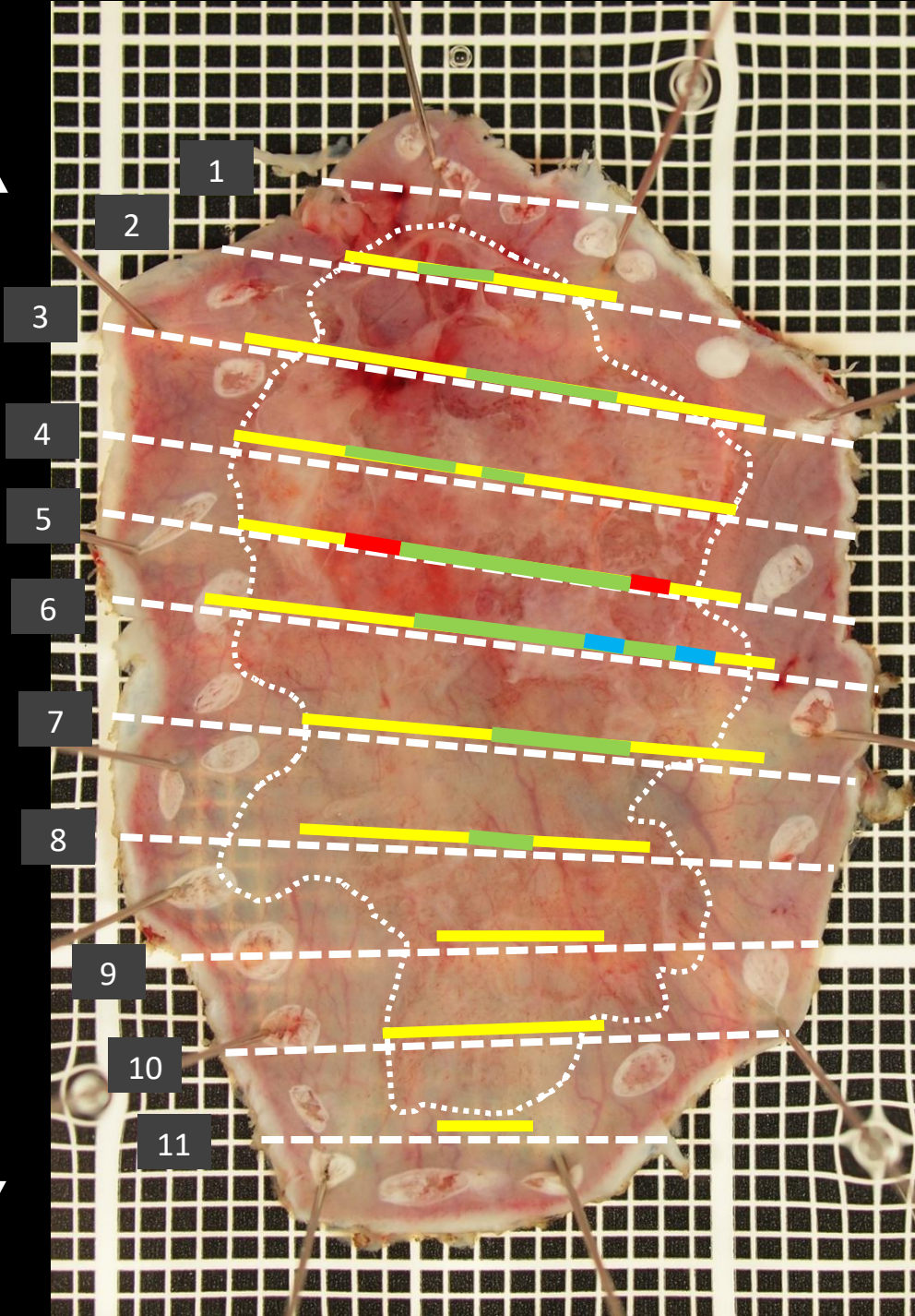
oral



oral ↑

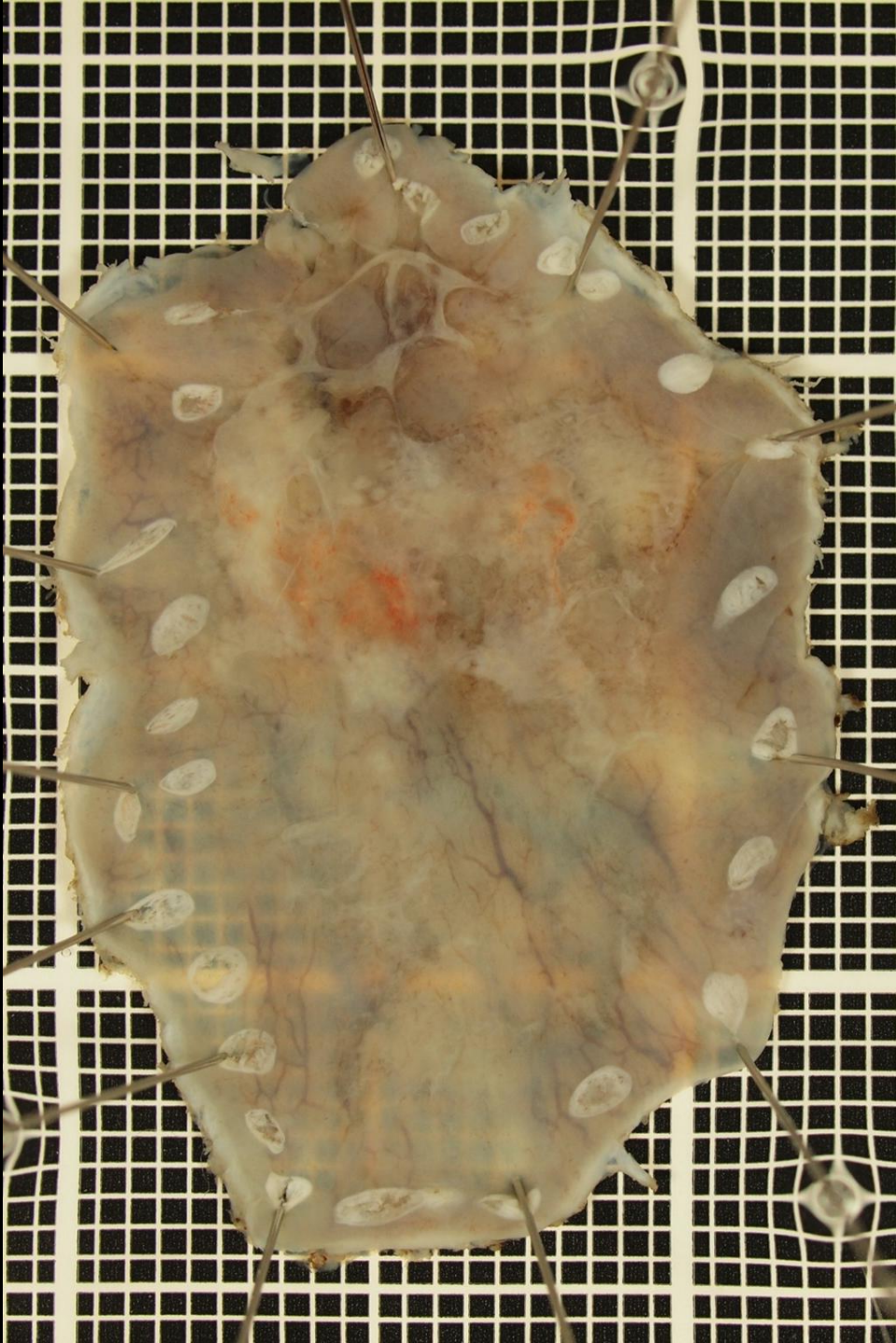
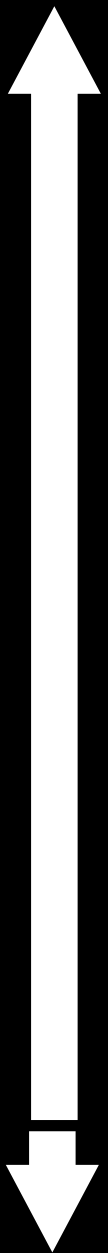


oral ↑

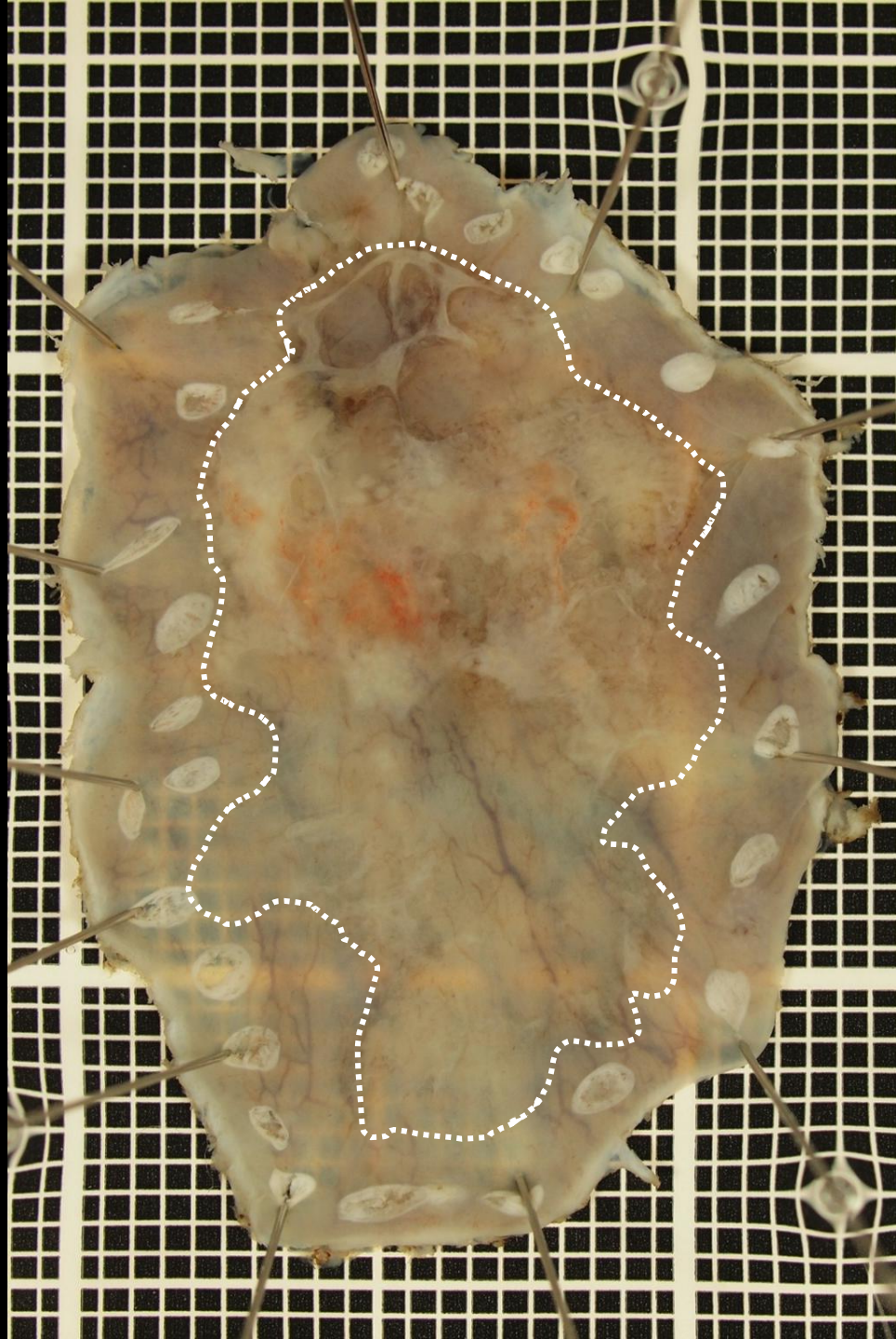


- EP
- LPM
- SM1
- SM2

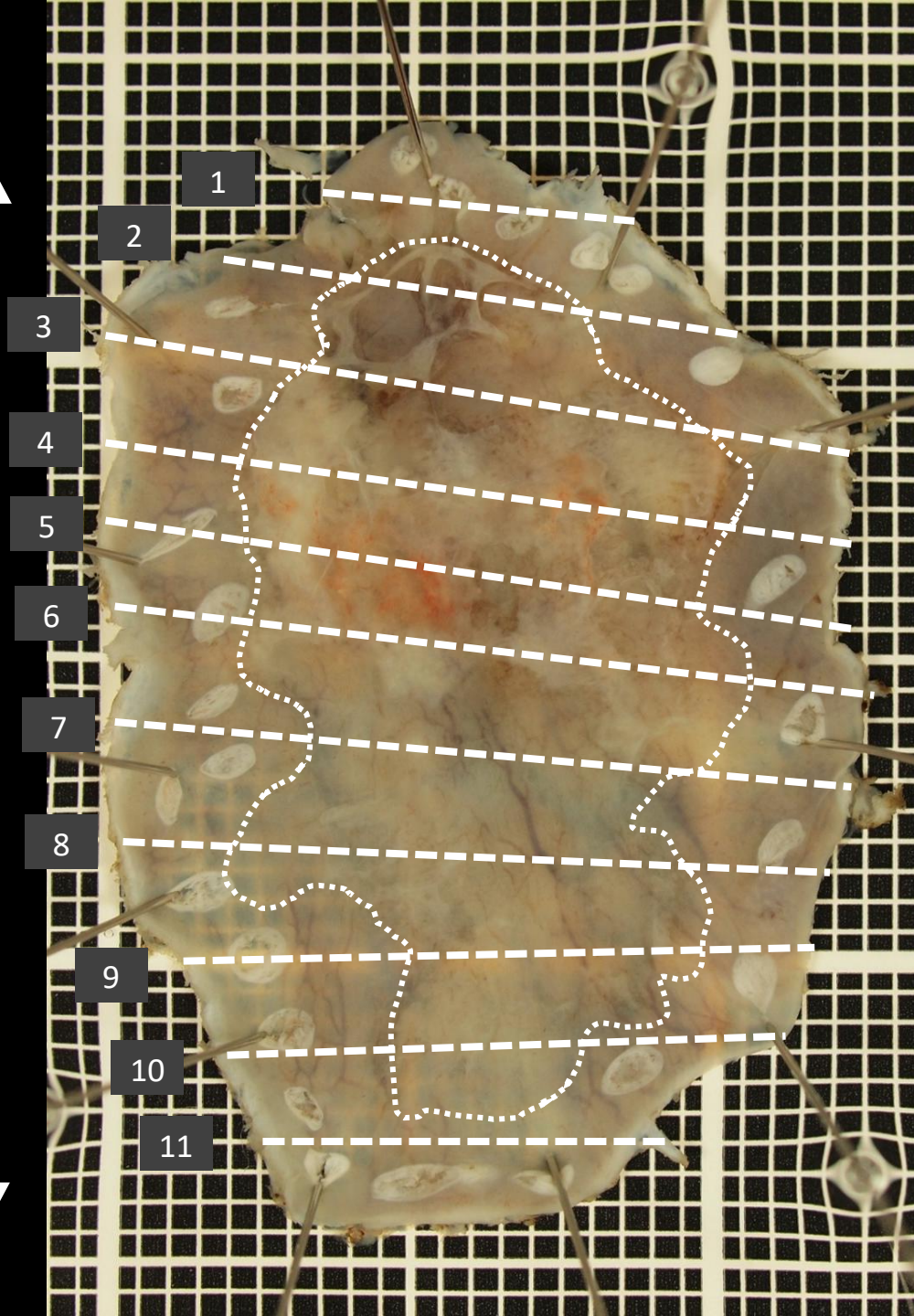
oral ↑



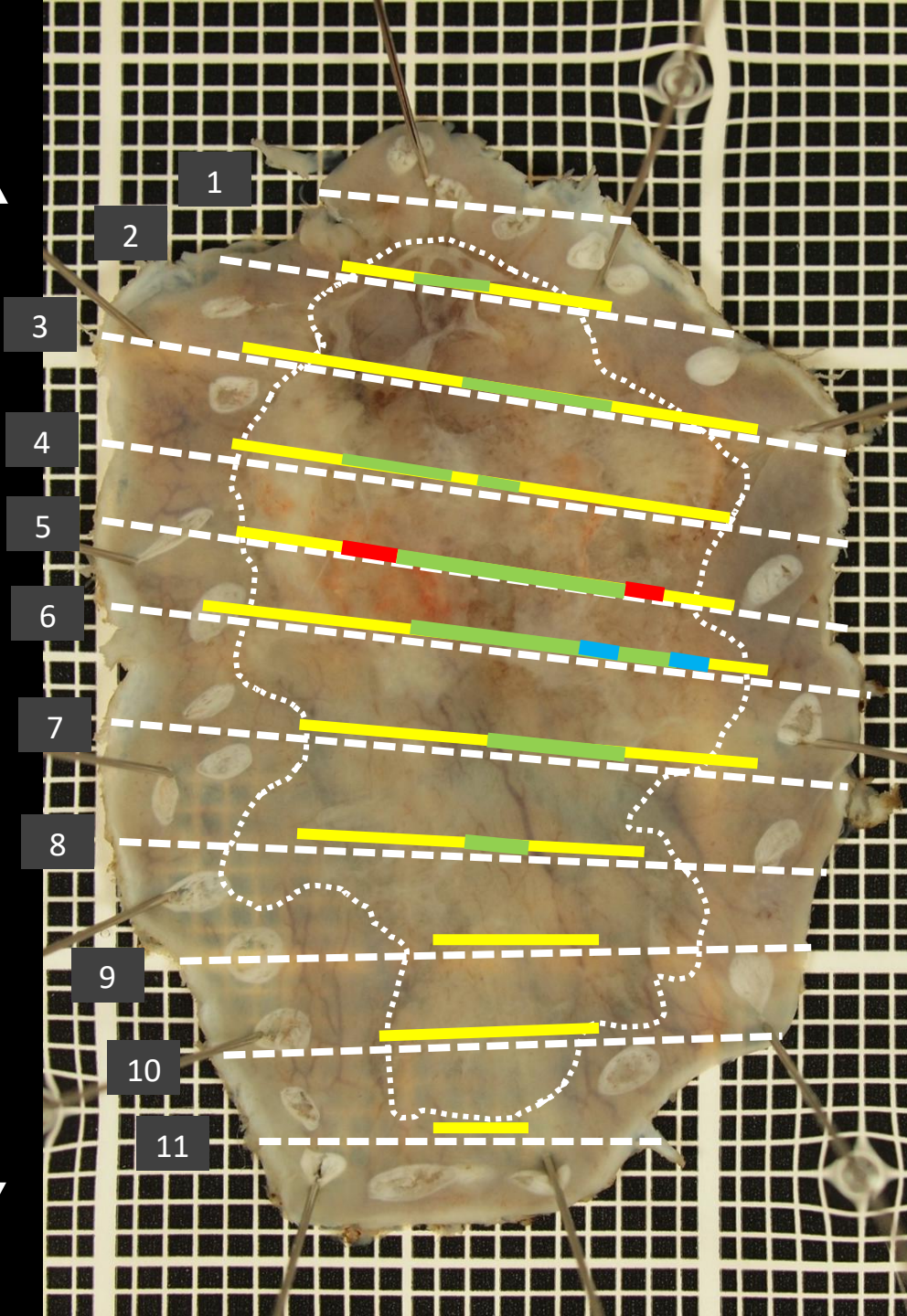
oral



oral ↑

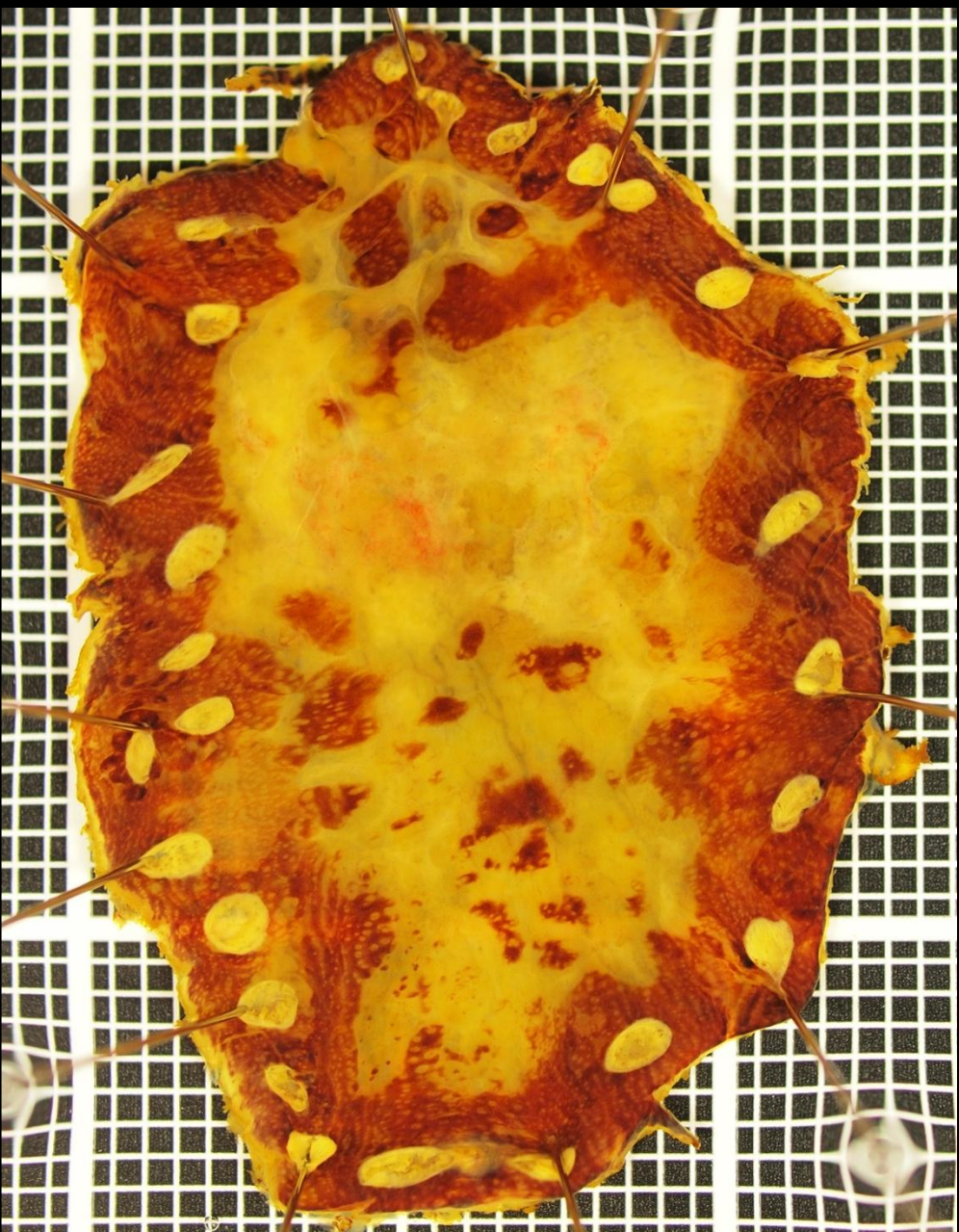


oral ↑

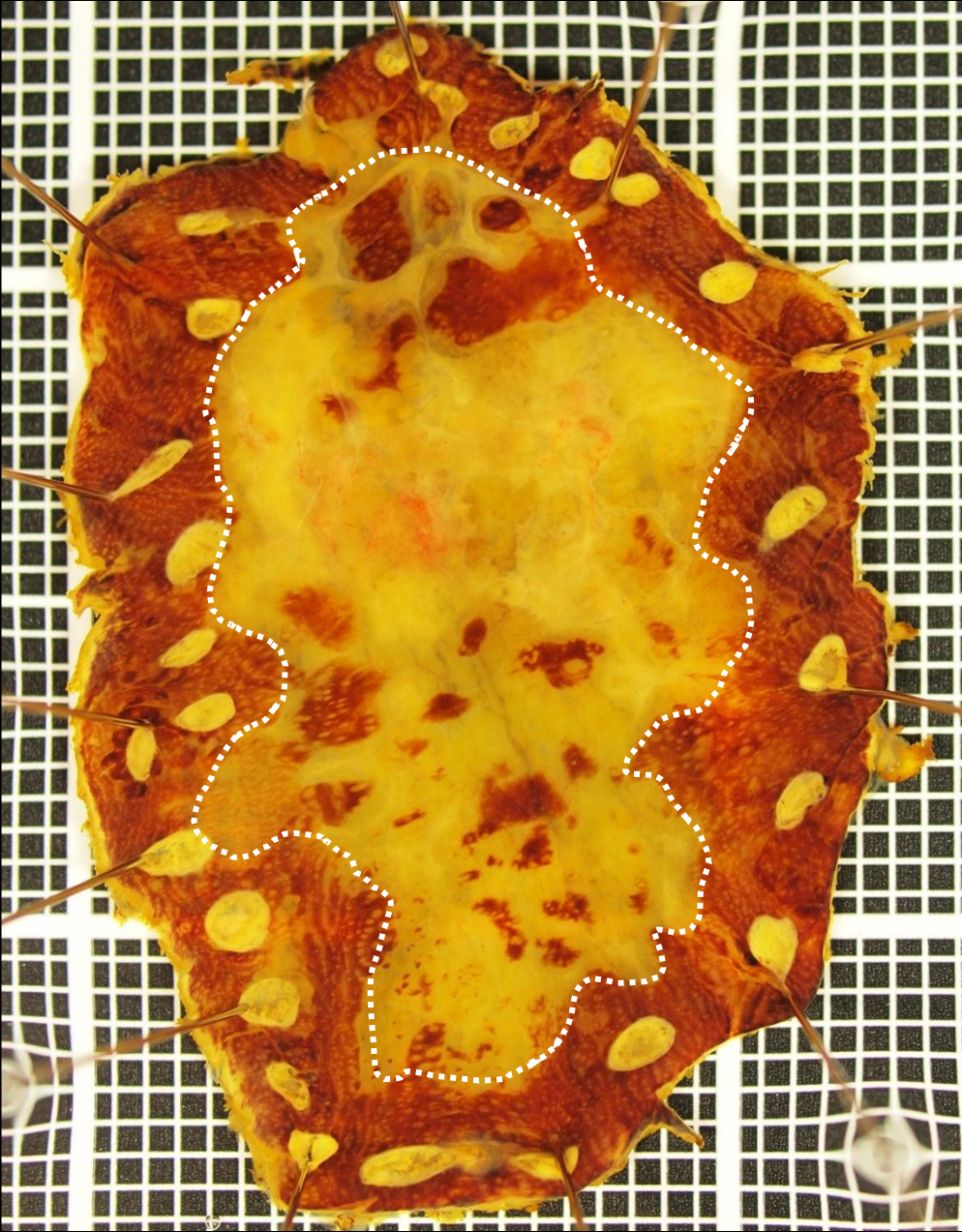


- EP
- LPM
- SM1
- SM2

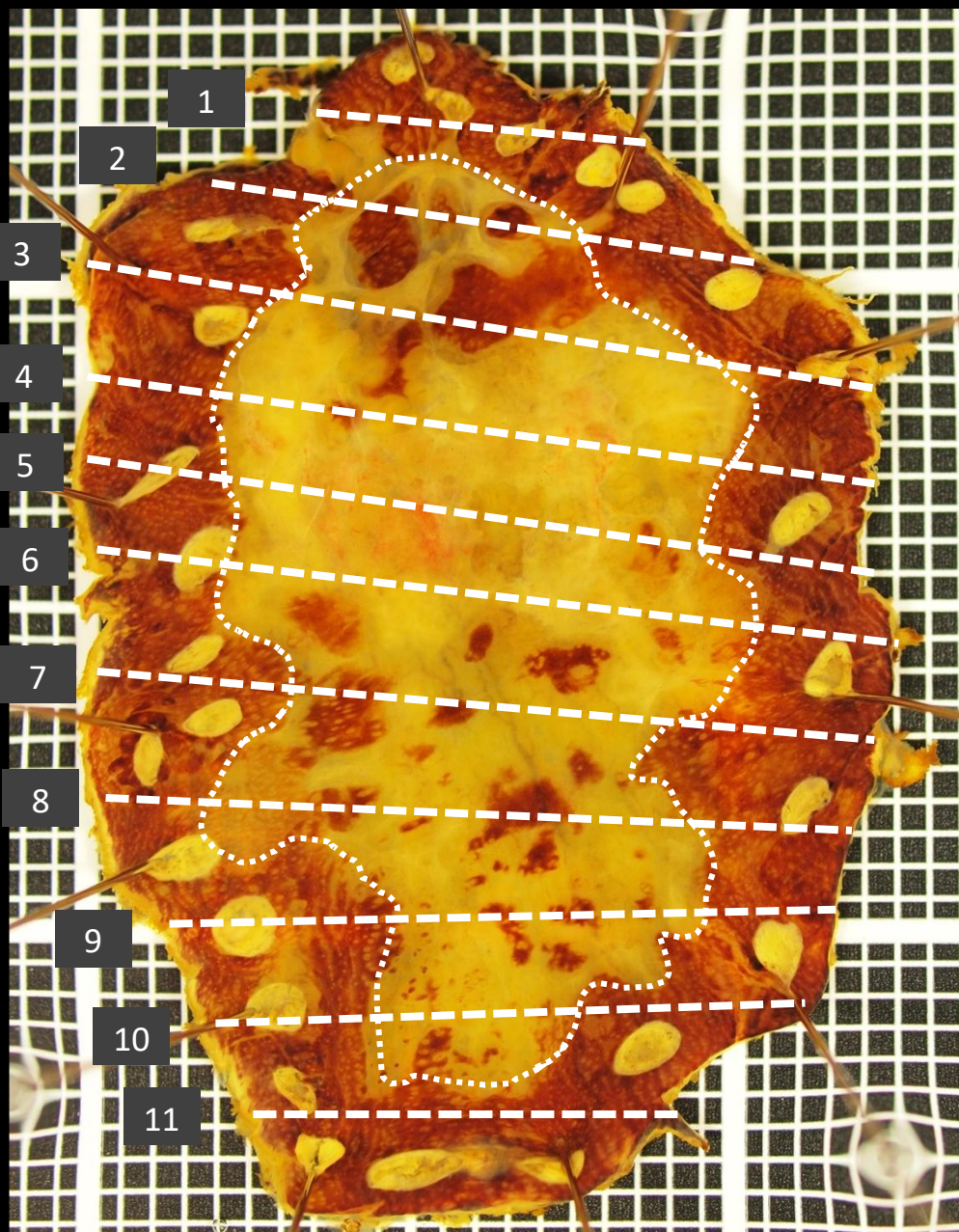
oral ↑



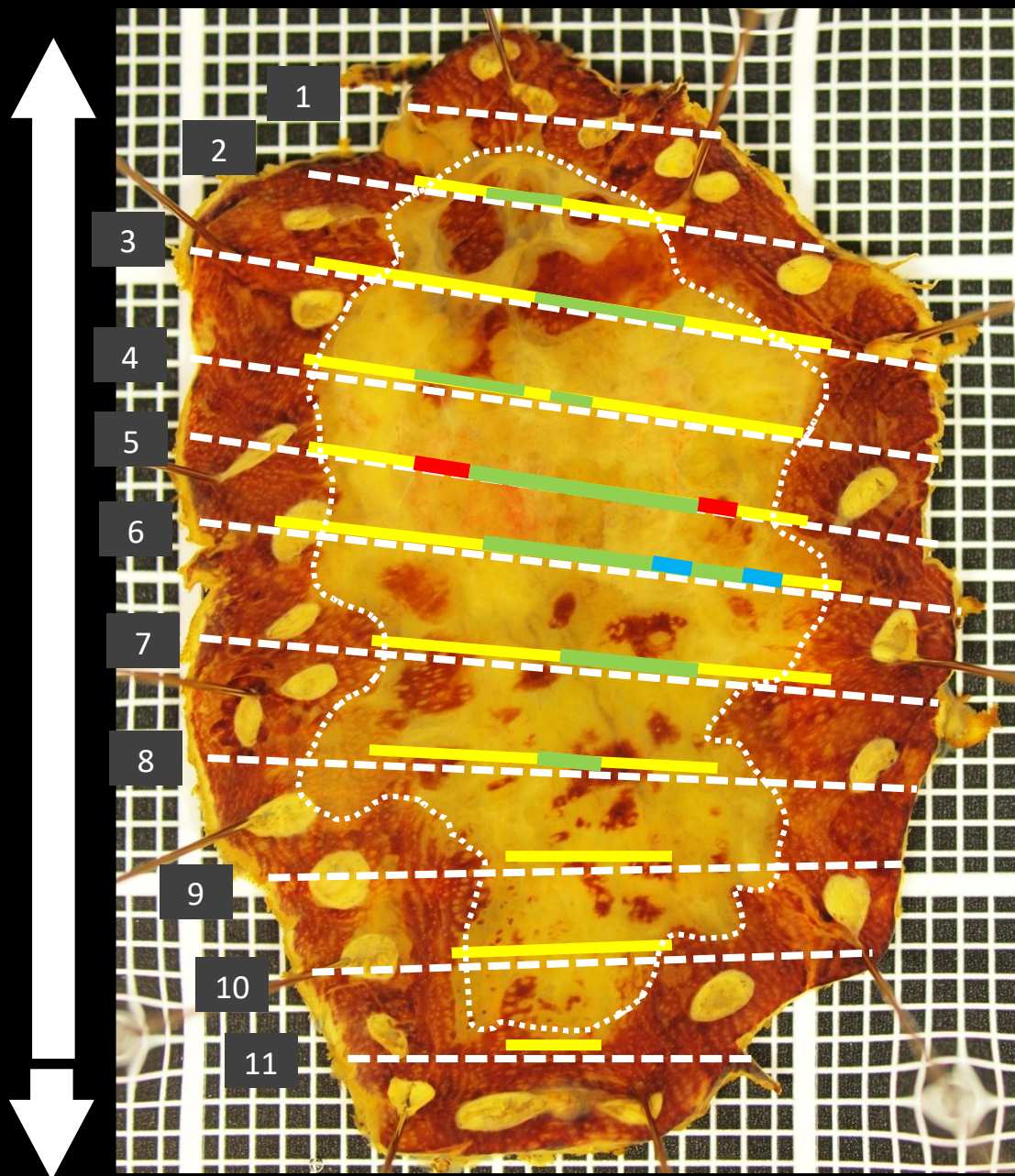
oral ↑



oral ↑



oral ↑



- EP
- LPM
- SM1
- SM2

病理組織診断

Esophagus, ESD:

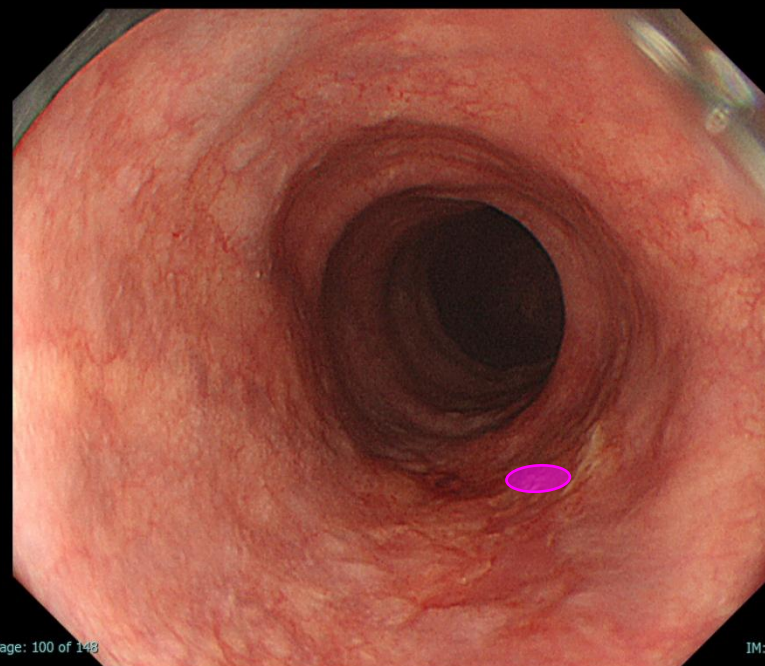
Squamous cell carcinoma,

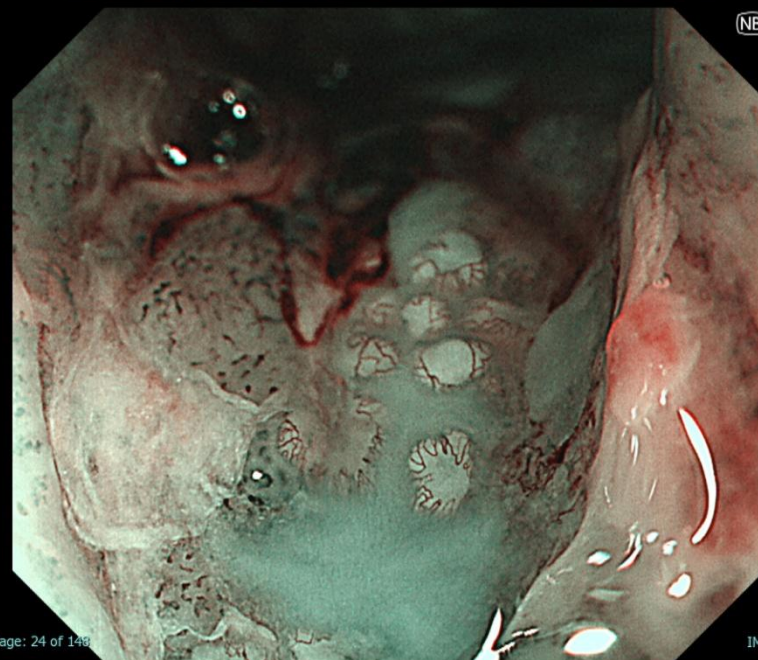
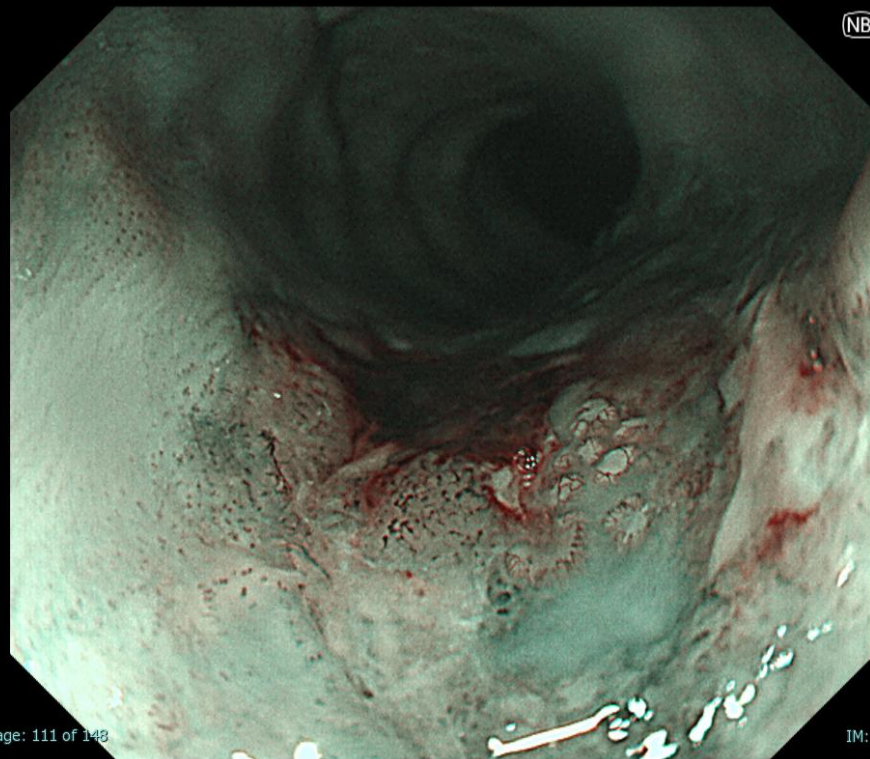
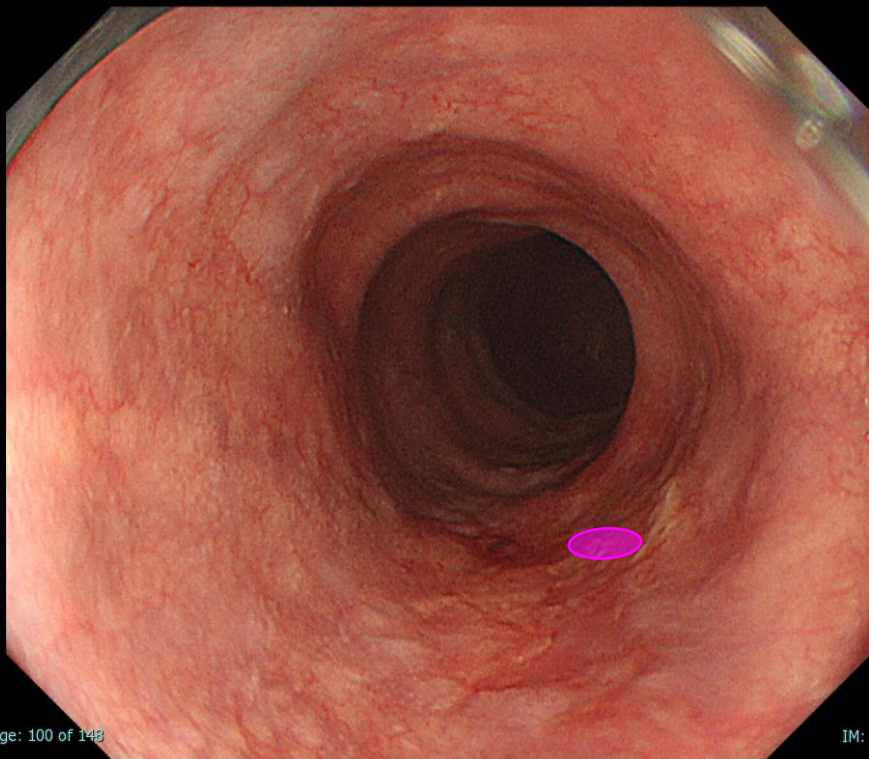
Type 0- II c, 30 × 16 mm(in 32 × 24mm),

pT1b(SM2、0.4mm), INFb, Ly0, V0, pHM0(2mm),

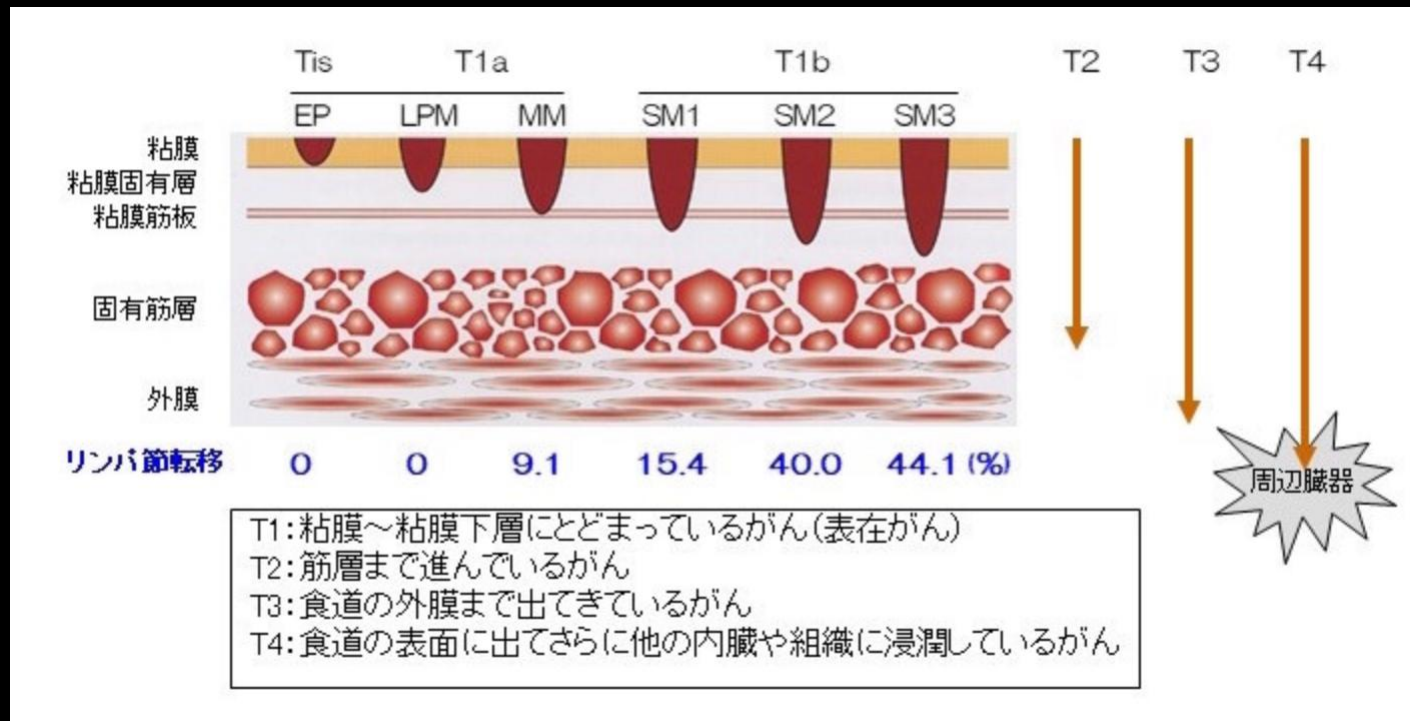
pVM0

Mapping





早期食道癌の定義

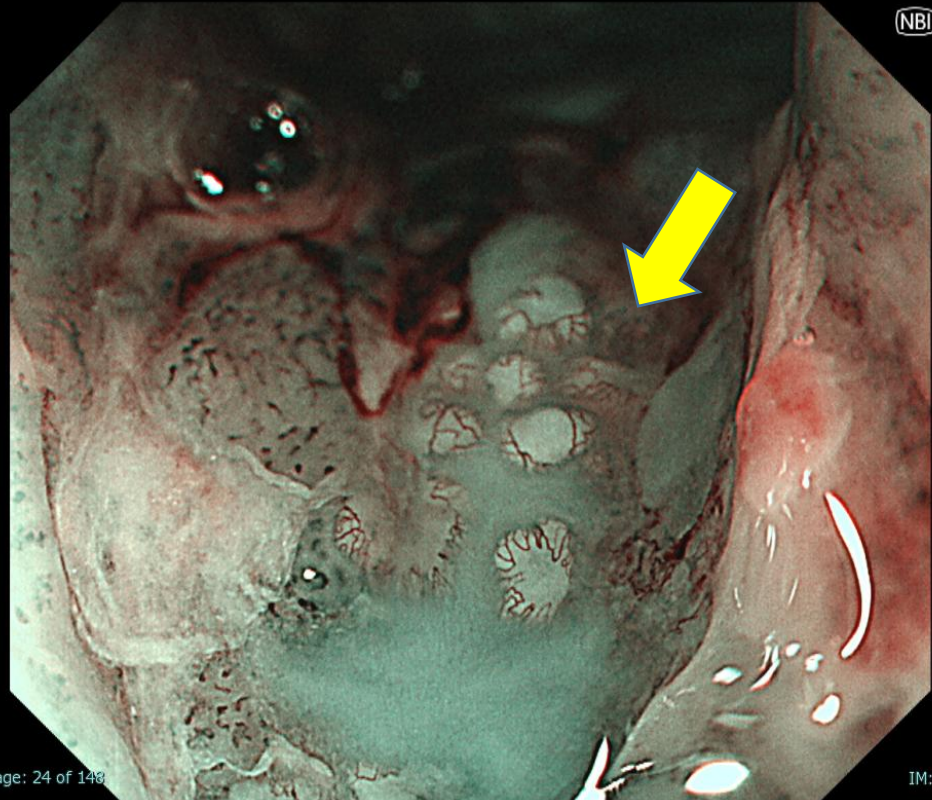


- ✓ “早期食道癌”はT1a(粘膜筋板まで)
- ✓ “表在食道癌”はT1bまで(粘膜下層まで)

早期食道癌の深達度診断

NBI拡大観察：B3血管

- ✓ 出現頻度は60%程度と低いが、特異度は高い
- ✓ 深部の正常な樹枝状血管がB3血管に類似するため注意



**「臨床病期I(clinical-T1N0M0)食道癌に対する
食道切除術と
化学放射線療法同時併用療法(CDDP+5FU+RT)
のランダム化比較試験」
JCOG0502**

目的

根治的内視鏡的粘膜切除術の適応とならないT1bN0M0の胸部食道癌に対するCDDP+5FUと放射線照射を同時併用した化学放射線療法が、現在の標準的治療である食道切除術と比較して生存にて劣っていないことをランダム化比較にて検証する。また、第2の目的として、ランダム化(A・B群)の同意取得が困難であった場合、非ランダム化(C・D群)の比較を行う。

対象

- 1) 組織学的に食道癌(扁平上皮癌、腺扁平上皮癌、類基底細胞癌のいずれか)が証明されている。
- 2) 単発多発の別、壁内転移の有無、上皮内伸展の有無は問わない。
- 3) 病変(原発巣、食道壁内転移、上皮内伸展)がすべて胸部食道(Te)(TNM分類)内に限局すると考えられる。
- 4) 内視鏡検査にて、もっとも深い病変の壁深達度がT1bと診断されている。
- 5) リンパ節転移、遠隔転移のいずれも認めない。(N0、M0<TNM分類>)
- 6) 他のがん種に対する治療も含めて化学療法・放射線療法の既往が無く、食道癌に対して治療切除と判断される内視鏡的粘膜切除術を除く前治療が無い。
- 7) 20歳以上、75歳以下。
- 8) PS(ECOG)が0、1のいずれか。
- 9) 主要臓器機能が保たれている。
- 10) ランダム化部分(A群・B群)への参加について説明が行われている。
- 11) 試験参加について患者本人から文書で同意が得られている。

治療

A群、C群: 食道切除術

D2以上のリンパ節郭清を伴う食道切除術

(D2以上の郭清が可能な場合[開胸・開腹 or 鏡視下手術]、[2領域 or 3領域郭清]については問わない)

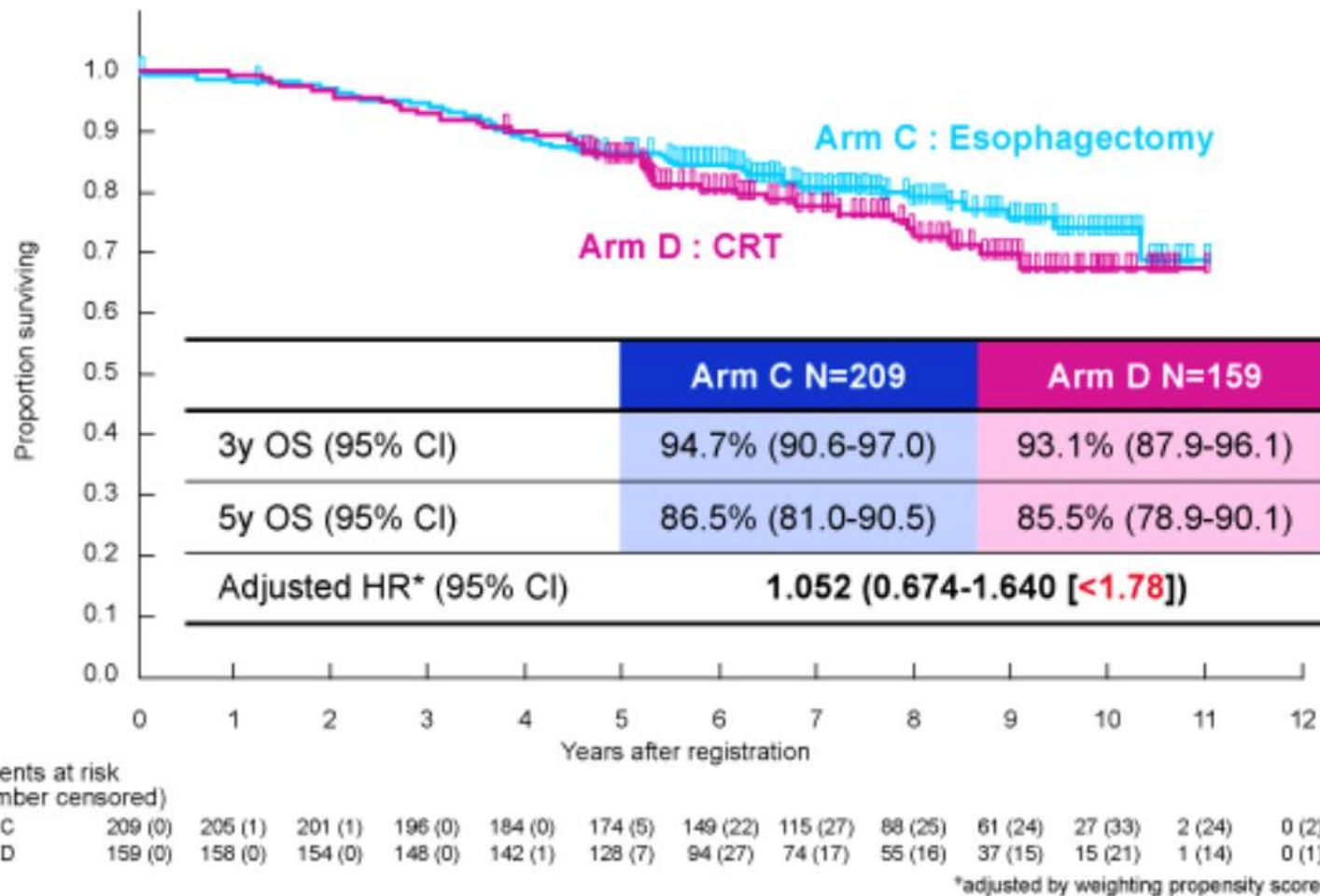
B群、D群: 化学放射線療法

5FU 700 mg/m²/day 持続点滴静注(civ) day 1-4、day 29-32

CDDP 70 mg/m²/day 点滴静注(div) day 1、day 29

RT 60 Gy/30 fr/6w(5days/week) x 6 weeks

ランダム化が
症例集まらず、
非ランダム化
のみ
解析された



Stage I (cT1bN0M0)食道癌に対する化学放射線療法が、手術療法に比して全生存期間の非劣性を示した。

Subsequent therapy (n=367*)

	Arm C n=208*	Arm D n=159
Absent	152	102
Present	56 (26.9%)	57 (35.8%)
Endoscopic Resection	0	16
Chemotherapy	48	24
Radiation	6	7
Surgery	10	21

* One patient who didn't undergo surgery and withdraw consent was excluded in Arm C